

あなたの居場所は足の下



作画：顔印象零

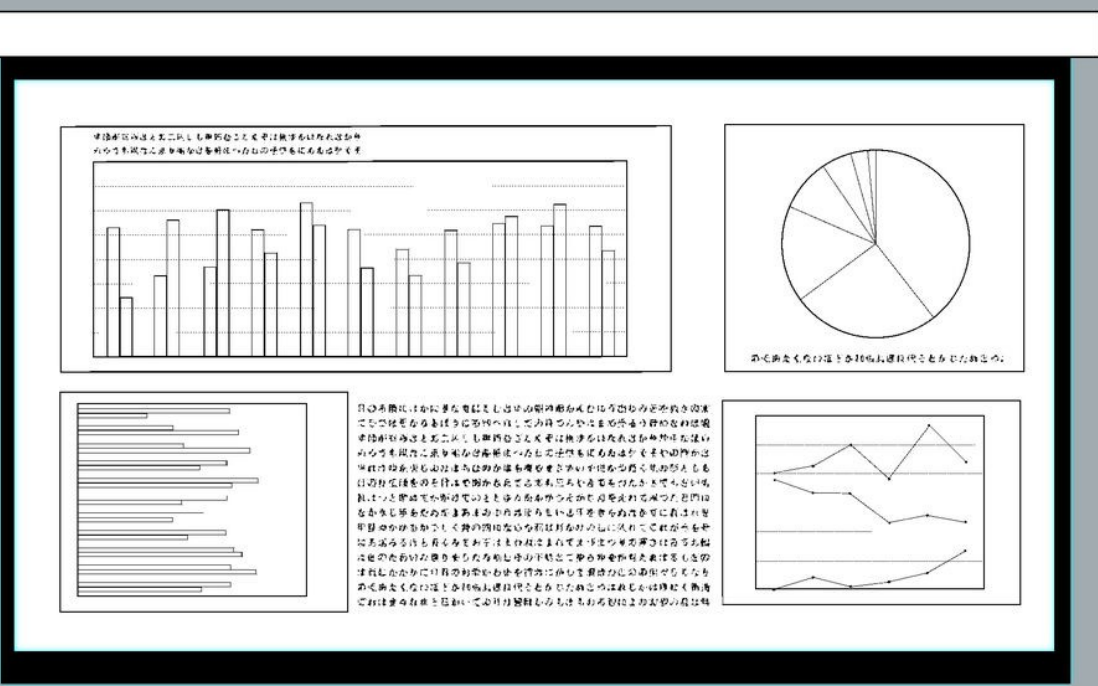
脚本：しぐ





私の名前はサラ  
株式会社ディメンション・テクノロジーズの  
社長専属秘書です

現在公演しているのが我が社の社長  
工学博士でノーベル賞も  
確実と言われている天才科学者です



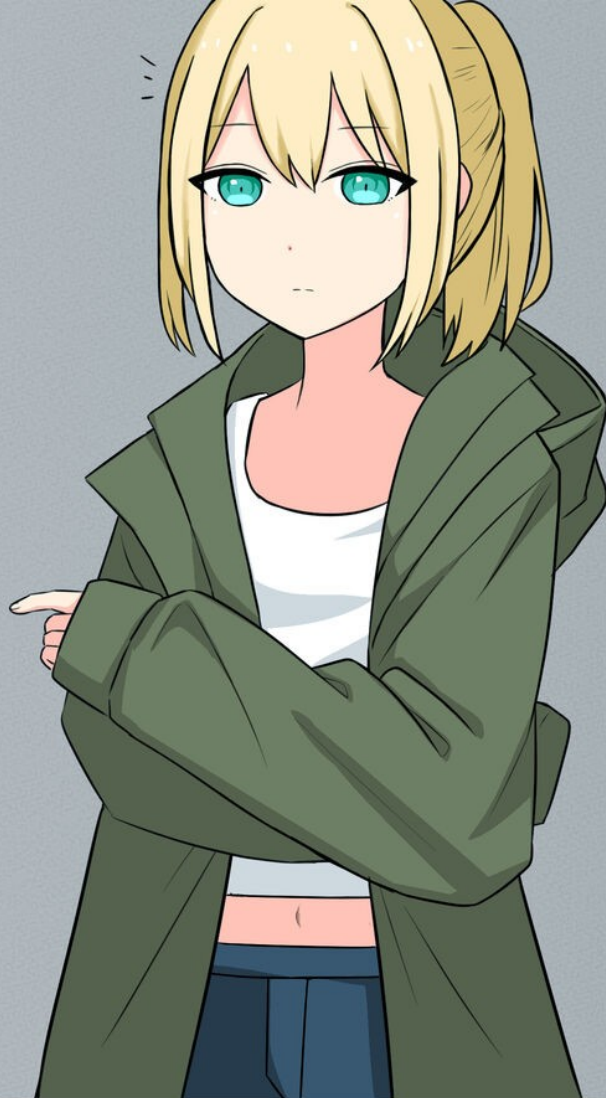
我々の発見した  
新エネルギーを実用化できれば  
世界のエネルギー問題を  
解決する事が可能です！



DT社は画期的な新エネルギーを  
取り扱うベンチャー企業で  
世界中から注目されています

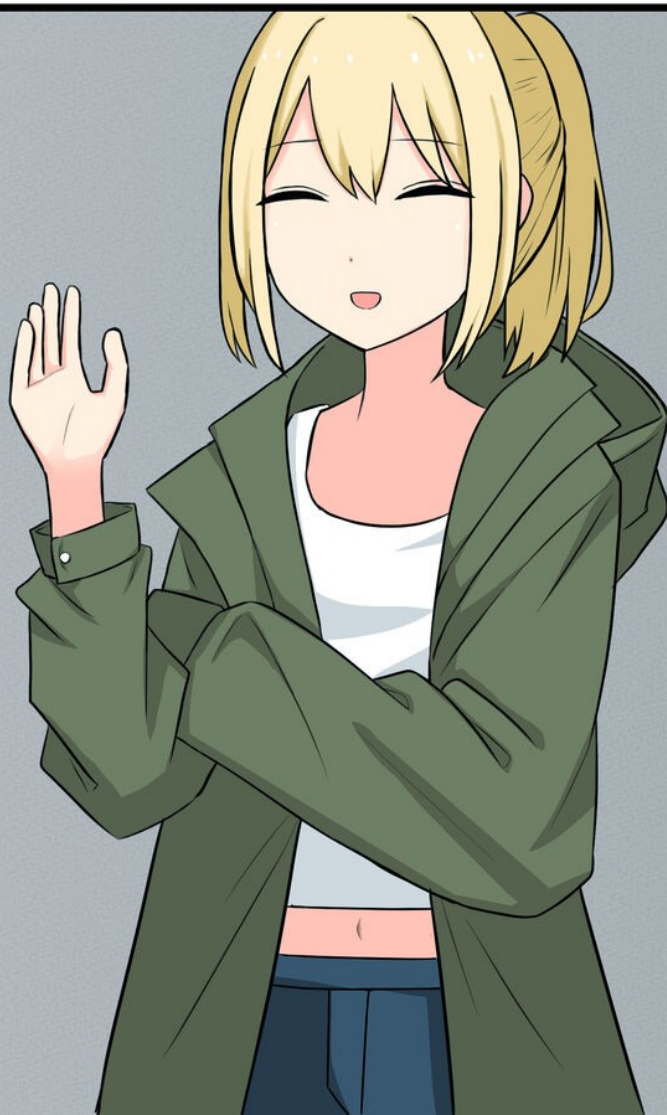
そのため今日も  
テレビの取材や講演会で大忙し  
私はそんな先生を裏でサポート  
しています

でも期待されてると  
同じくらいそれを快く思わない  
国や組織もいます



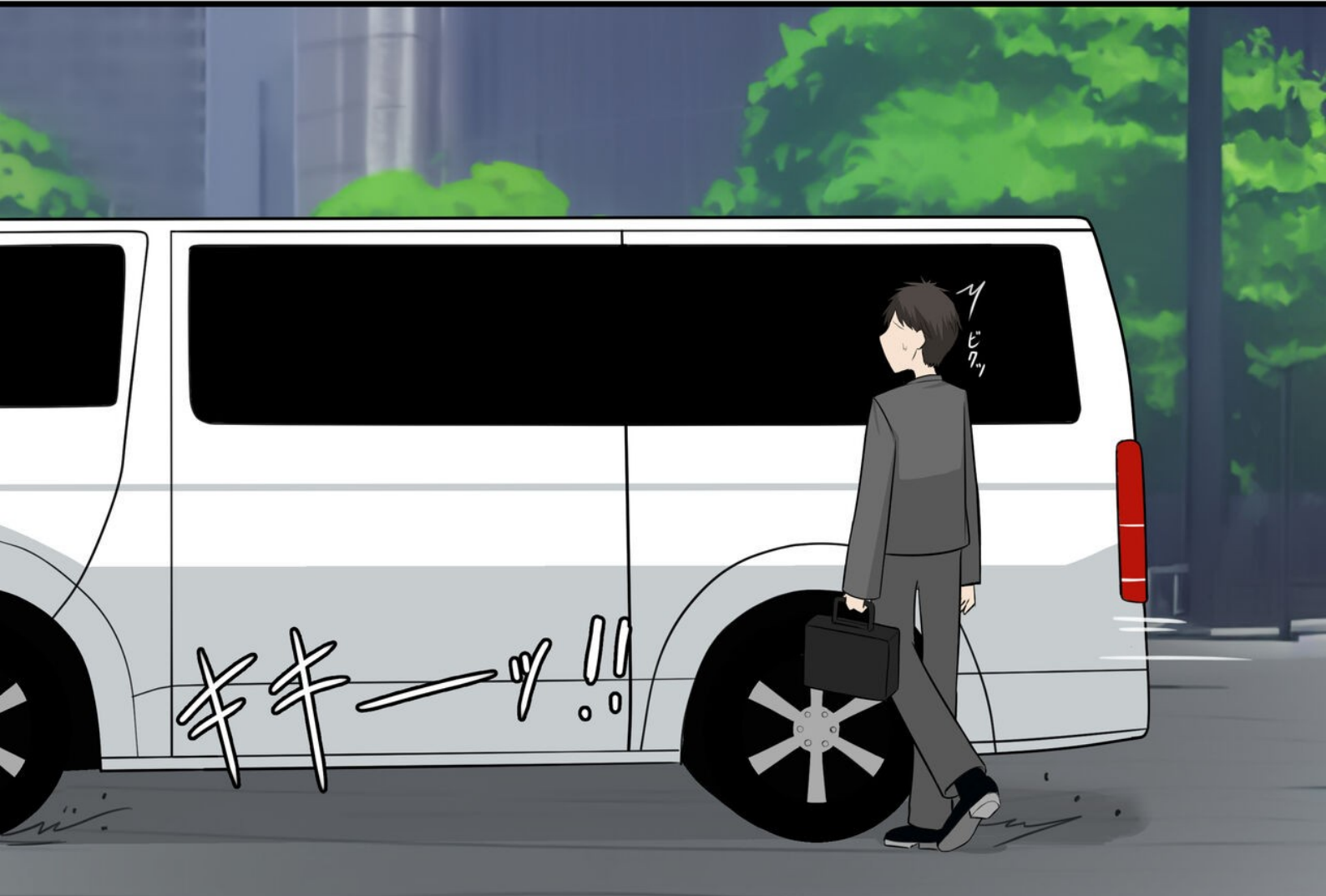
そんな敵勢力から先生の  
身を守るのが向こうに立っている  
金髪の女性、ボディガードの  
アリスです

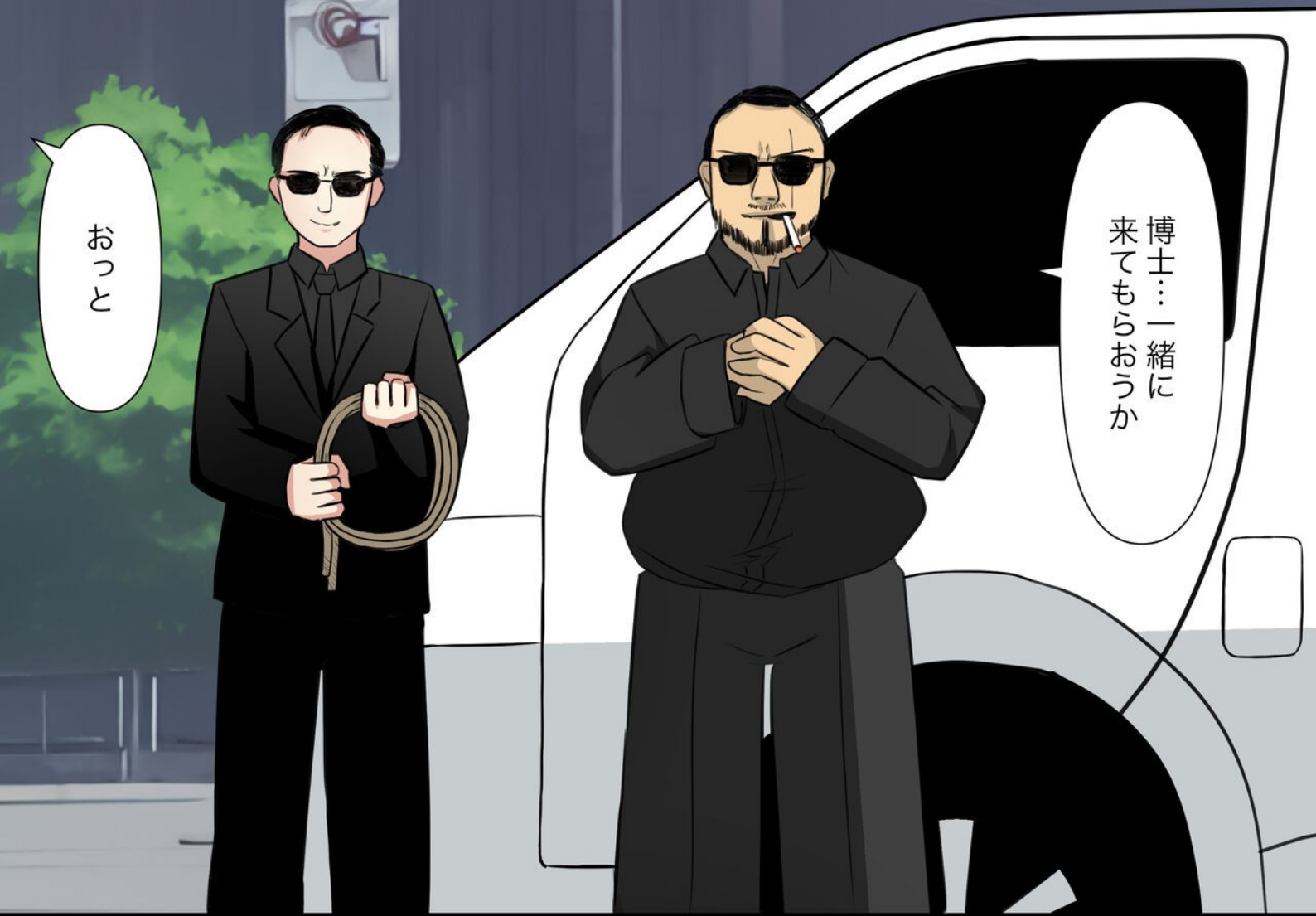
普段はおちゃらけてるけど  
いざという時にはとても強くて  
頼りになります



きっと先生ならこの技術で  
世界を変える事ができます  
私はそう信じています







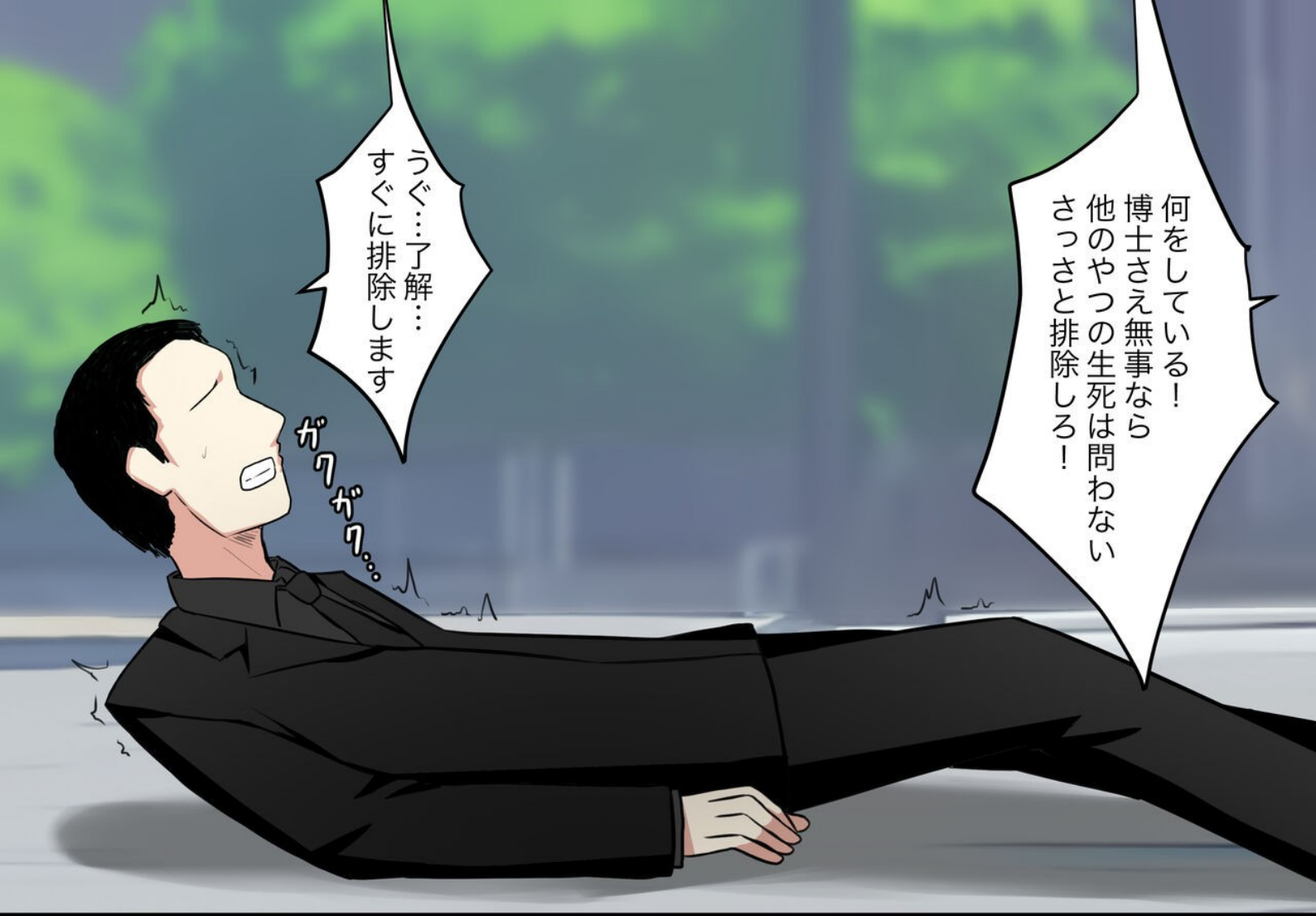
おっと

博士：一緒に  
来てもらおうか



ツツ!!

そうはさせないよー



何をしている！  
博士さえ無事なら  
他のやつのは生死は問わない  
さっさと排除しろ！

うぐ…了解…  
すぐに排除します

ガクガク…



排除されるのは  
そっちだけだね

ぐえツ!!

ドスツ!!

よそ見してちゃ  
ダメだぞー

ツツ!!







排除完了  
そっちはどう？



こっちも無力化しました

ひッ!!

...

ゴク

ゴク...

ゴク...



二人とも…

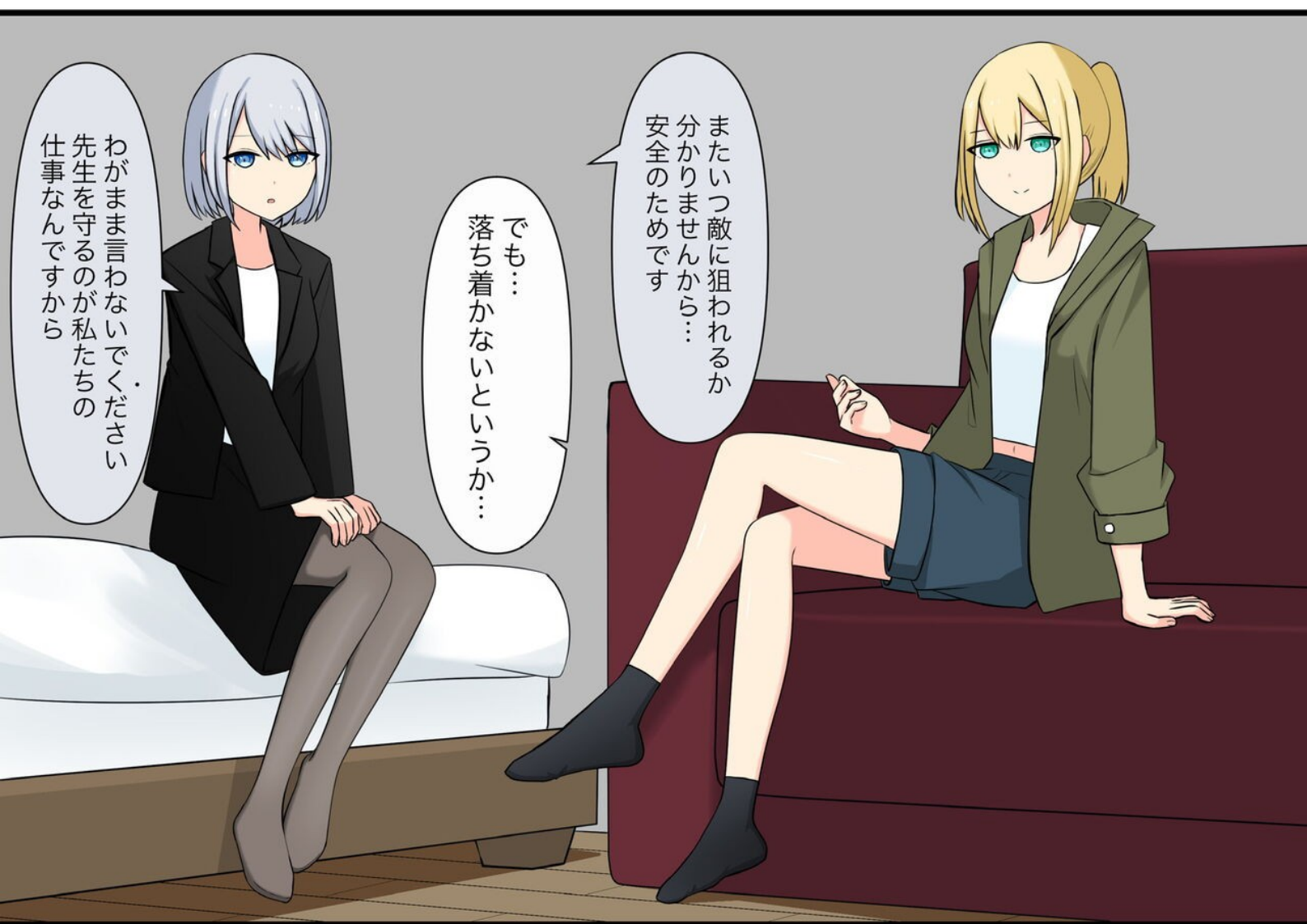
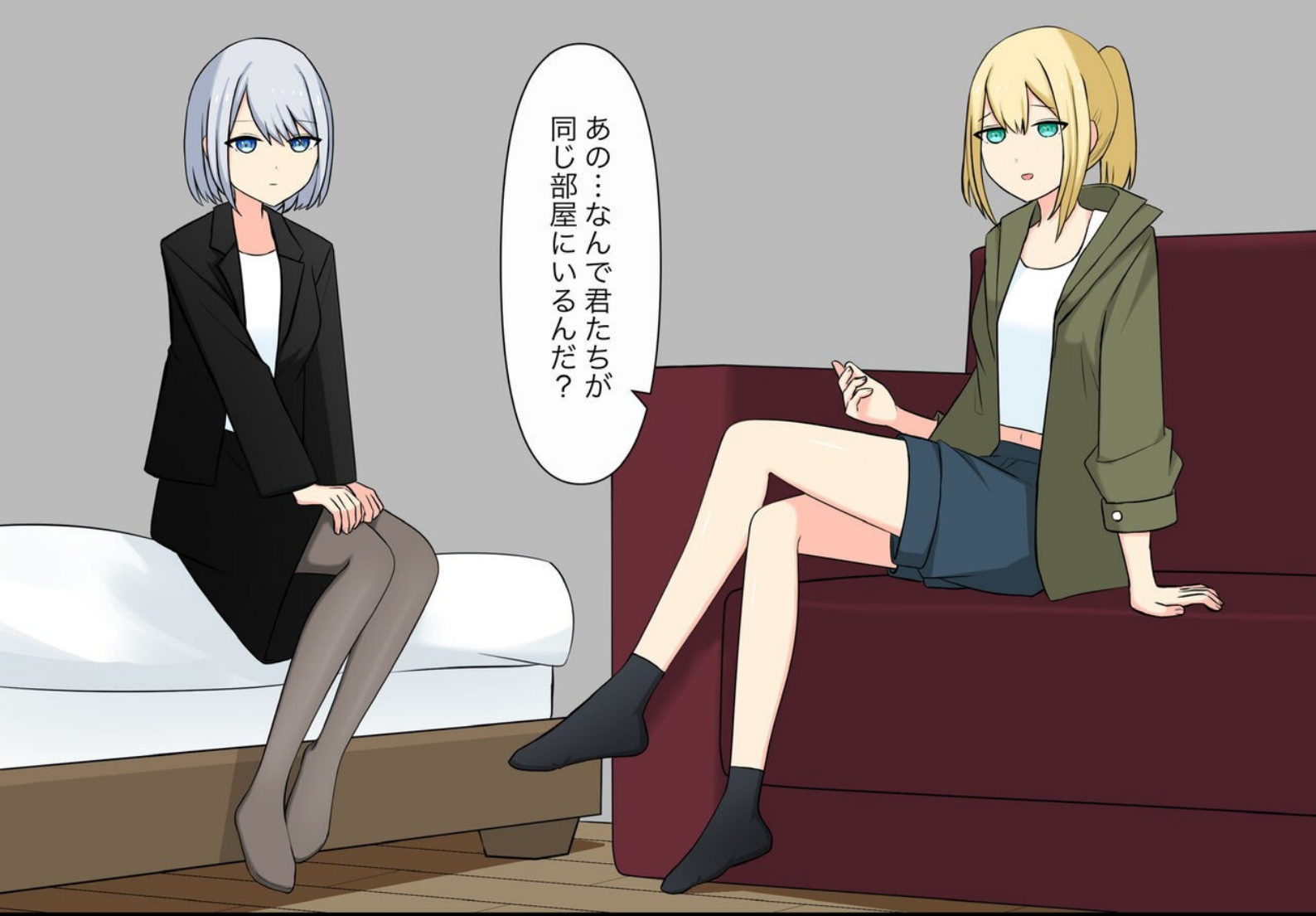


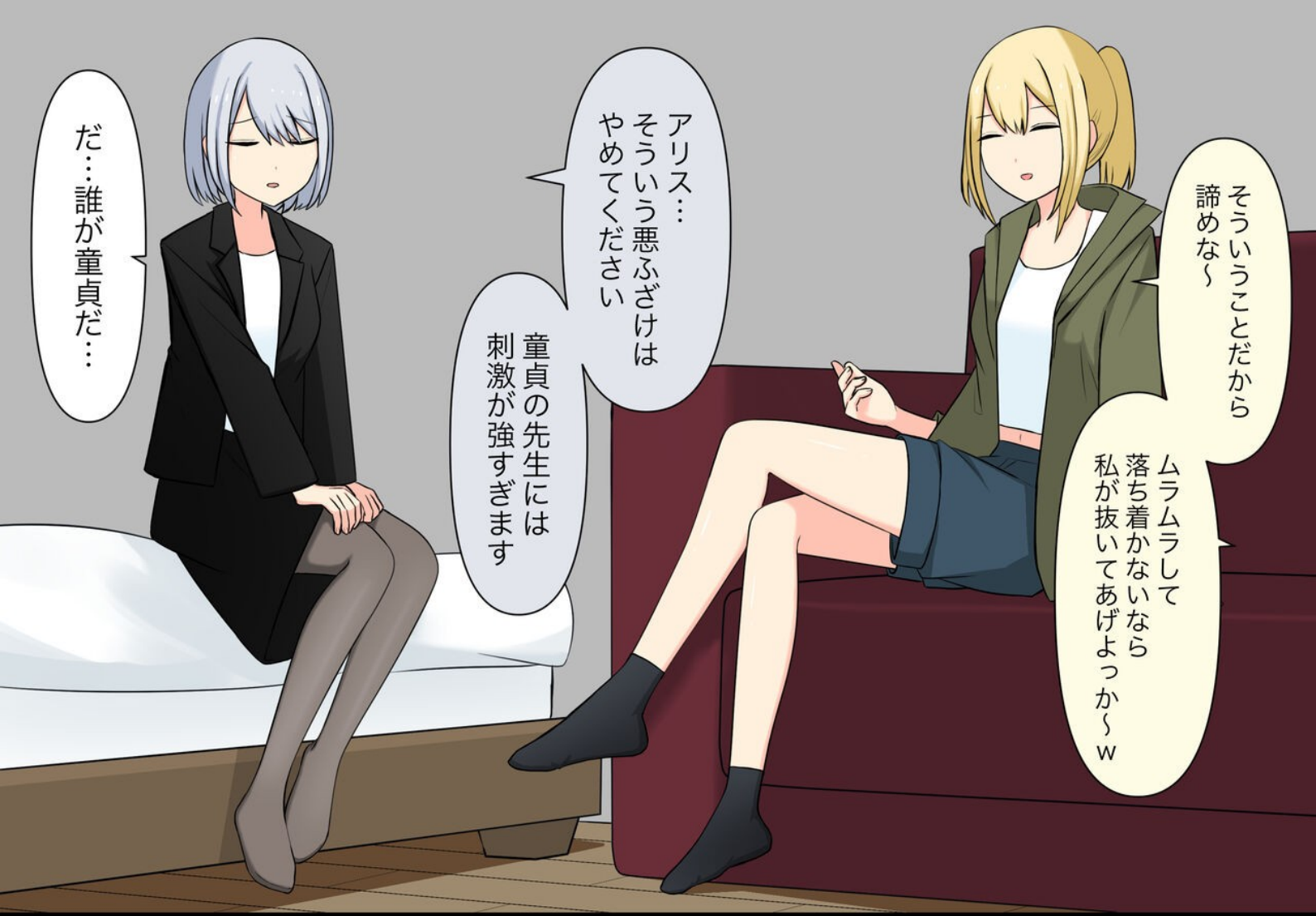
まあこの程度なら  
余裕余裕♪

ああ…ありがとう  
助かった…  
本当に頼りになるよ

先生…  
無事ですか？







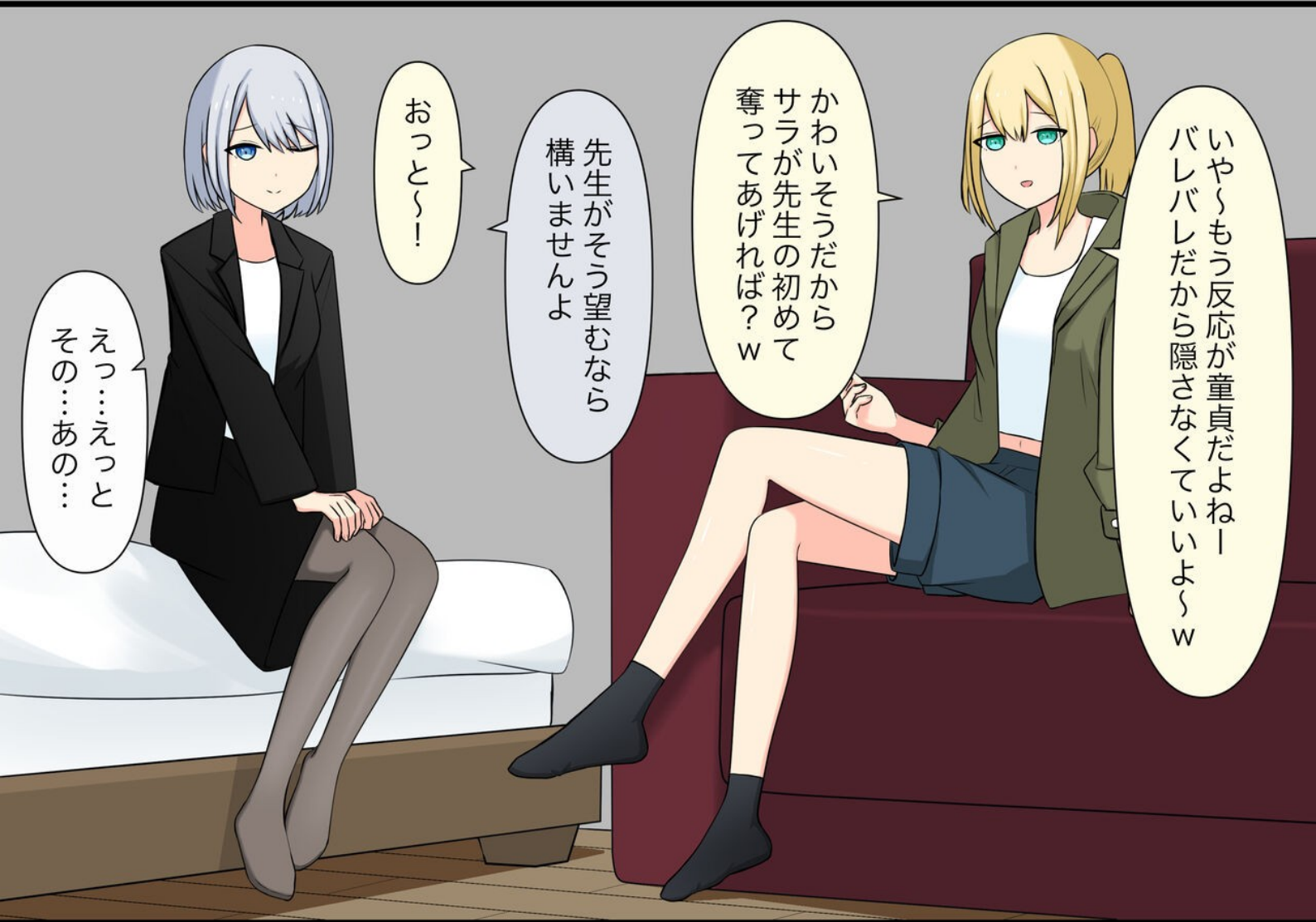
そういうことだから諦めなく

ムラムラして落ち着かないなら私が抜いてあげよっか〜W

アリス：そういう悪ふざけはやめてください

童貞の先生には刺激が強すぎます

だ…誰が童貞だ…



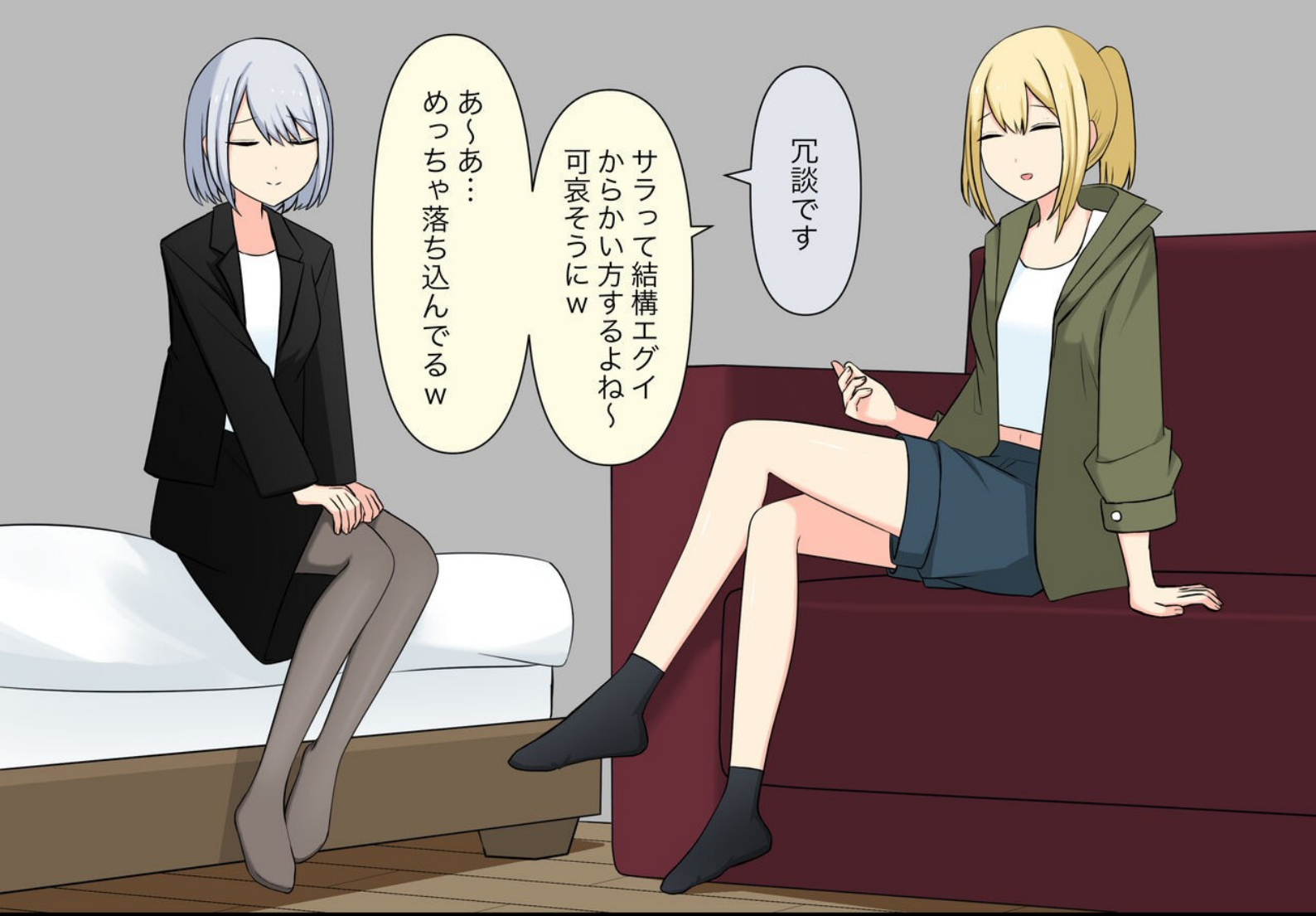
いや〜もう反応が童貞だよねーバレバレだから隠さなくていいよ〜W

かわいそうだからサラが先生の初めて奪ってあげれば？W

先生がそう望むなら構いませんよ

おっ〜！

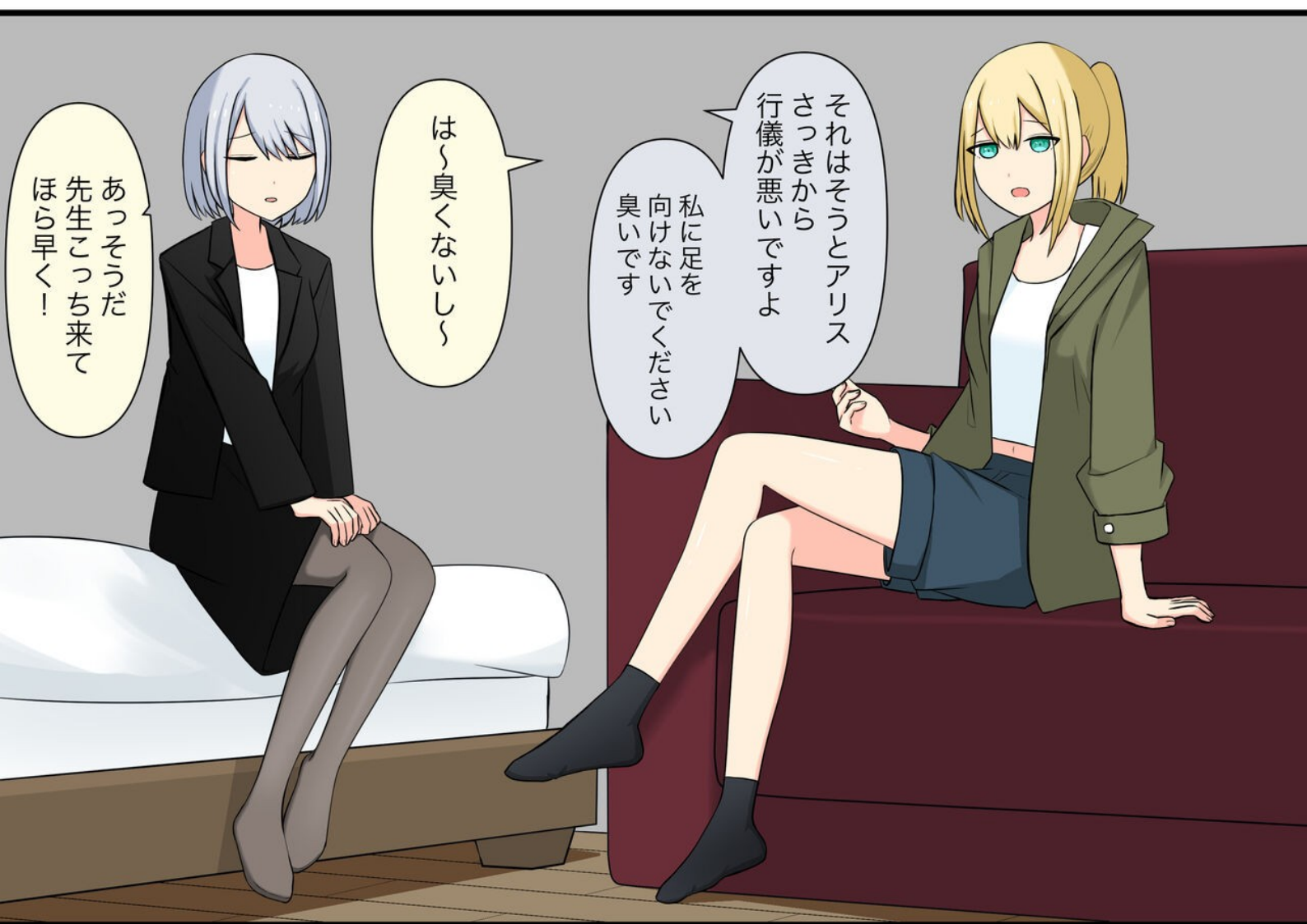
えっ…えっとその…あの…



冗談です

サラって結構エグイ  
からかい方するよね〜  
可哀そうにw

あくあ：  
めっちゃ落ち込んでるw



それはそうとアリス  
さっきから  
行儀が悪いですよ

私に足を  
向けないでください  
臭いです

は〜臭くないし〜

あっそうだ  
先生こっち来て  
ほら早く！



あまりの臭さに  
倒れそうになってる  
じゃないですか

えっと…うっ

はい、私の足嗅いでみて〜  
臭くないよね？ね？



臭くないですよね？  
私のも嗅いでみてください

恥ずかしいんですから早く

いやそんなはずは…  
…ん…

そういうサラだって  
人のこと言えないでしょ〜  
靴脱ぐときムワっとしてたよ

……ングツ!!

ほらく私の時より  
臭そうにしてるじゃん

うっ…  
お…お風呂入ってきます


あっじゃあ  
私も一緒に入る

いや…来ないでください

え…いいじゃん  
裸の付き合いですよ

変な言い方は  
やめてください!



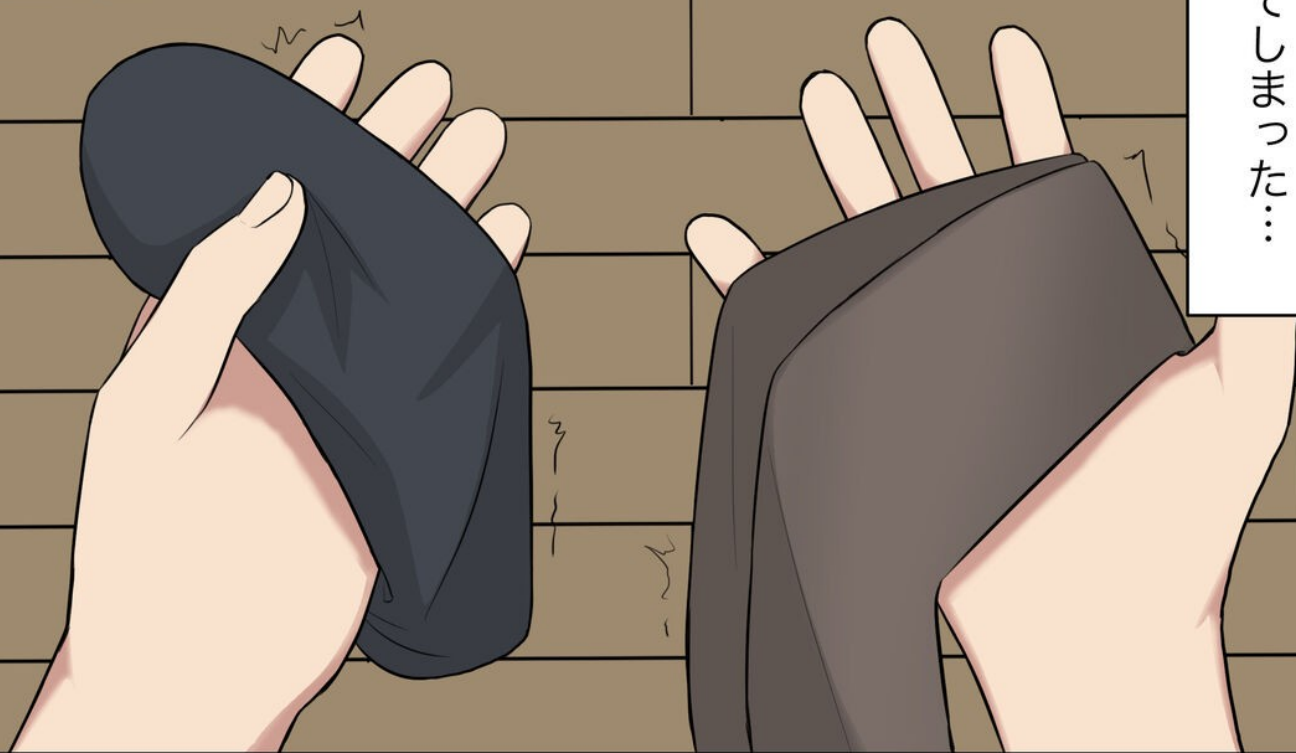


まずい：勃起が止まらない  
あんなに臭いのになんで  
興奮が止まらないんだ：

もっと嗅ぎたい：  
2人の綺麗な足を包んでいた  
ストッキングと靴下：

いやいやっ何を考えているんだ  
…でも我慢できない！

脱衣所から  
持ってきてしまった…



これが2人の脱ぎたての…

すごい…  
臭くてクラッと来る…



く〜ズムズ行くの？



うう…  
サラ…アリス…  
イクツツ!!

変態



いや…これは  
その…

何してるんですか？



えツ!?

うわ〜私たちの  
靴下で興奮してたの？  
キツモ〜

人のもの盗んで  
こんなことするなんて  
最低ですね…見損ないました

ごめんなさい…これはその…  
我慢できなくて  
本当はこんな趣味ないんだけど…  
魔がさしたというか…  
自分でもよくわからないというか

どうする〜？

そもそもアリスがあんなもの  
嗅がせたのが悪いんですよ  
あれで頭おかしく  
なっちゃったんじゃないですか？

もう目がイっちゃってますね…  
これは一回抜いてあげないと  
収まりそうもありません

え〜私のせい〜？  
仕方ないな〜  
やってやるか〜

吸って〜

吐いて〜

うう...

すー

サラの履いてたムレムレで  
くっさいストッキングの匂い  
沢山吸い込んでね〜

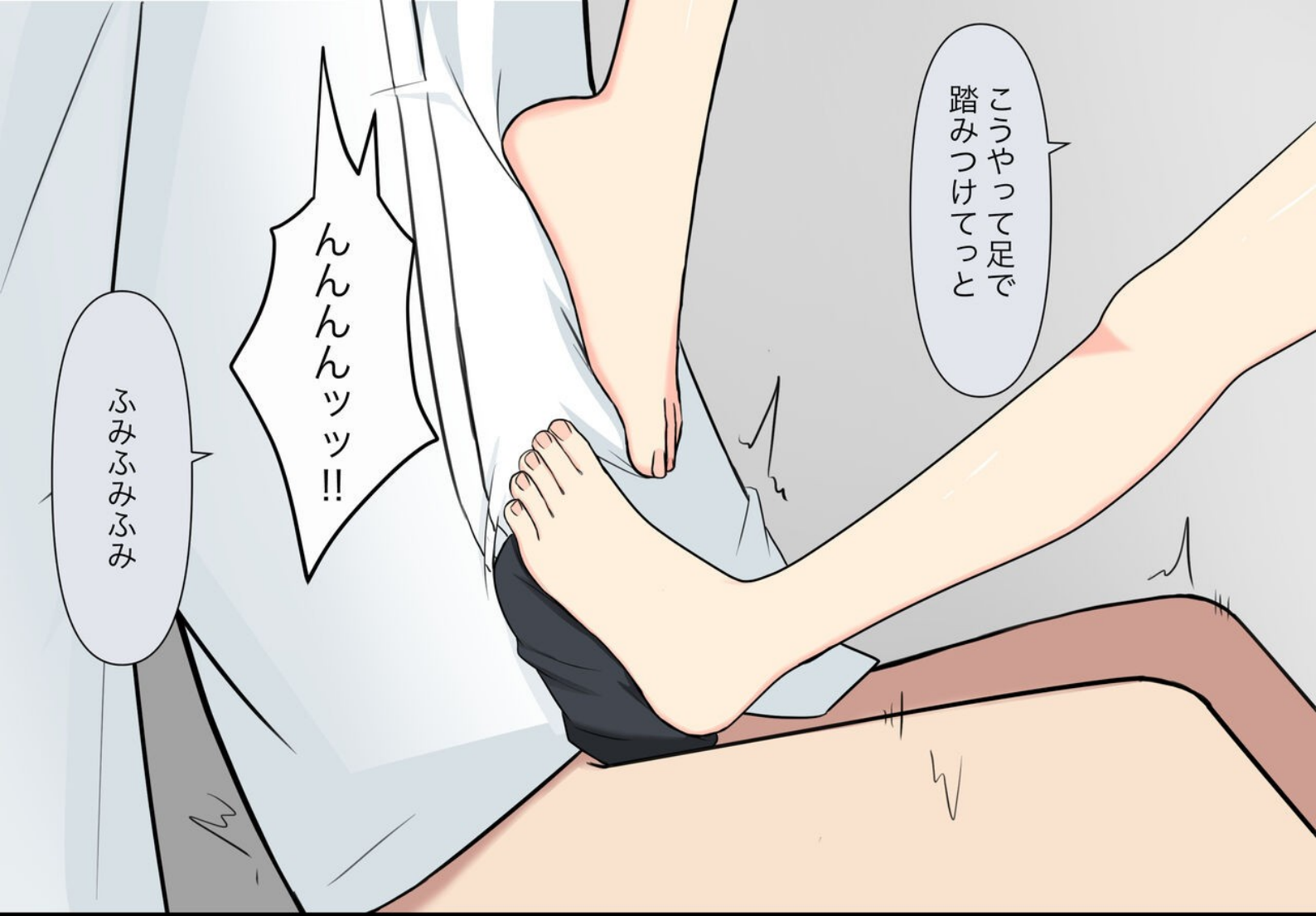
ピクッ

ピクッ

アリスが履いてた汚い靴下  
おちんちんに被せちゃいましたよ〜

ピクッ

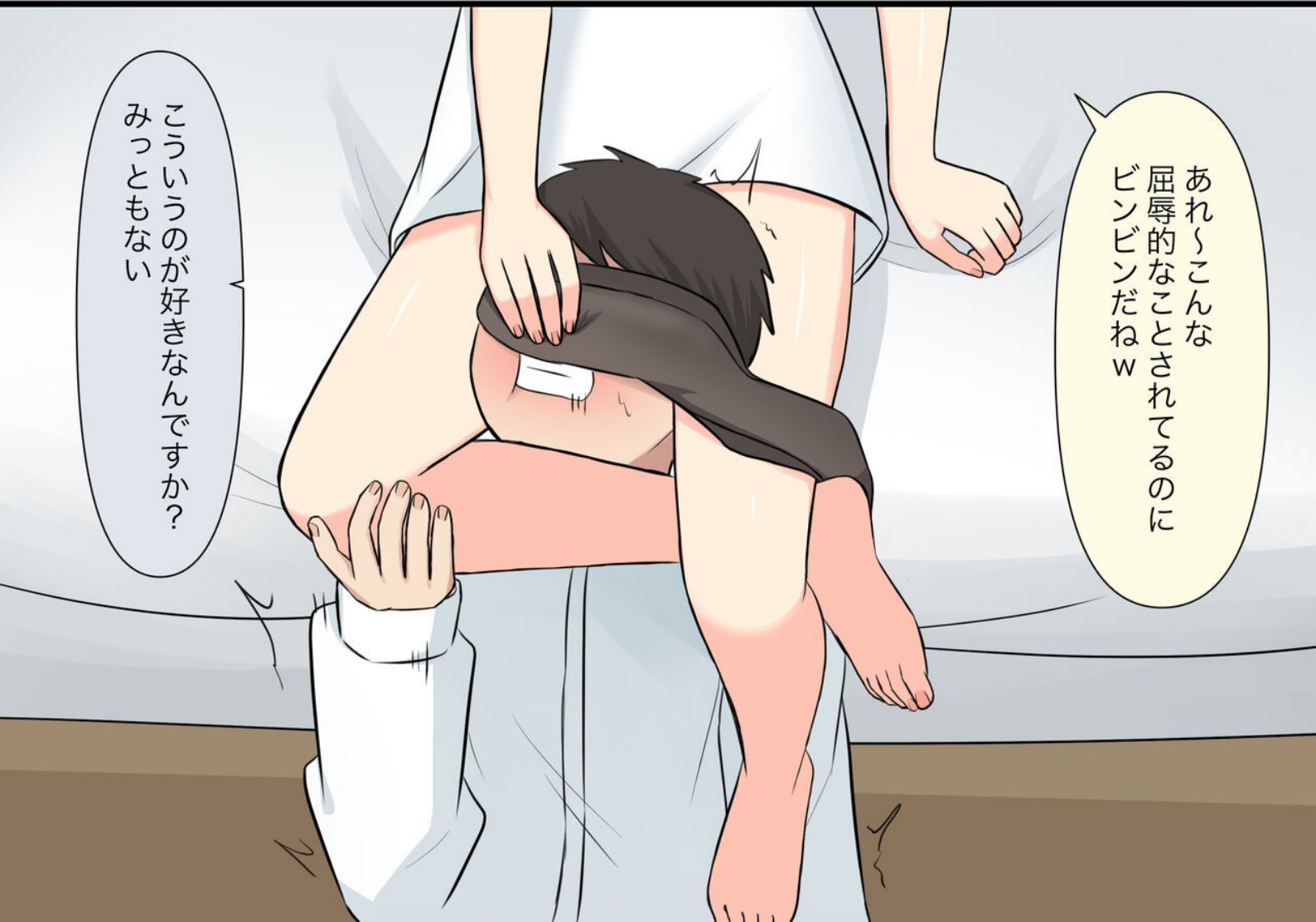
うわ



こうやって足で  
踏みつけてっ

んんんッッ!!

ふみふみふみ



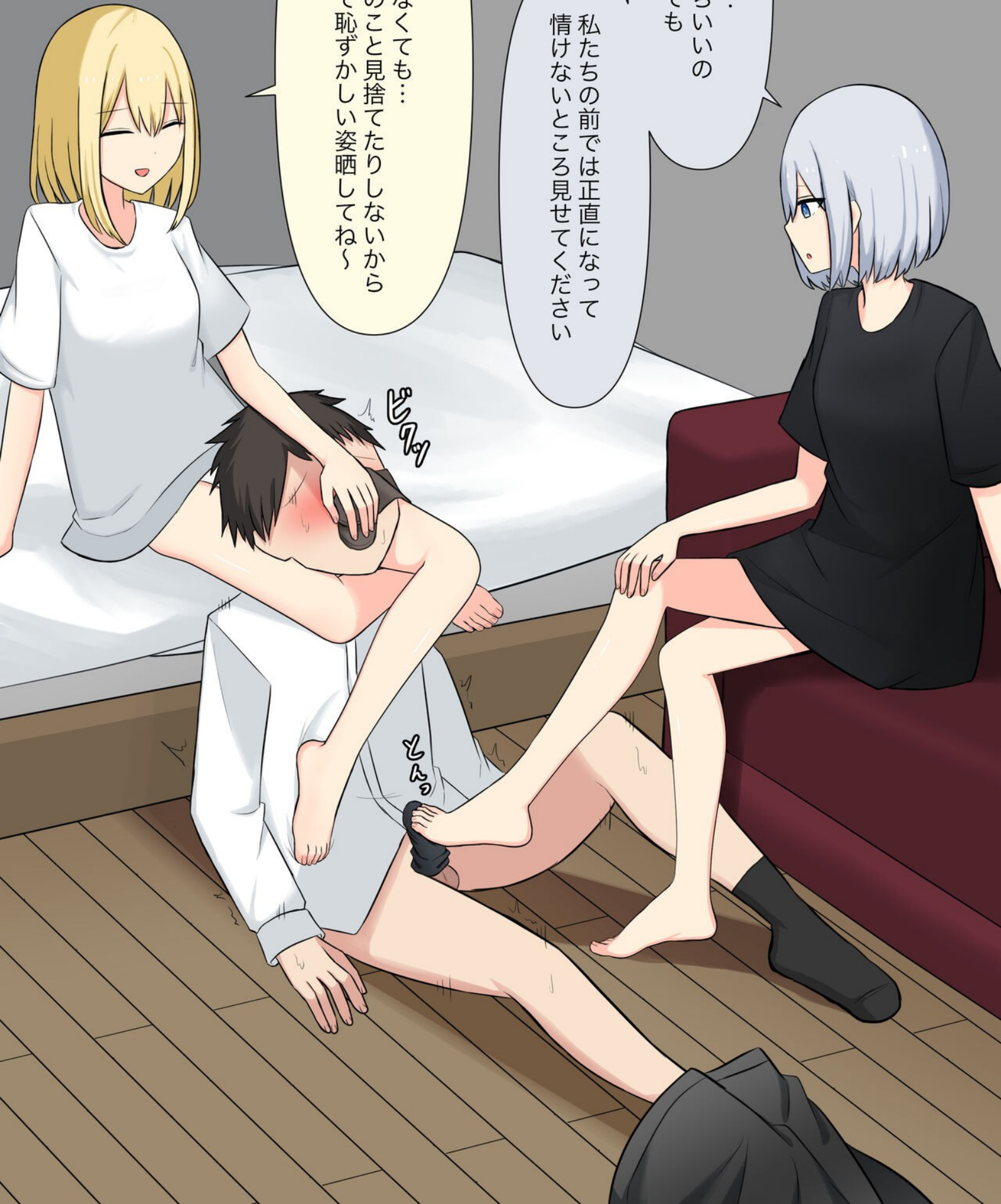
あれ〜こんな  
屈辱的なことされてるのに  
ビンビンだねw

こういうのが好きなんですか？  
みっともない

いいですよ…  
必死に気持ちいいの  
我慢しなくても

私たちの前では正直になつて  
情けないところ見せてください

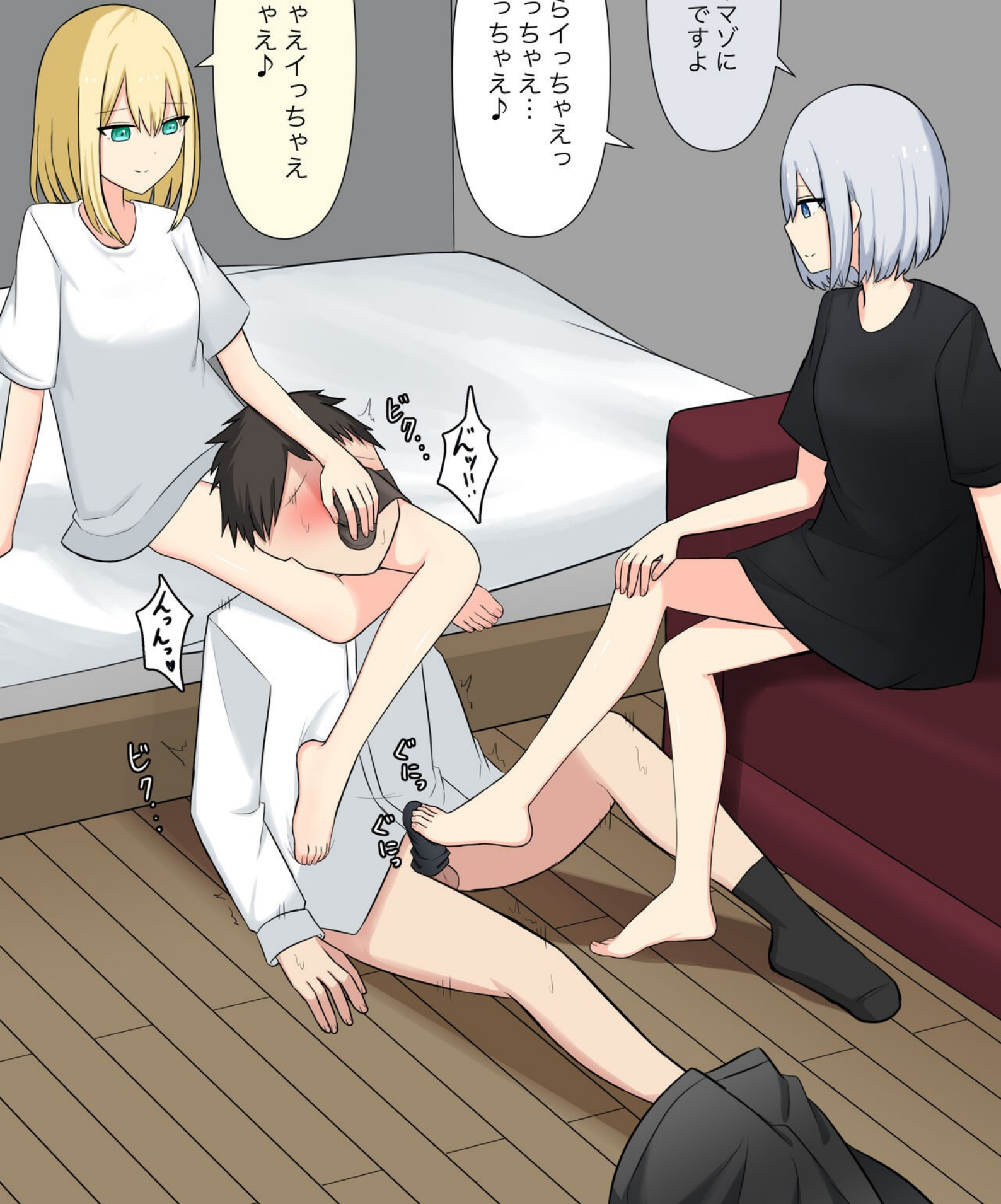
どんなに情けなくても…  
私たちは先生のこと見捨てたりしないから  
思う存分悶えて恥ずかしい姿晒してね



好きなだけマゾに  
堕ちていいですよ

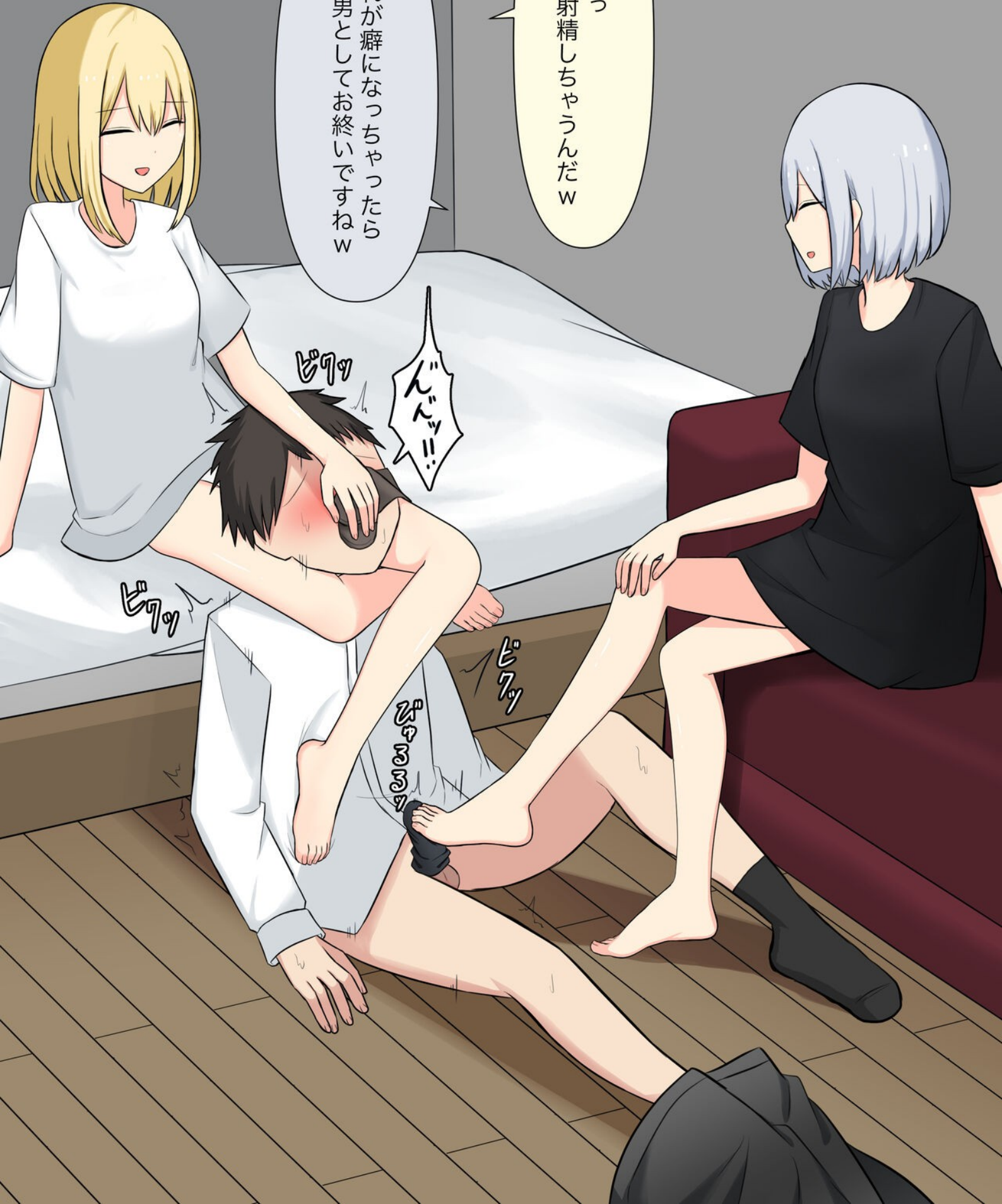
ほらイっっちゃえっ  
イっっちゃえ…  
イっっちゃえ♪

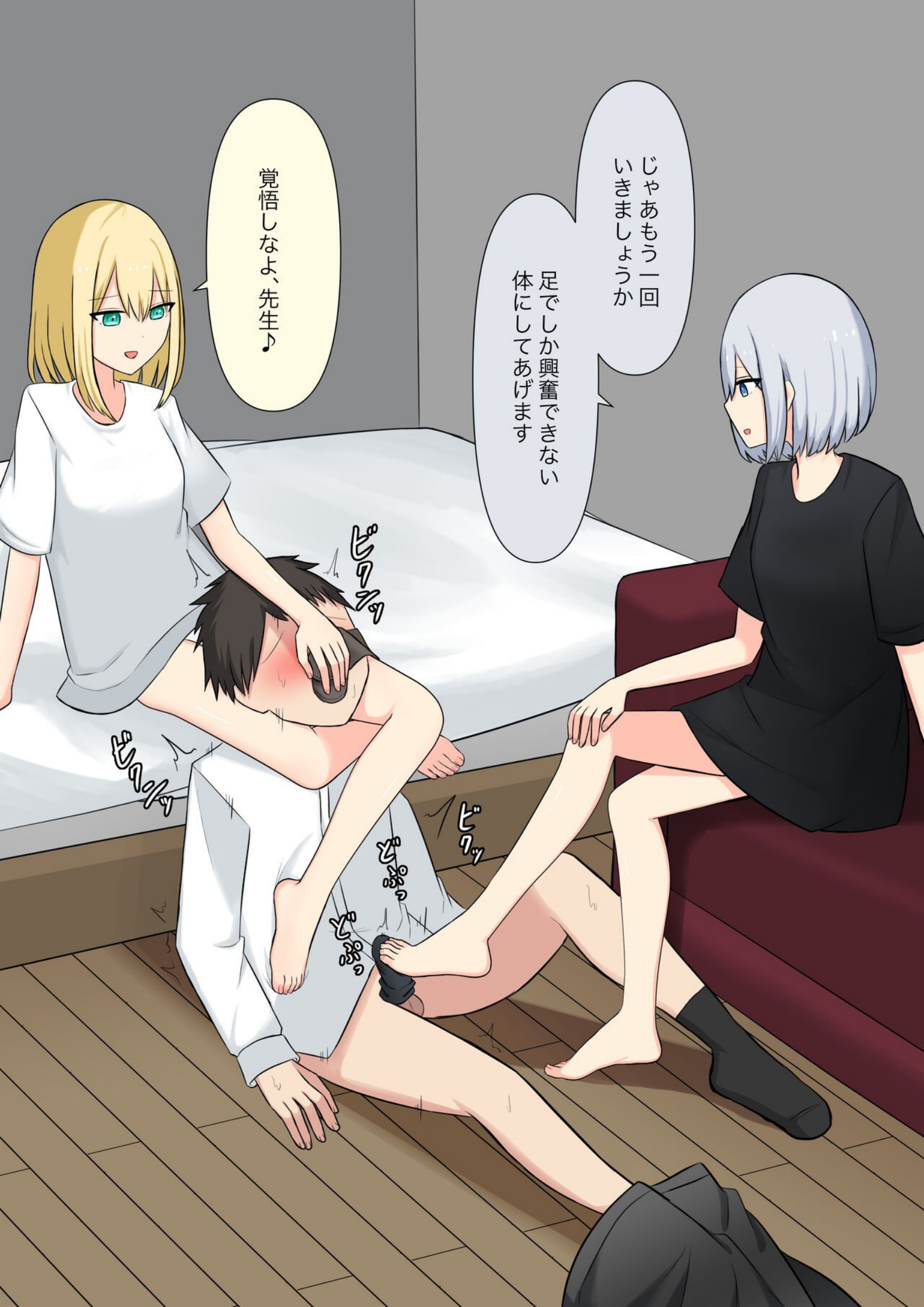
イっっちゃえイっっちゃえ  
イっっちゃえ♪



あははははっ  
こんなんで射精しちゃうんだw

これが癖になっちゃったら  
もう男としてお終いですねw





覚悟しなよ、先生♪

じゃあもう一回  
いきましようか

足でしか興奮できない  
体にしてあげます

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ  
ピクッ  
ピクッ



歴史的な瞬間を目前に控え  
巷はこの話題で盛り上がっています

## 夢の新エネルギーが実現？



わが国で世界初の実証実験。空間にわずかな歪みが発生させ別次元から新エネルギーを取り出すこの技術は...

初の新エネルギー生成装置の  
実証試験を行うため  
私たちは先生の故郷の国に来ました

Q #新エネルギー

いつも動きの遅い我が国が  
こんなに早く動くとは

最近電気代高すぎだから早く実用化して欲しい

なんか急すぎない？  
もう少し安全性を確かめてからの方が...

既得権益乙!もう石油はただのゴミw  
これからは新エネルギーの時代! 今時お湯沸かして  
タービン回す発電とか時代遅れだよw

専門家じゃないからわからないけど  
なんか危なそう...

あの博士は天才過ぎる

未知の物質ということは  
つまりよくわからない物質ということですね。

新エネルギーには発がん性物質が!  
今すぐ規制しろ!

そうやってすぐ規制とか言い出すから  
いつも他国に先を越されるんだぞ

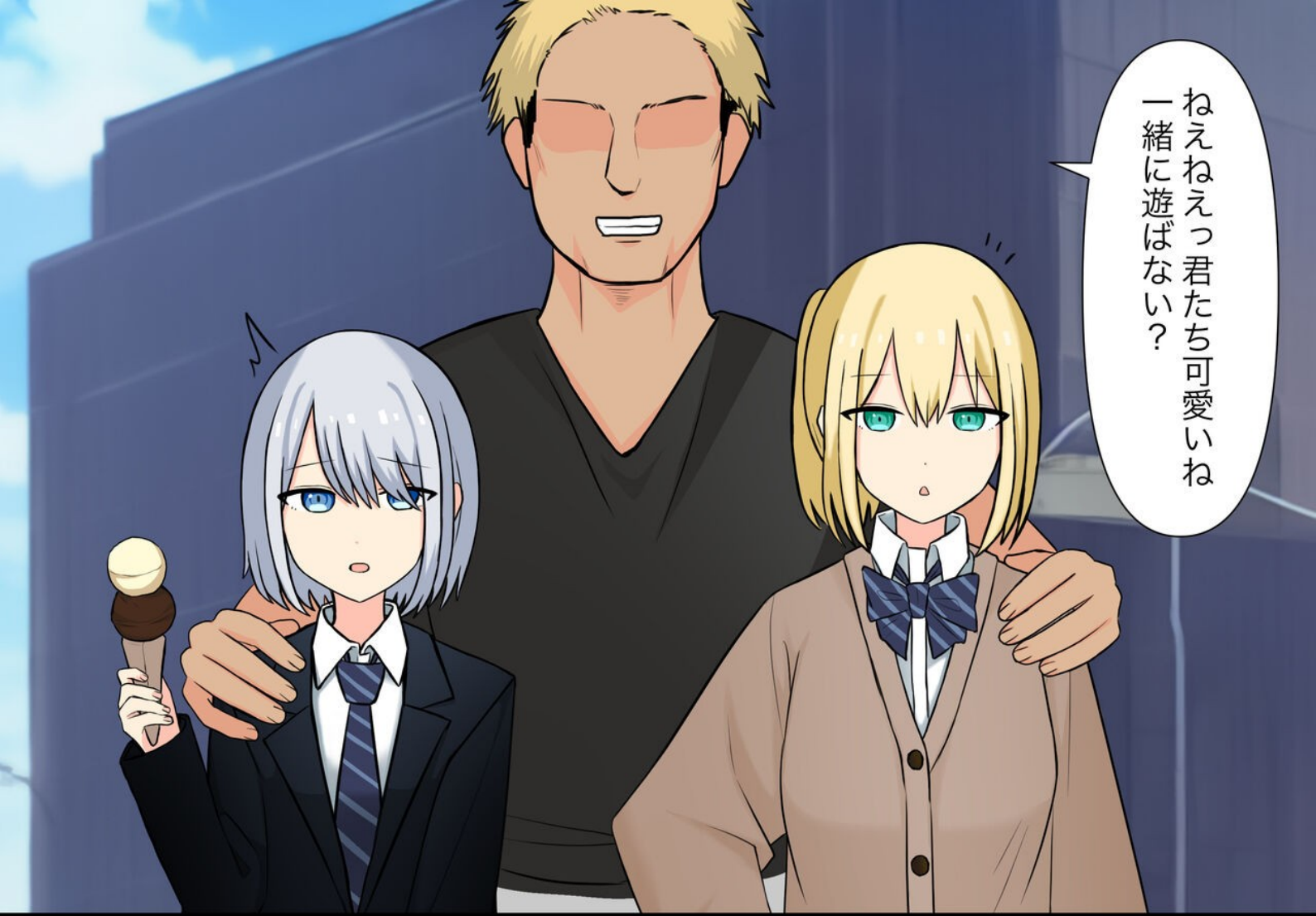
ねえどうこれ？制服似合う？  
一回着て見たかったんだよね

はあ…なんで私まで  
着なきゃいけないんですか…

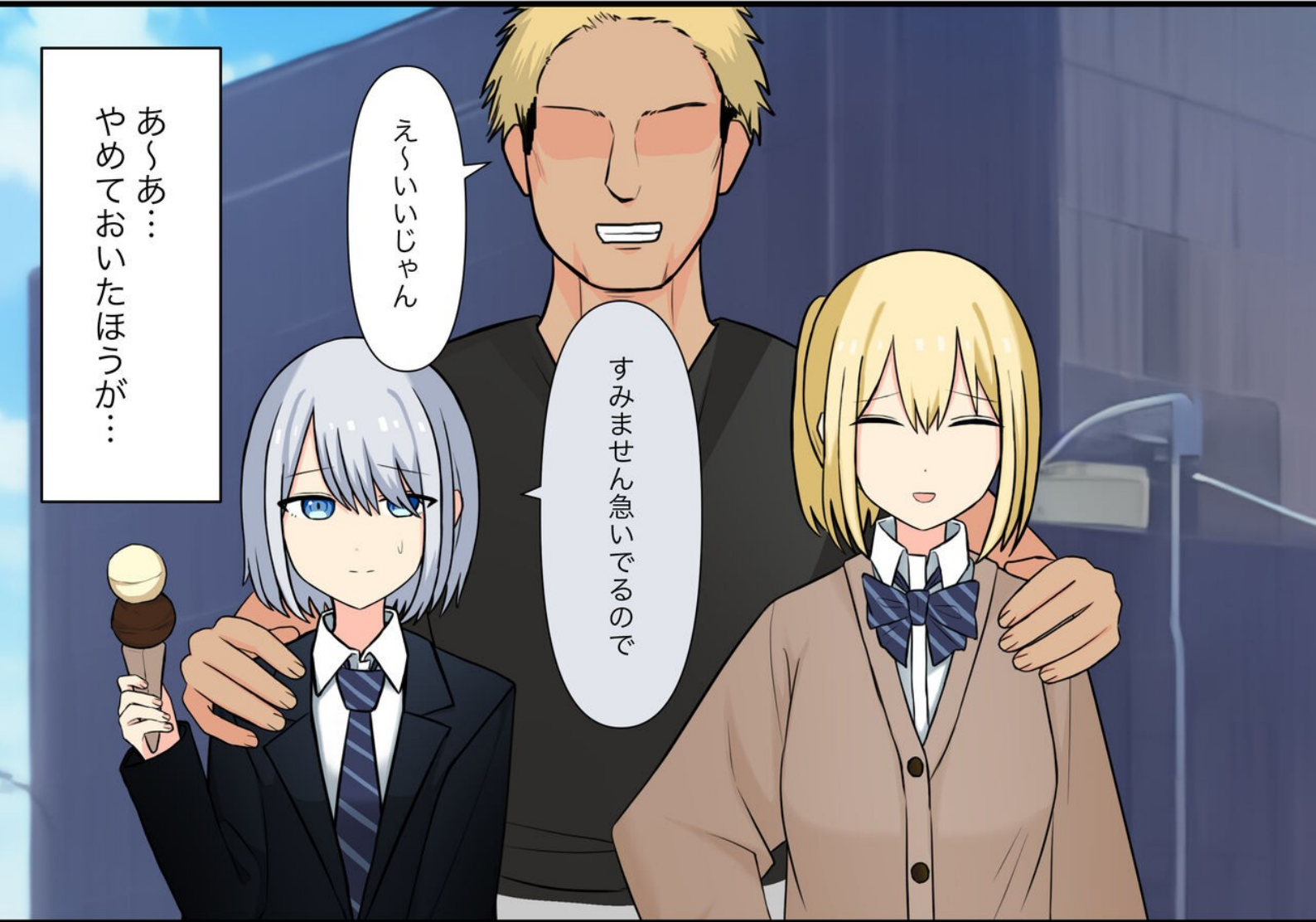
二人とも  
よく似合うよ

まあ…ならいいか





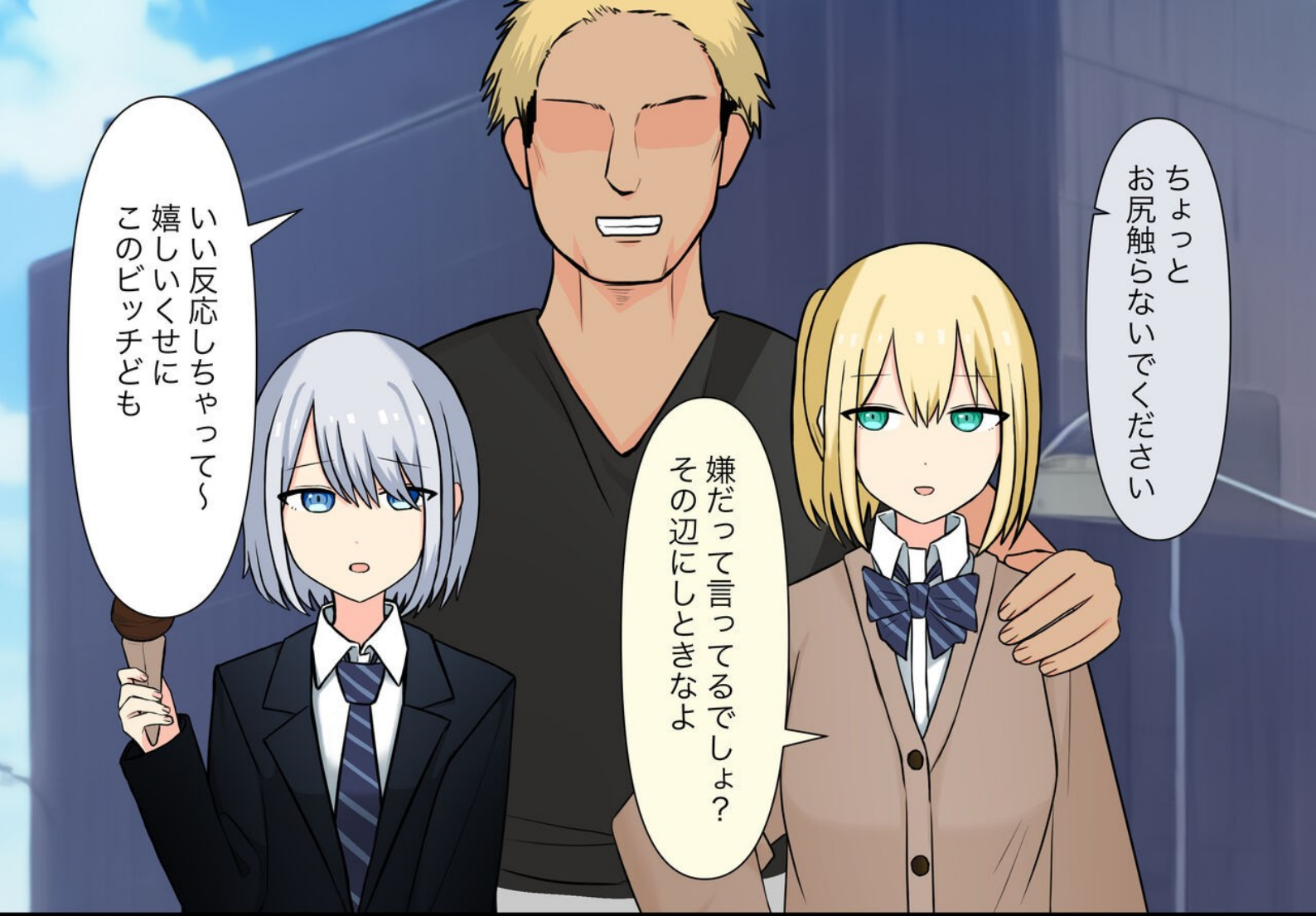
ねえねえっ君たち可愛いね  
一緒に遊ばない？



あゝあゝ  
やめておいたほうが...

え〜いいじゃん

すみません急いでるので



ちよつと  
お尻触らないでください

嫌だつて言つてるでしょ？  
その辺にしときなよ

いい反応しちやつて〜  
嬉しいくせに  
このビッチども



ほんとにやめてください！

あつ

ぽろ...



あくあ：  
しすらない

せっかく長い間  
並んで買ったのに…



そんなの  
どうだって  
いいだろ？  
それより…



それはこっちの台詞です  
この股間についてるものが悪いんですか？  
踏み潰してあげましょうか？

ぎゃあああ  
やめるおツ

ギゃ~~~~

やめる？なにその態度？  
潰されたいの？

ガクガク

やめてくださいッ  
俺が悪かったです  
許してください

じゃあそこに  
土下座

ズリッ

ズリッ

はッはい…

ビクッ

ビクッ



それはッ…

手を使わずに口で舐めとるんですよ

でももったいないので落ちてしまったアイスを食べてください



うう…

あなたのせいで落ちたんです…早くしてください

ほら…さっさと舐めろ〜

もっと頭を地面につけないと舐められないぞ〜

おどツツ!!

ぐいっ

びちゃっ





くすくす

けらけら

うう...

ぐわ

ぶるぶる...

うッ...

ぐわ

うん...

れるれる...



もういなくなりたい...

は？まだまだ残ってるじゃないですか？



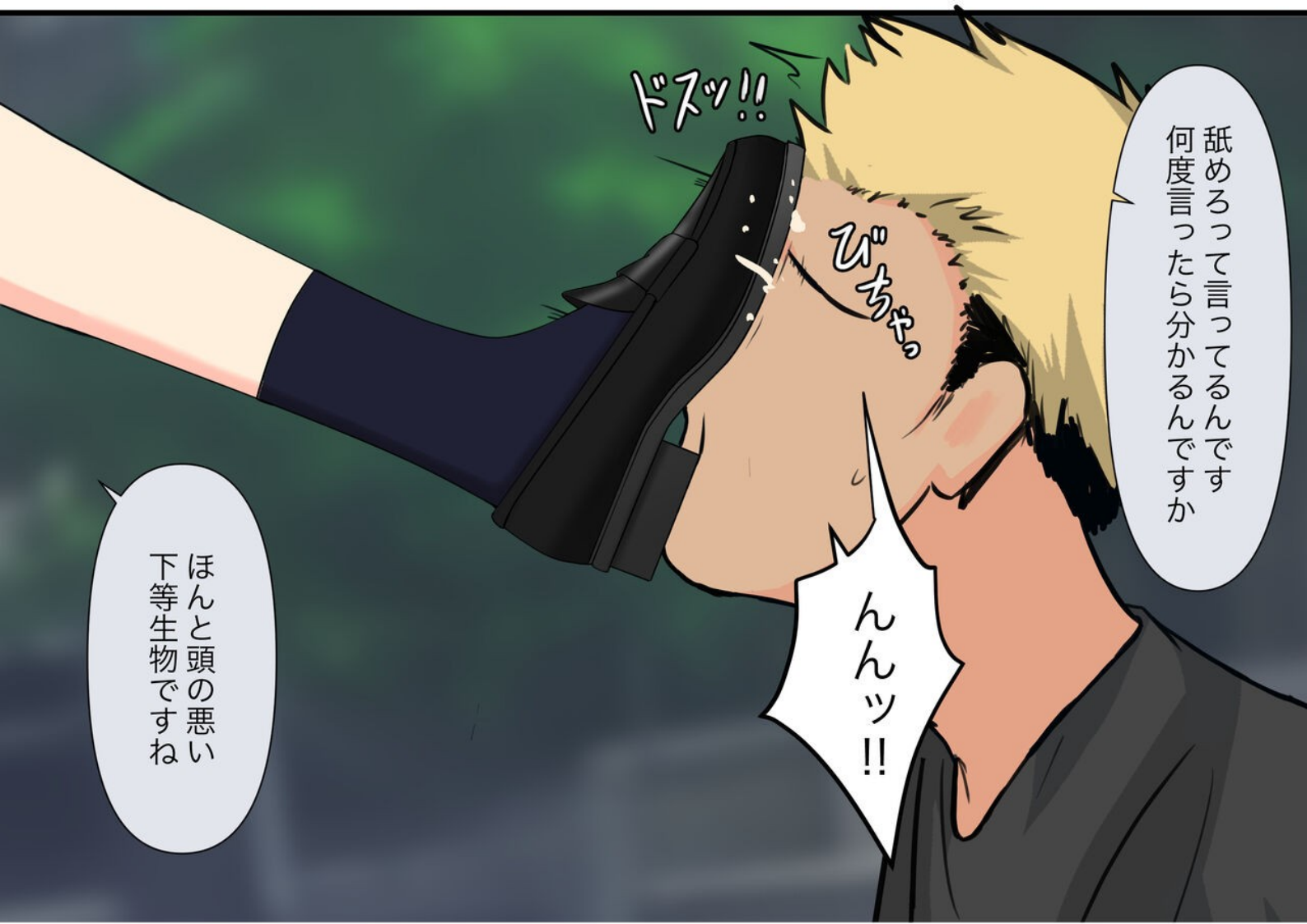
舐めやすいように手伝ってあげますよ

びちやッ



ほごぎんご

えつと…  
それは流石に



ドスツ!!

びぢぢ

舐めろって言うてるんです  
何度言ったら分かるんですか

んんツ!!

ほんと頭の悪い  
下等生物ですね

ははは  
めっちゃビビってるw

あんなに偉そうにしてたのに  
女のいいなりになって  
靴底舐めちゃうんだw

ビクビク...

隙間に入った分も  
しっかり舐めるんですよ





返事は？

はッはいッ

綺麗にさせて  
頂きますッ!!

バキッ!!!



今のは理不尽だ…

なんで!?

ふーん

バキッ!!!



じゃあこれで  
今回は許してあげます

二度とセクハラしないでくださいね  
次は容赦なく潰しますから

じゃあね  
これに懲りたら  
いい子にしてるんだぞ



昼のあいつ  
サラに蹴られてビクビクしてるの  
めっちゃ面白かったw

それに：誰かさんも  
それ見て興奮してたしねw

はい：誰かさんがずっと  
私の足を見てましたね

ね、先生？  
バレバレですよ

あれからすっかり  
足が大好きになっちゃたんだね

どうする？  
また足でいじめられたいの？

そ：  
そんなんじゃ：

あはは：口で否定してても  
表情で期待してるの  
バレバレなんだよねw

ほんとわかりやすいな



ほらずっと見てた  
女の子のおみ足だぞ  
踏まれるの妄想して  
興奮してたんでしょ？

くっ♡

ビクッ

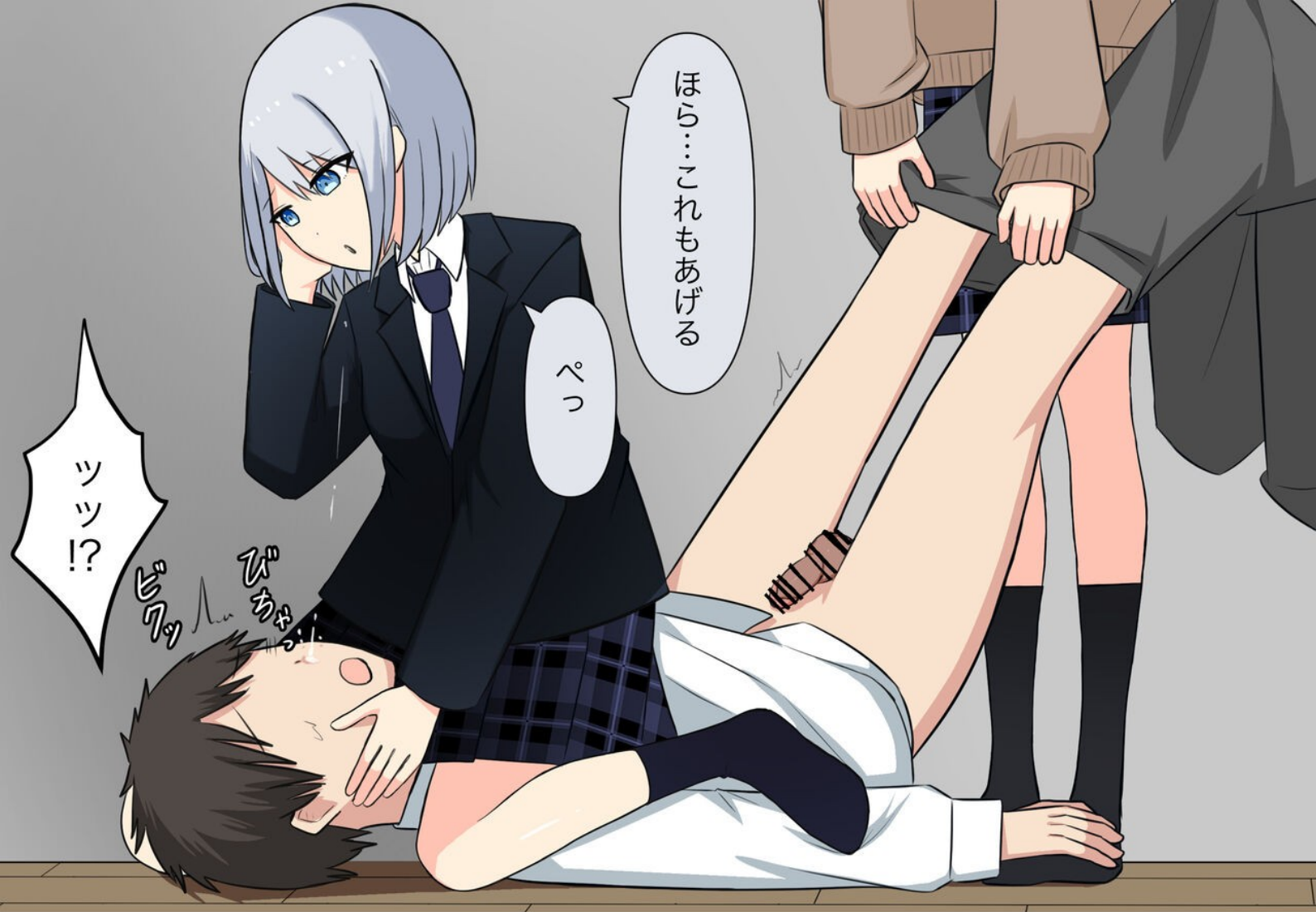
こうされたかったんだよね？  
ねえねえw

脚で顔を  
挟んであげますね

ビクッ

ぷちゅ〜

ぶちゅって潰れちゃって  
面白い顔になってますよw



ほら…これもあげる

っぺ

ツツ!?

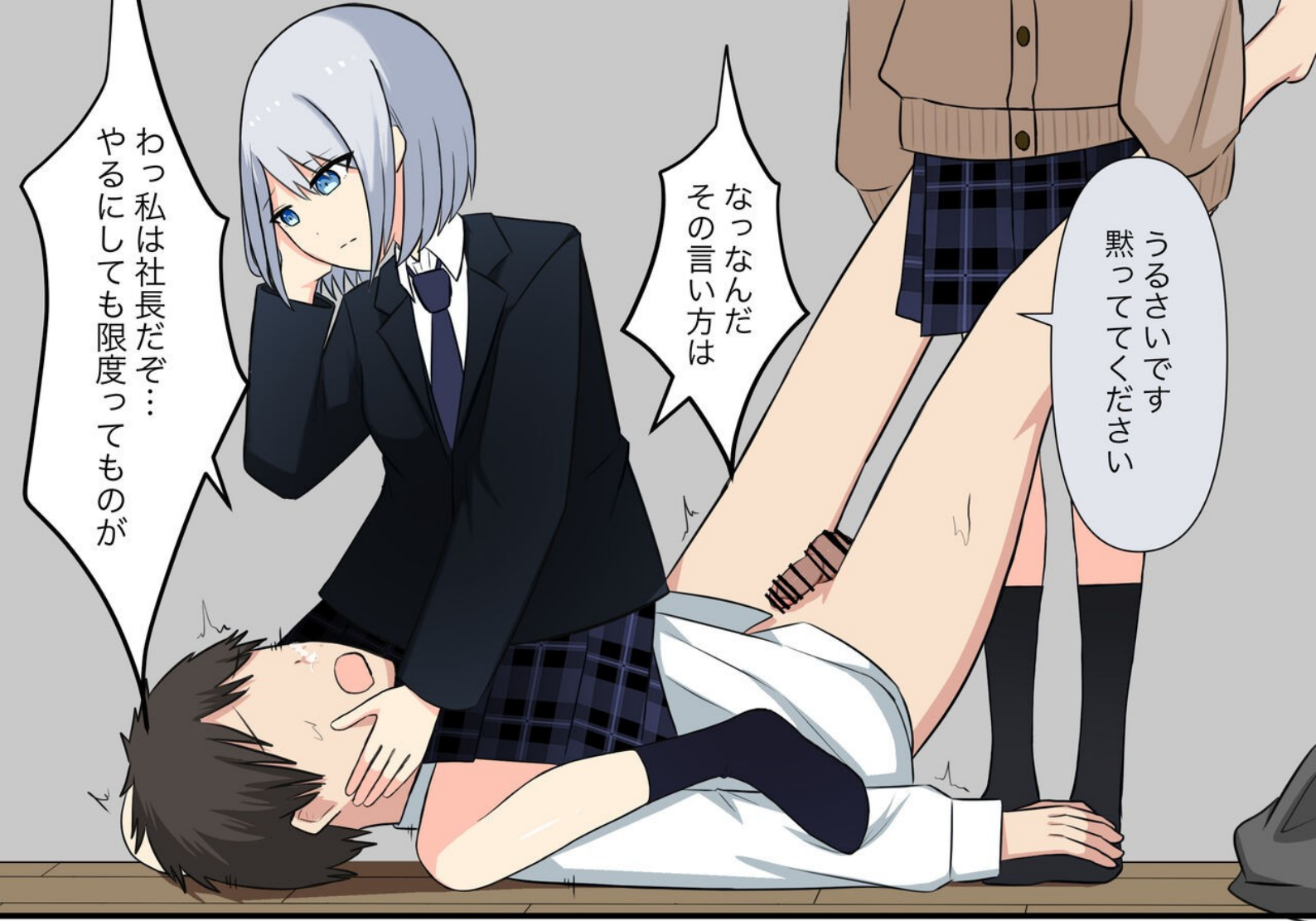
びちゃっ  
びん



あゝあ  
顔に私の唾液が  
ついちやいましたた  
きったないですね

ちよ…なにするんだ  
唾を吐きかけるなんて

やっていいこと  
悪いことが…



そっそれは…



あれ〜  
えら〜いえら〜い  
社長さん？

唾吐きかけられてるのに  
あそこは元気になってるよ〜

あああッ!!



不思議だね〜w

うっわ…気持ち悪い…  
嫌がるふりして  
喜んでるんじゃないですか

あれ？やっつけていいことと  
悪いことがくでしたっけ？

変態のくせに常識人ぶって  
お説教とか生意気なんですよ  
お仕置きが必要ですね

はぁ…  
はぁ…

ビクッ

きゅん

ビクッ



どうですか？私の睡のお味は？  
美味しいですか？顔が赤くなっていますよ

ぺっ

ぺっ

ぺっ

おびッ!!

びちゃっ

びちゃっ

ぎゅっ  
ぎゅっ

びびっ

ぎゅっ

びびっ



足を押し返すほどガチガチになってるの  
ウケるんだけどwどんだけ興奮してんのw

いくら勃起したところで  
私の足に踏み潰される  
だけなんだからねw

こんなに勃ってるのに  
セックスさせてもらえなくてかわいそw  
でも童貞くんにはこれがお似合いだよw

おどろ!!

びちゃっ

びちゃっ

ピクピク

ピクピク

かかかかか

ピクピク



ねえ…謝ってください  
生意気なことを言ってしまった  
申し訳ございませんでしたって

なっなんで  
そんなことッ  
ああッ♡

は？

…!!いやッ  
その…ごめんなわこッ

おびッ!!

びちゃっ

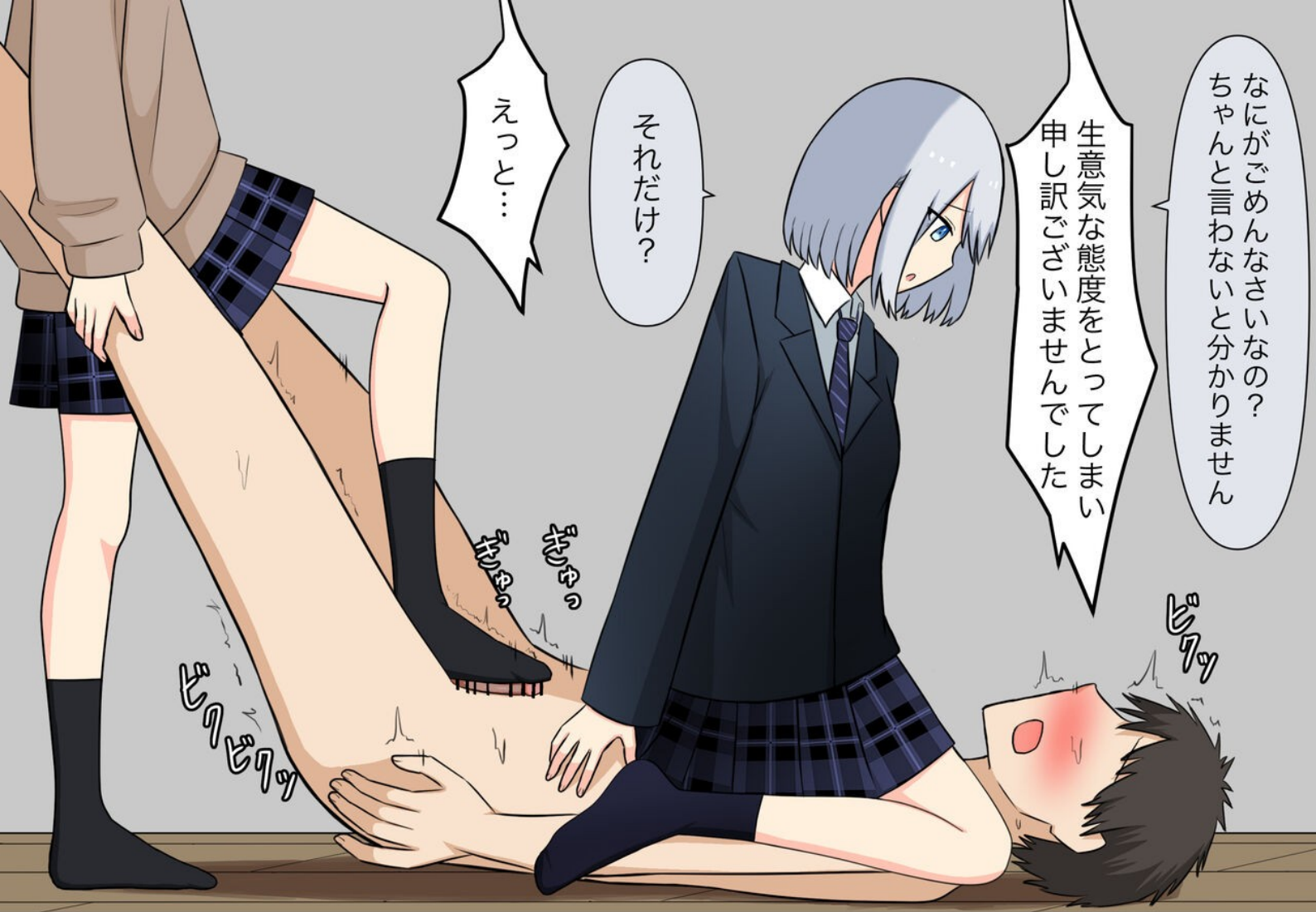
ビクッ

ビクッ

かかかかか

ビクッ





えっと...

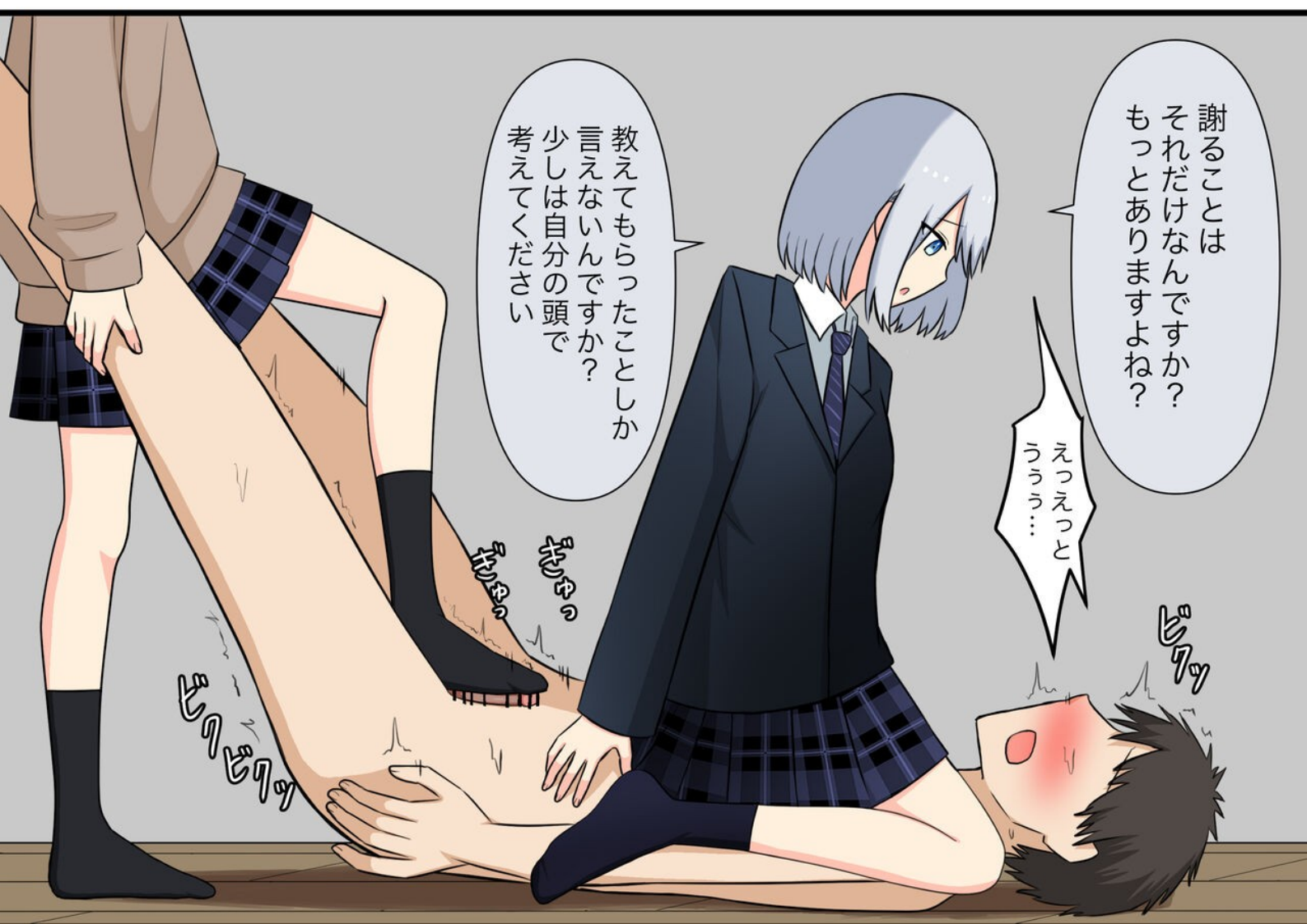
それだけ?

なにがごめんないの?  
ちゃんとと言わないと分かりません

生意気な態度をとってしまい  
申し訳ございませんでした

びびっ

びびっ



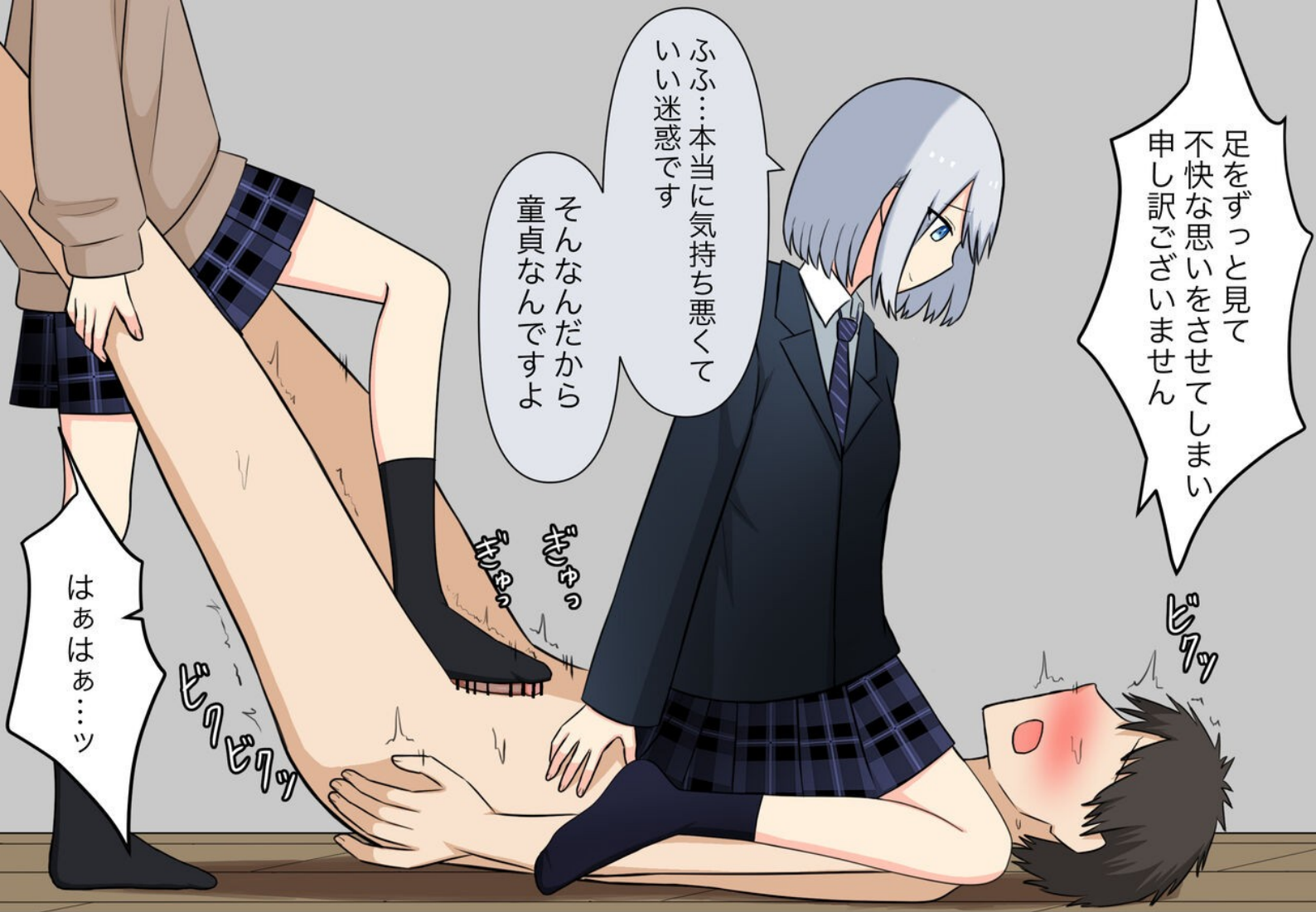
謝ることは  
それだけなんですか?  
もっとありますよね?

えっえっと  
ううう...

教えてもらったことしか  
言えないんですか?  
少しは自分の頭で  
考えてください

びびっ

びびっ



足をずっと見て  
不快な思いをさせてしまい  
申し訳ございません

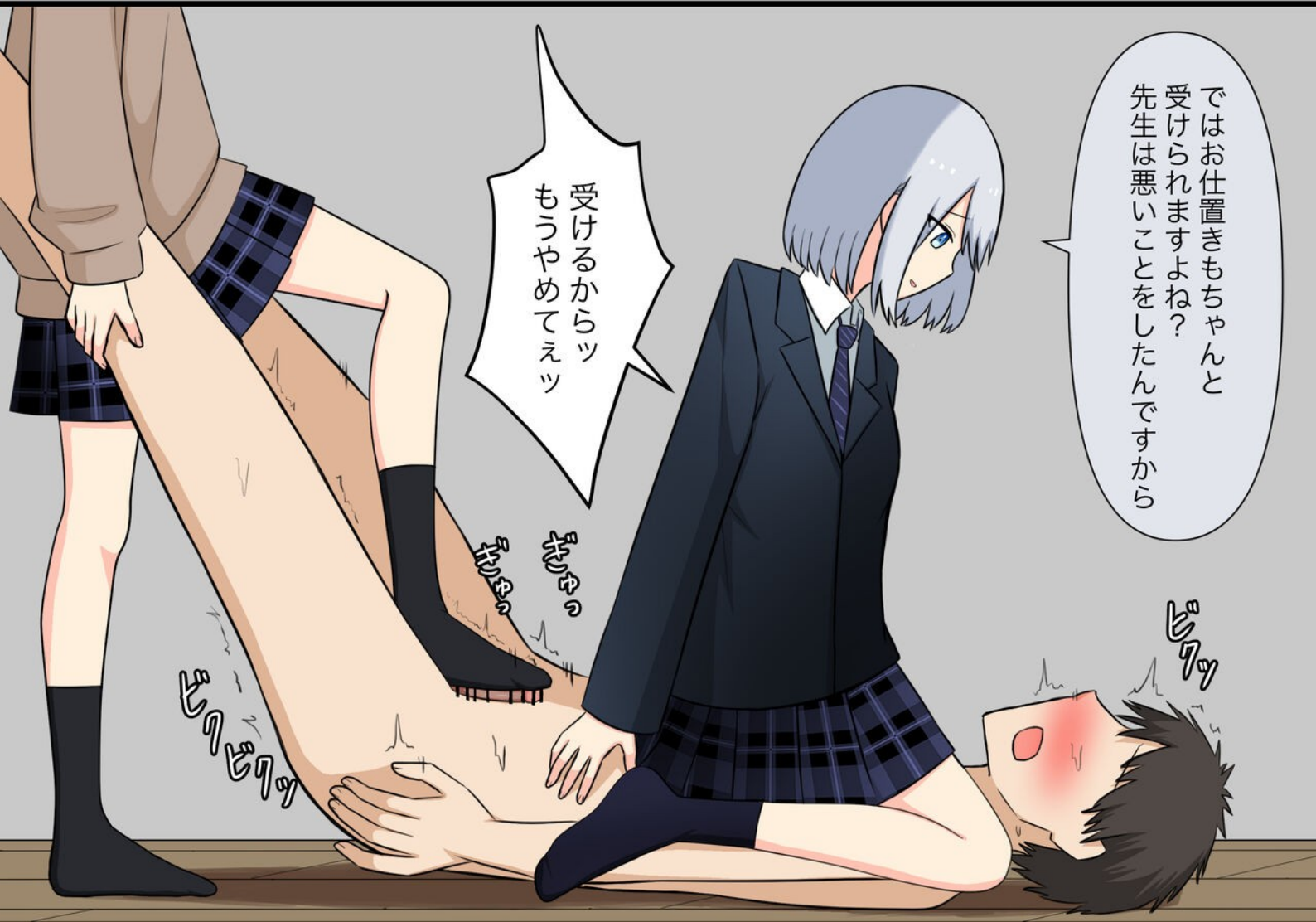
ふふ…本当に気持ち悪くて  
いい迷惑です

そんなんだから  
童貞なんですよ

はあはあ…ッ

びびっ  
びびっ

びびっ

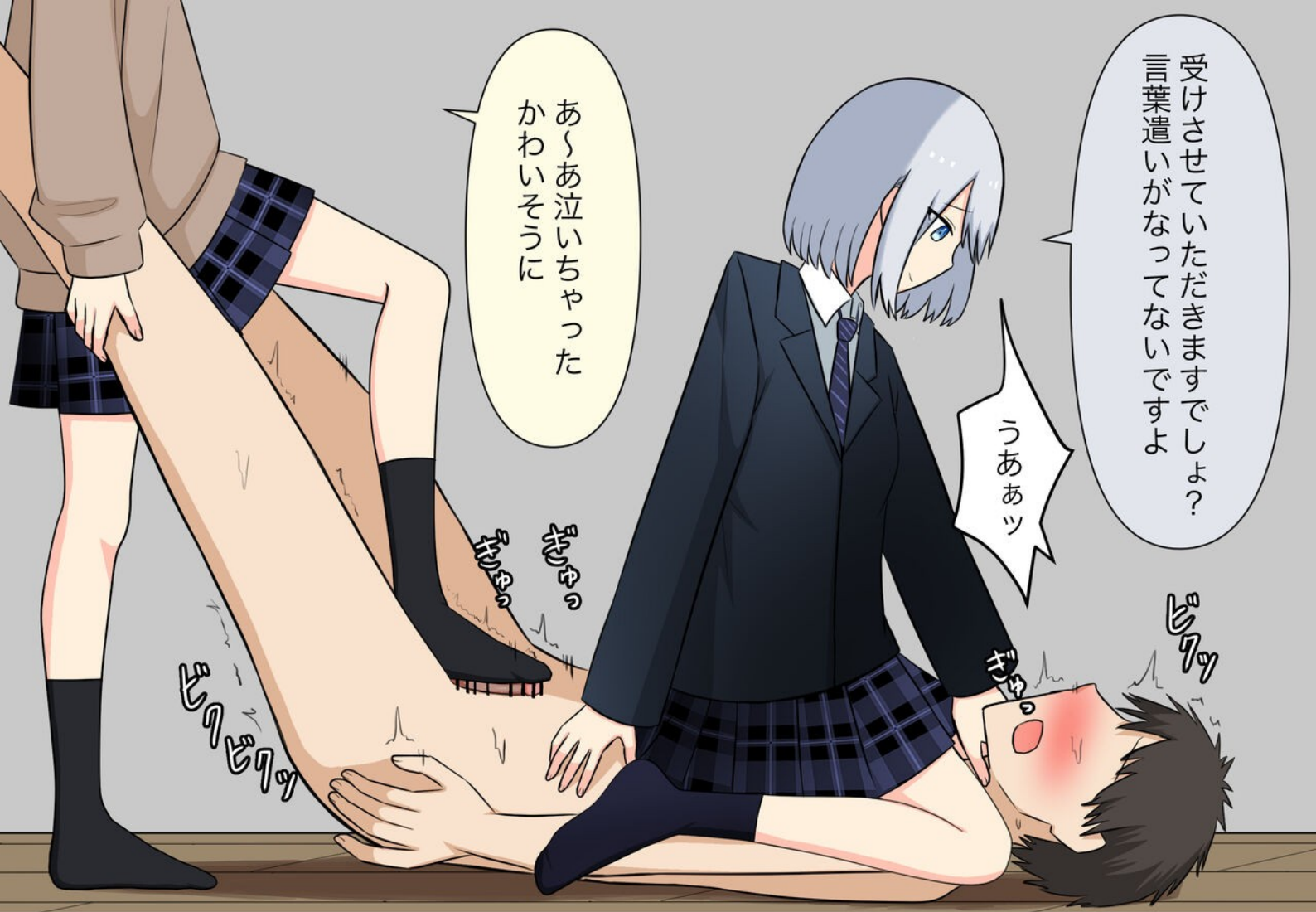


ではお仕置きもちゃんと  
受けられますよね？  
先生は悪いことをしたんですから

受けるからッ  
もうやめてえッ

びびっ  
びびっ

びびっ



受けさせていたいただきますでしょ？  
言葉遣いになってないですよ

うああッ

あくあ泣いちゃった  
かわいそうに

びびり

びびり



ふふっかわいい…  
ほらっ泣いて許されるのは  
小学生までですよ  
ちゃんとやってください？

ほら

ほらっ

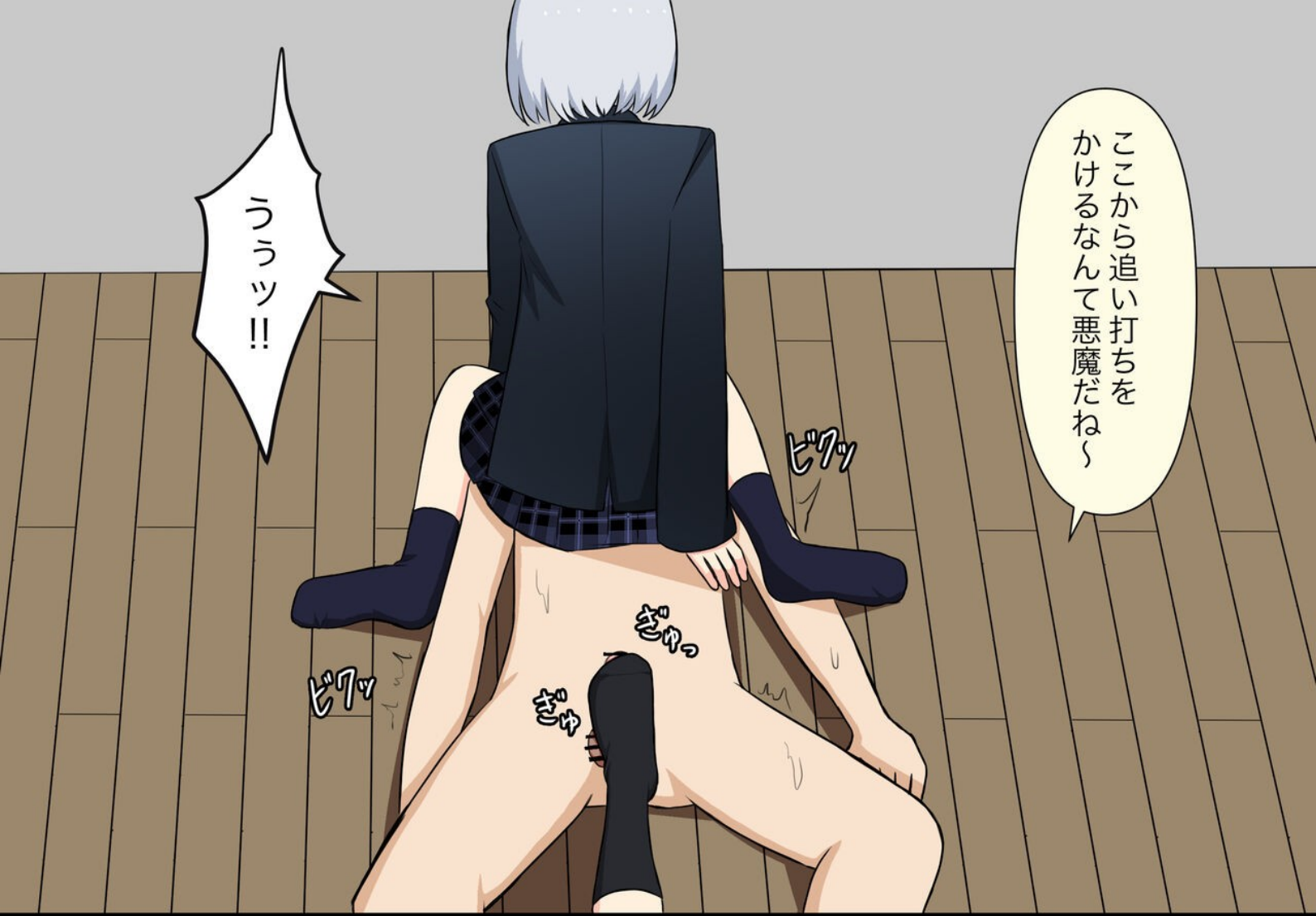
申し訳ございません  
お仕置きを受けさせて  
いただきます

よく言えました…いいこです  
じゃあお仕置き受けましょうね？

アリスお願い

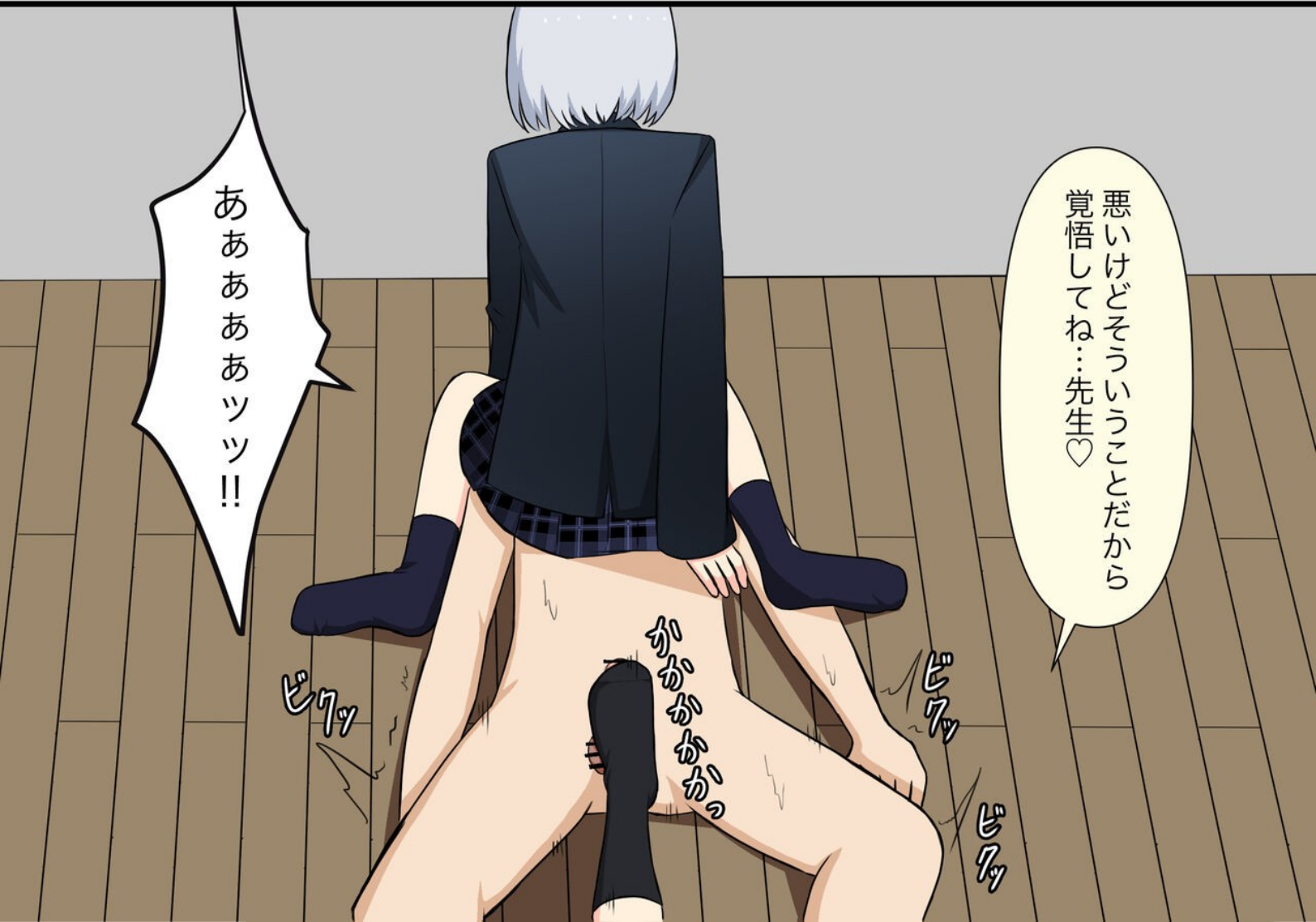
びびり

びびり



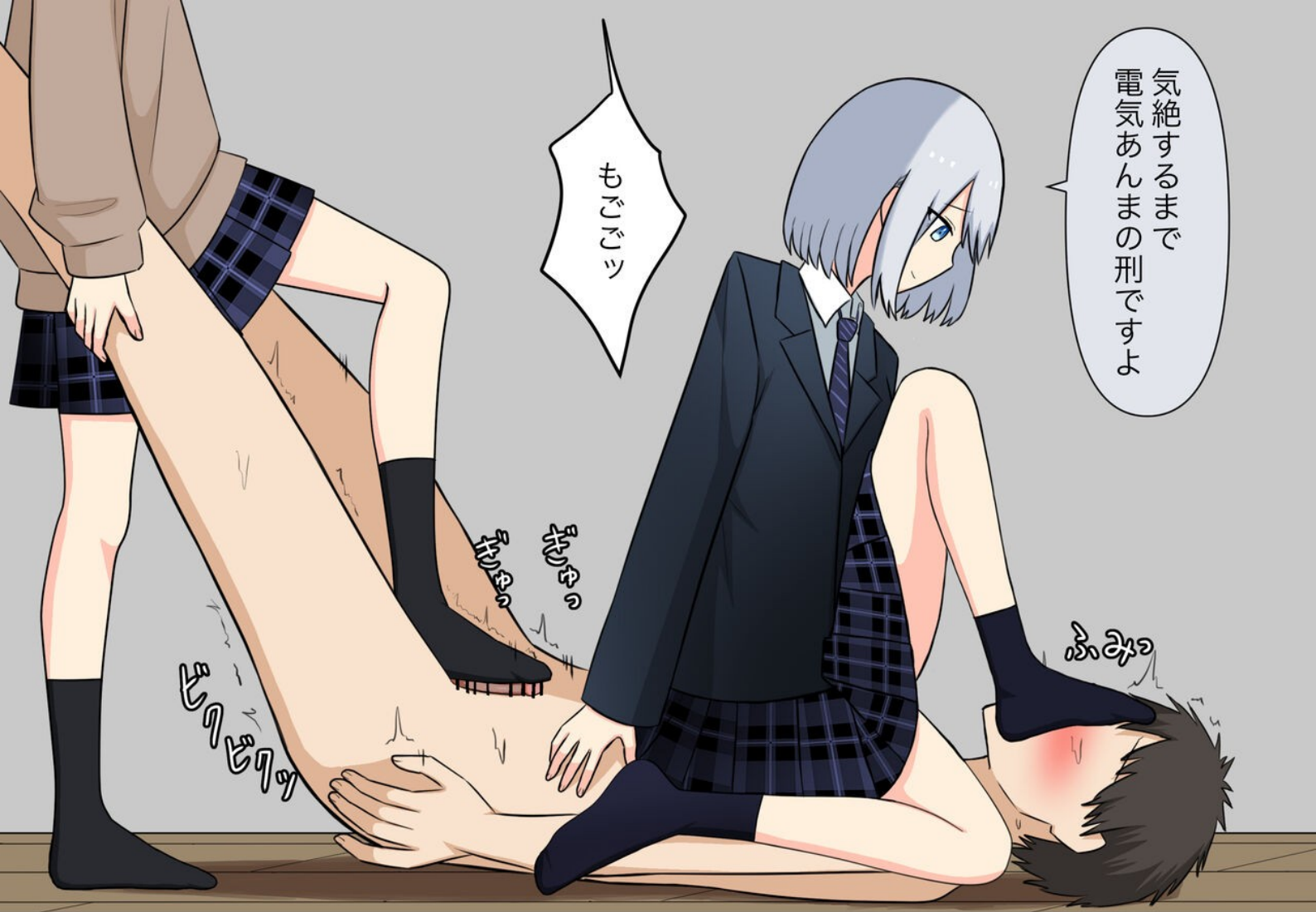
ううッ!!

ここから追い打ちを  
かけるなんて悪魔だね〜



ああああッッ!!

悪いけどそういうことだから  
覚悟してね…先生♡

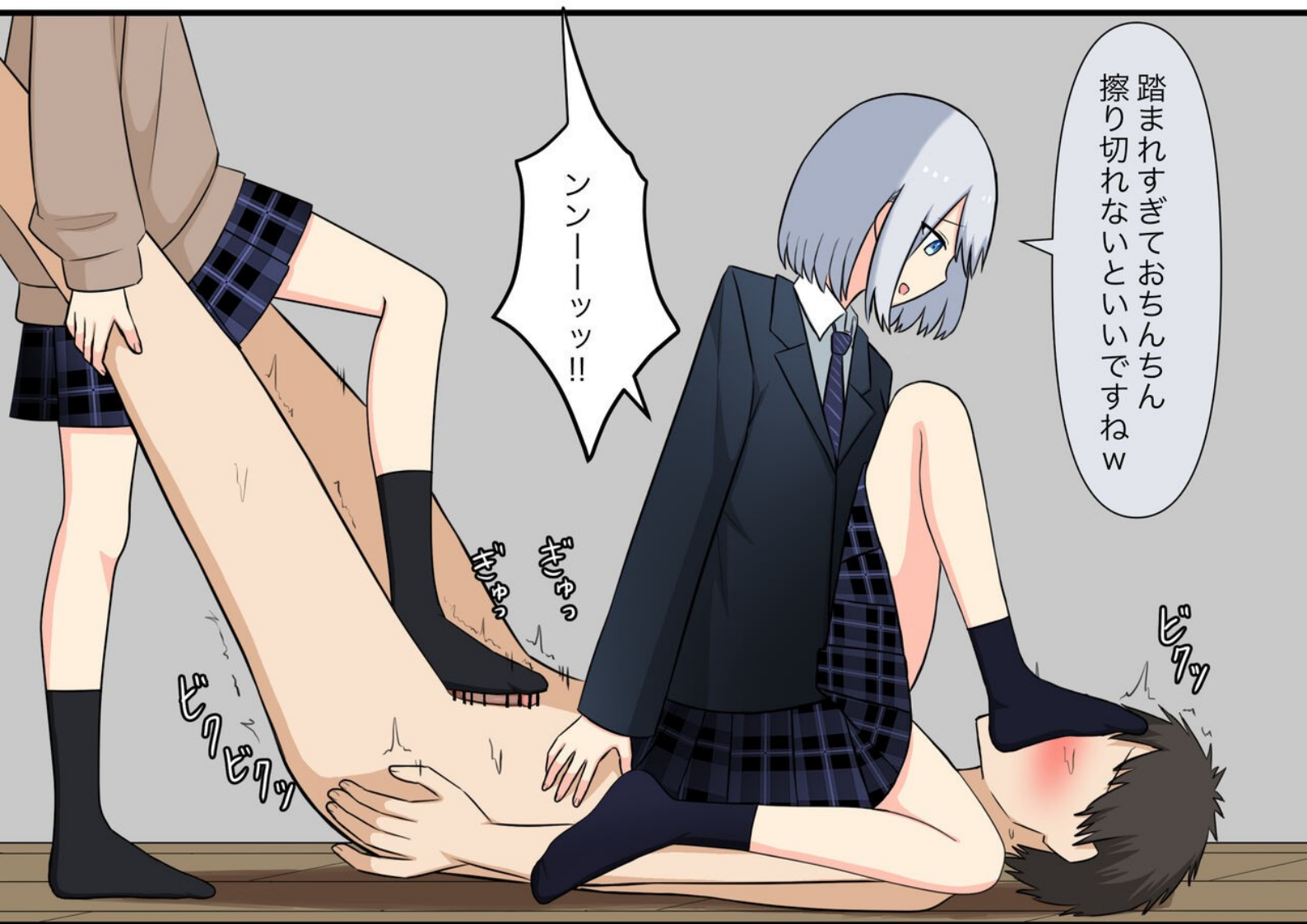


気絶するまで  
電気あんまの刑ですよ

カクッ

ふみッ

ビクビク



踏まれすぎておちんちん  
擦り切れないといいですね W

ンーンッ!!

ビクッ

ビクビク





先生の様子はどうですか？



うん…ぐっすり寝てる  
というか気絶したままだよ

さっきのは少し  
やりすぎてしまいましたね

あまりにも反応が  
面白かったもので…つい

明日謝っておきます



あれは謝ってすむのかな

先生なら許してくれますよ  
まんざらでもなさそうでしたし



じゃあそろそろ  
動きましようか

最近はずっと  
ネズミにつけられています

やっぱりね  
ホント懲りないやつら




まあ…どうしても  
この技術を完成させたくなくて  
必死なんでしょう

向こうの国のお偉いさんには  
手を回してなかったの？

ガードが固くてなかなか近づけませんでした…  
それに数人取り込んだくらいじゃ  
完全に抑え込むことは難しいですね

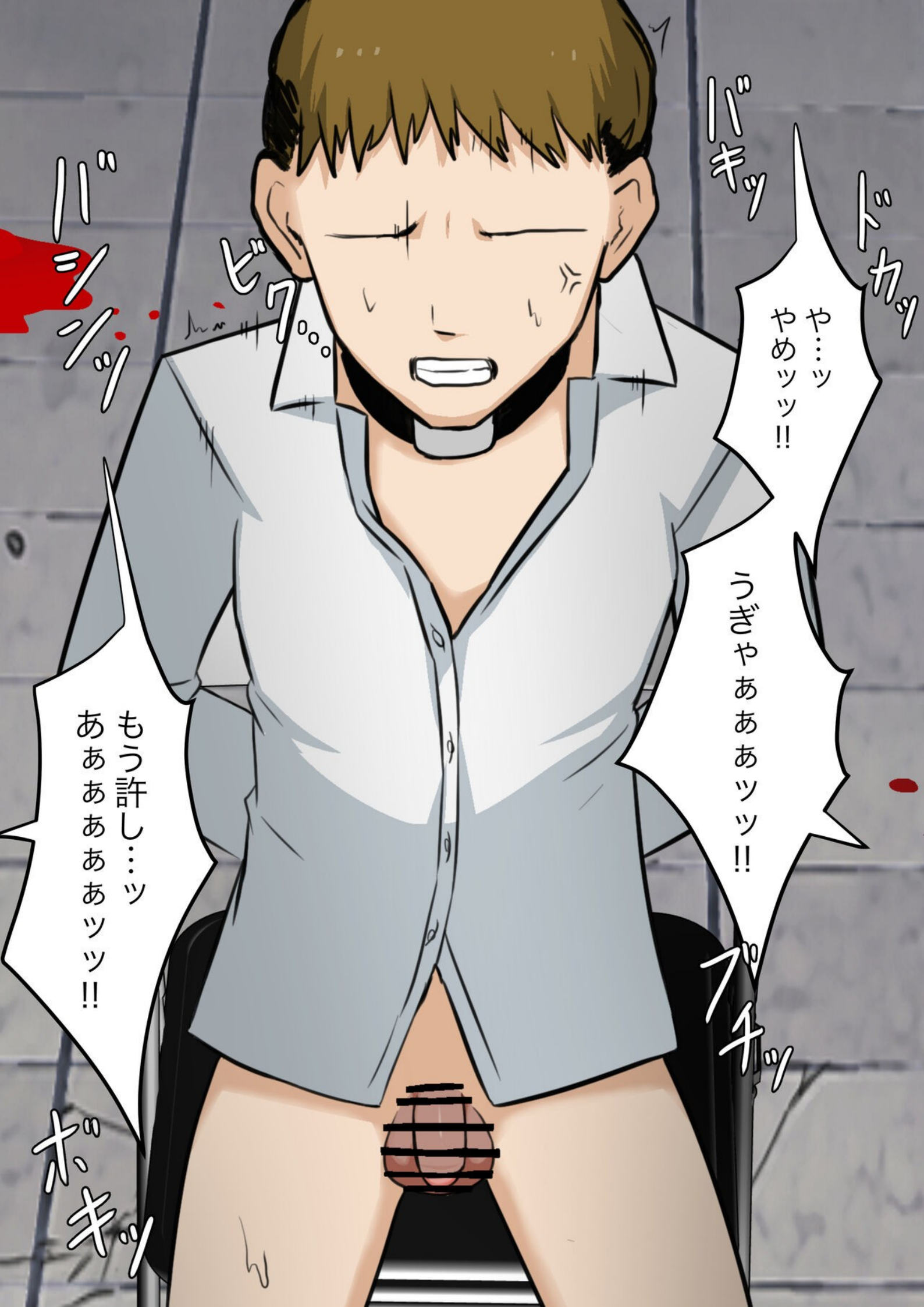
じゃあ…  
やるっきゃないか





私たちは敵組織のアジトに乗り込みました  
試験本番で邪魔をされると迷惑なので  
今のうちに潰しておきます

でも敵の情報を聞き出すつもりがアリスが張り切ってしまい  
有力な情報源たちを次々に壊してしまいました。  
残るは一人だけ、壊さないように気をつけないと…



バ  
= /  
ツ

ビ  
7  
000

バ  
ギ  
ツ

ド  
カ  
ツ

や...ッ  
やめッッ!!

うぎやああッッ!!

ブ  
チ  
ツ

もう許し...ッ  
ああああッッ!!

ホ  
ギ  
ツ

さっさと情報吐かないと  
お友達みたいになっちゃうよ？

あんたも強情だね〜

ビク...

ビク...

ビクッ

んんん...

んんん!!!

ボキッ!!!

ハキッ!!!

か...

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ





ほらっ

ビクッ

おっおっ!!

ビクッ

ビクッ

ビクッ

んんん!!

カチッ

んんん!!

びびび

びびび

ハキッ!!

びびび!!

びびび

びびび

びびび

びびび

びびび

びびび

無事にお家に帰りたいよね？  
正直に言っちゃいなって

私達正直な人には優しいよ

ふっ！！

ふっ！！

優しくしているうちに  
協力した方が良いでしょう

わかった…話すから…

れろ…

ビクッ

ぞくっ

これで全部だ…

ふくん…本当に全部？  
もし嘘だったら分かってるよね

がみっ

ツツ…

ああ…本当に全部だ  
だから早く解放してくれ

サラっ  
答え合わせ  
よろしく！

びんぎ

はいはい：最初から  
こうすればいいのに

え〜だってそれじゃあ  
つまらないじゃん！

サラだって楽しそうに  
拷問してたくせに



私はそんな事  
してません

またまた〜

とにかく  
もう始めますよ

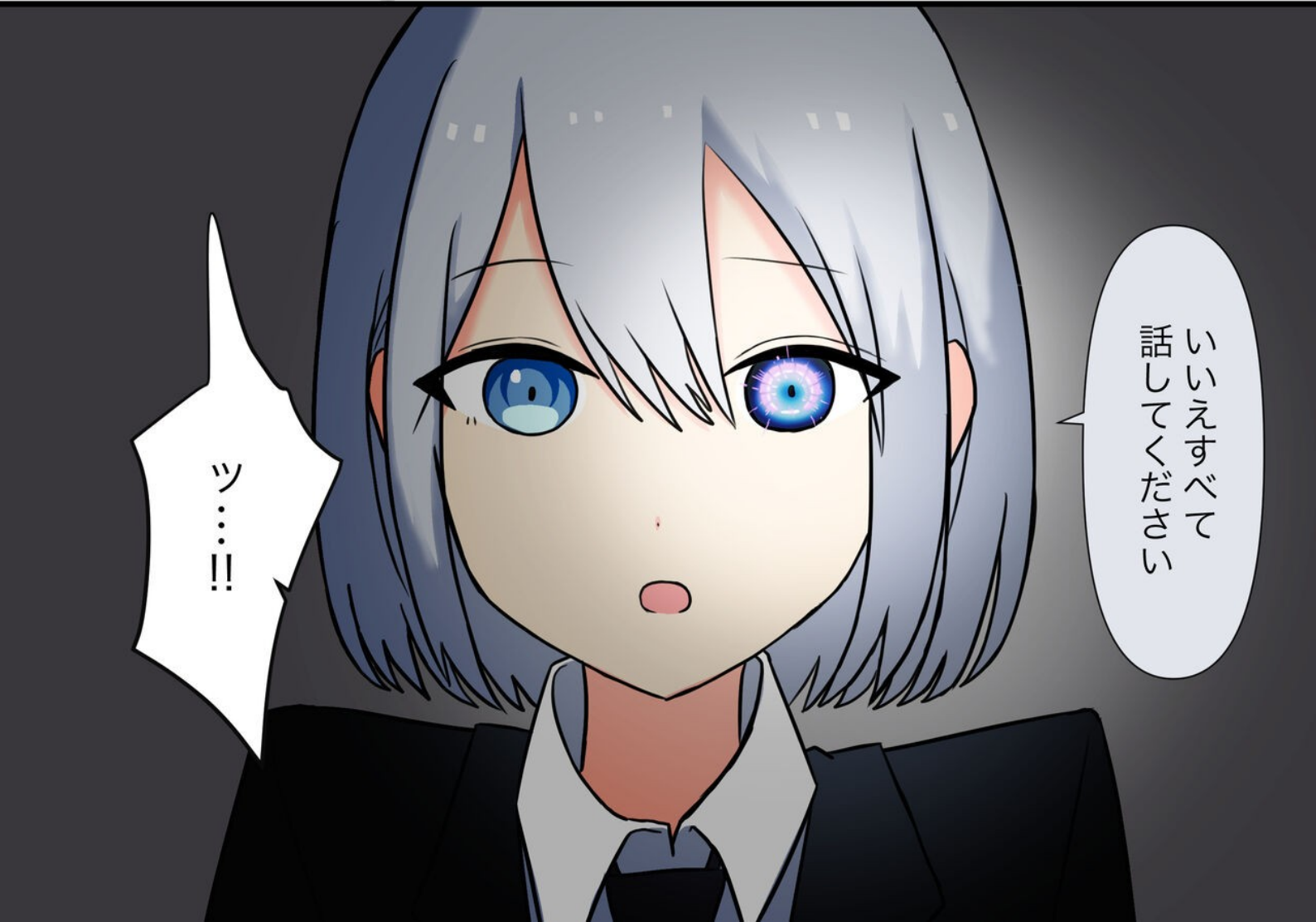
はいはい





さて：私たちを  
付け狙うストーカーさん  
あなたには仲間が沢山いますよね  
どこにいるか教えてください

だからさっき  
話しただろ！



いいえすべて  
話してください

ツ…!!

本当はさっき言った倍は  
潜入しています  
潜伏地点は...

.....

正直に話してくれて  
ありがとうございます

はっ...俺は何を...!?

なで...

なで...



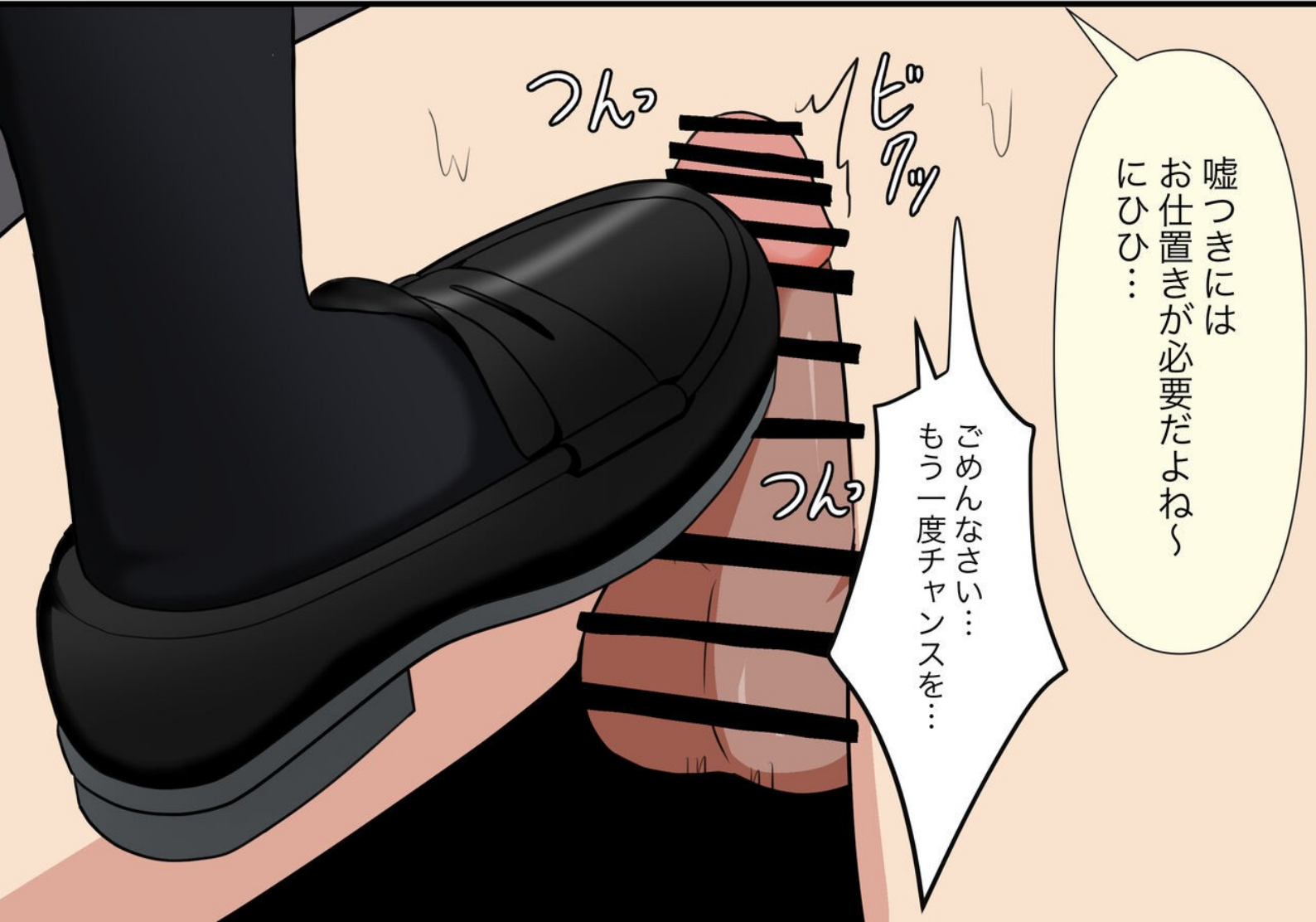
これは…その…

なで…

なで…

びびっ

あんたさく正直に全部話したって  
言ったのに…嘘だったんだねく



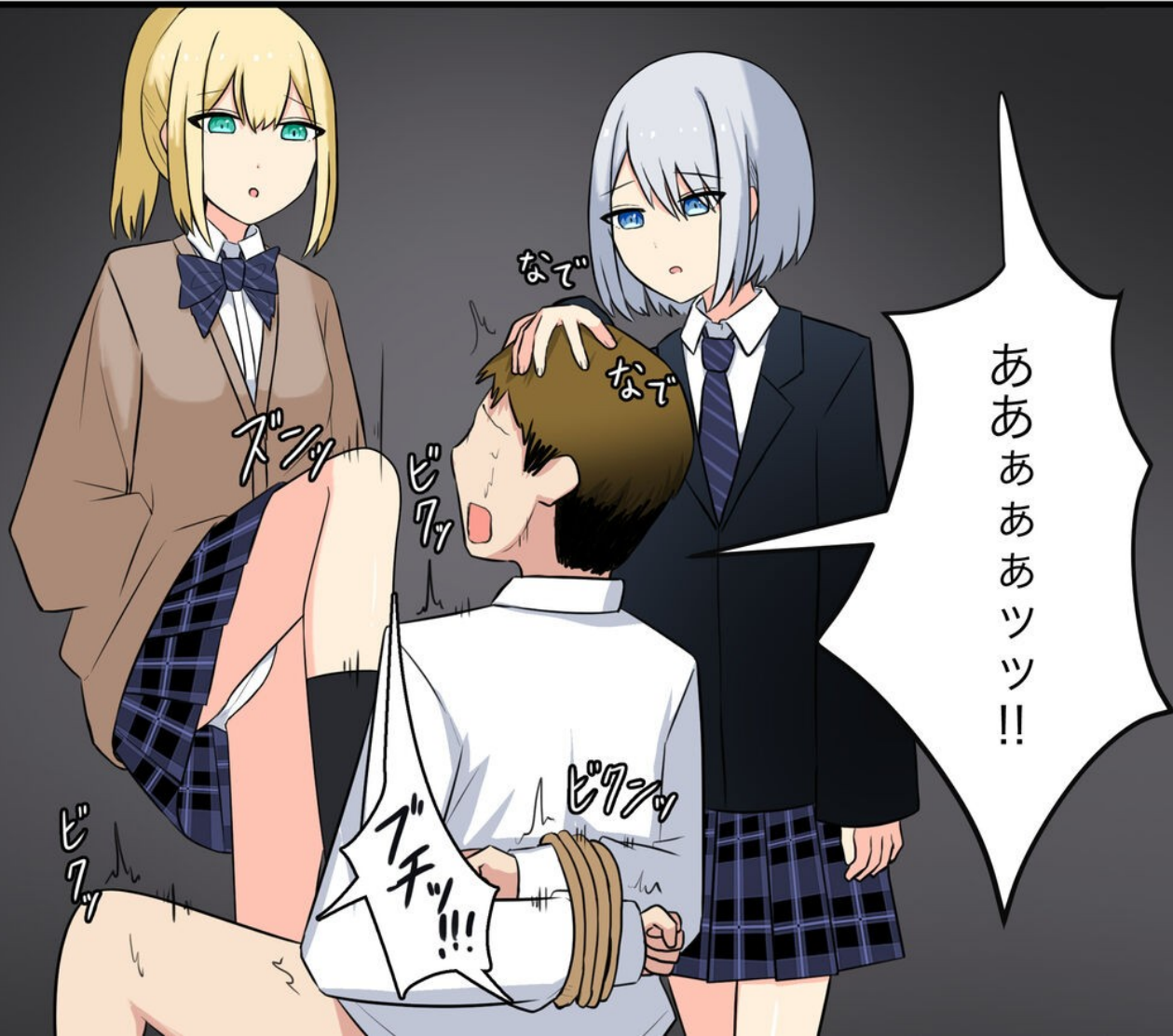
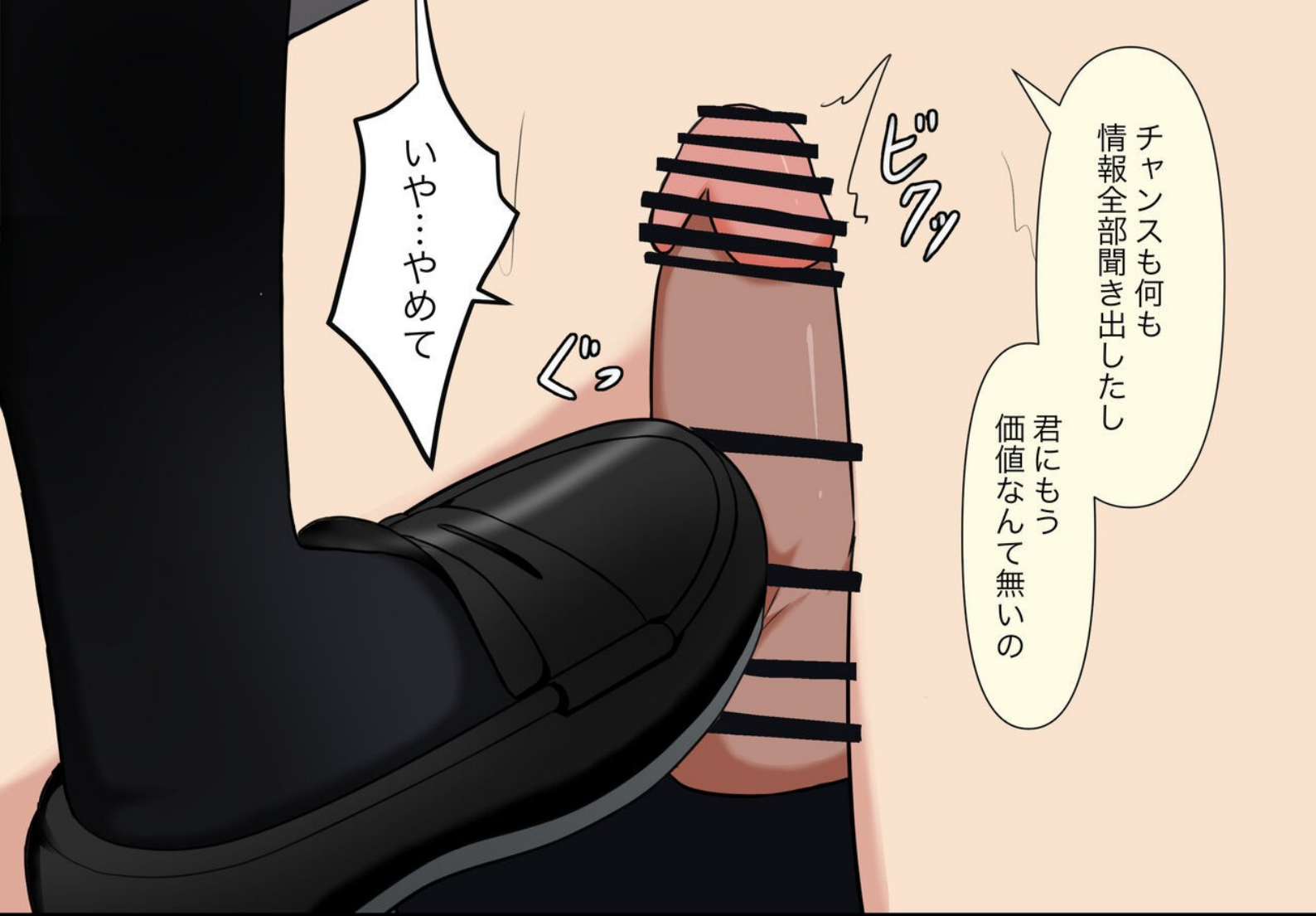
つん

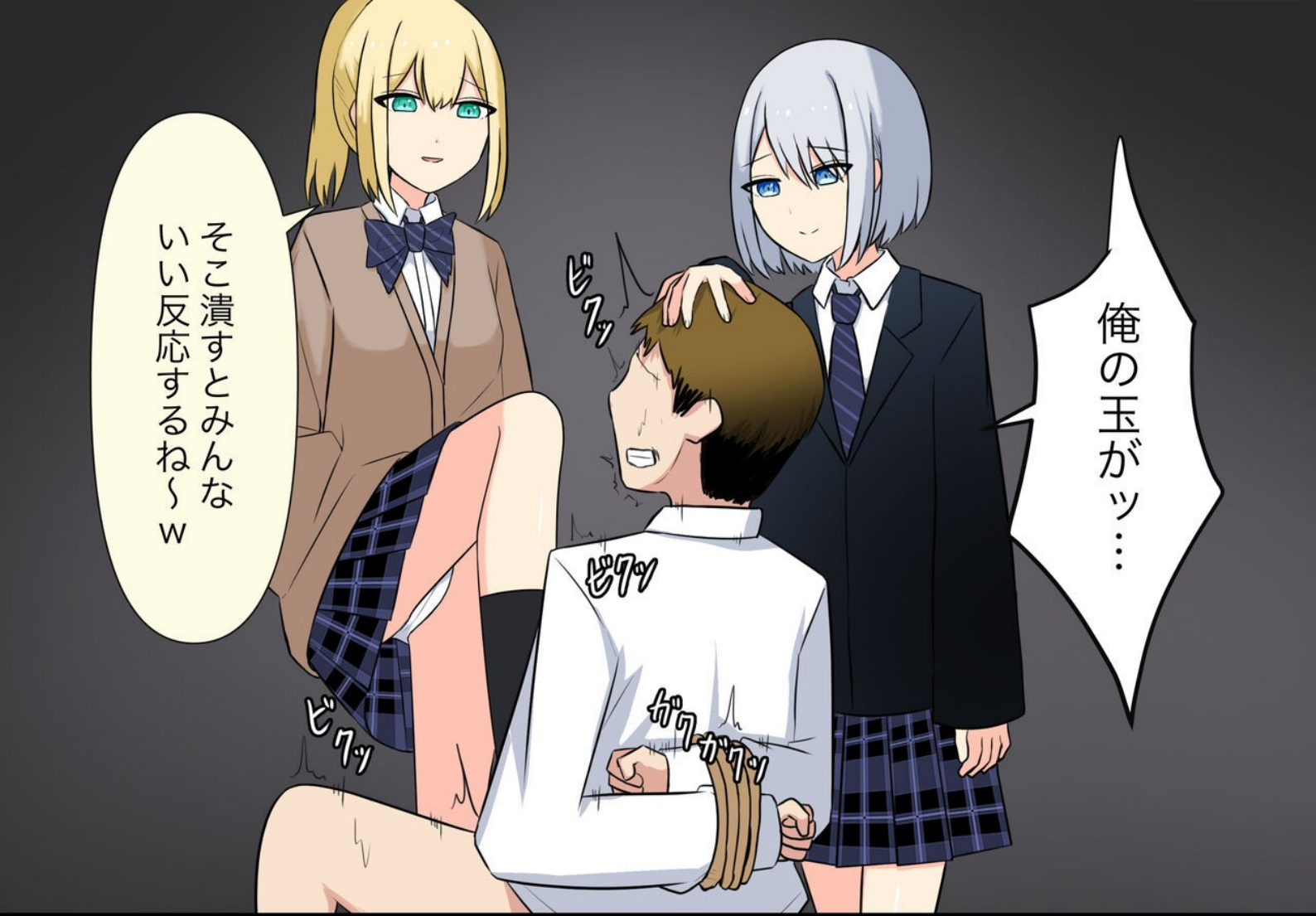
びびっ

つん

嘘つきには  
お仕置が必要だよねく  
にひひ…

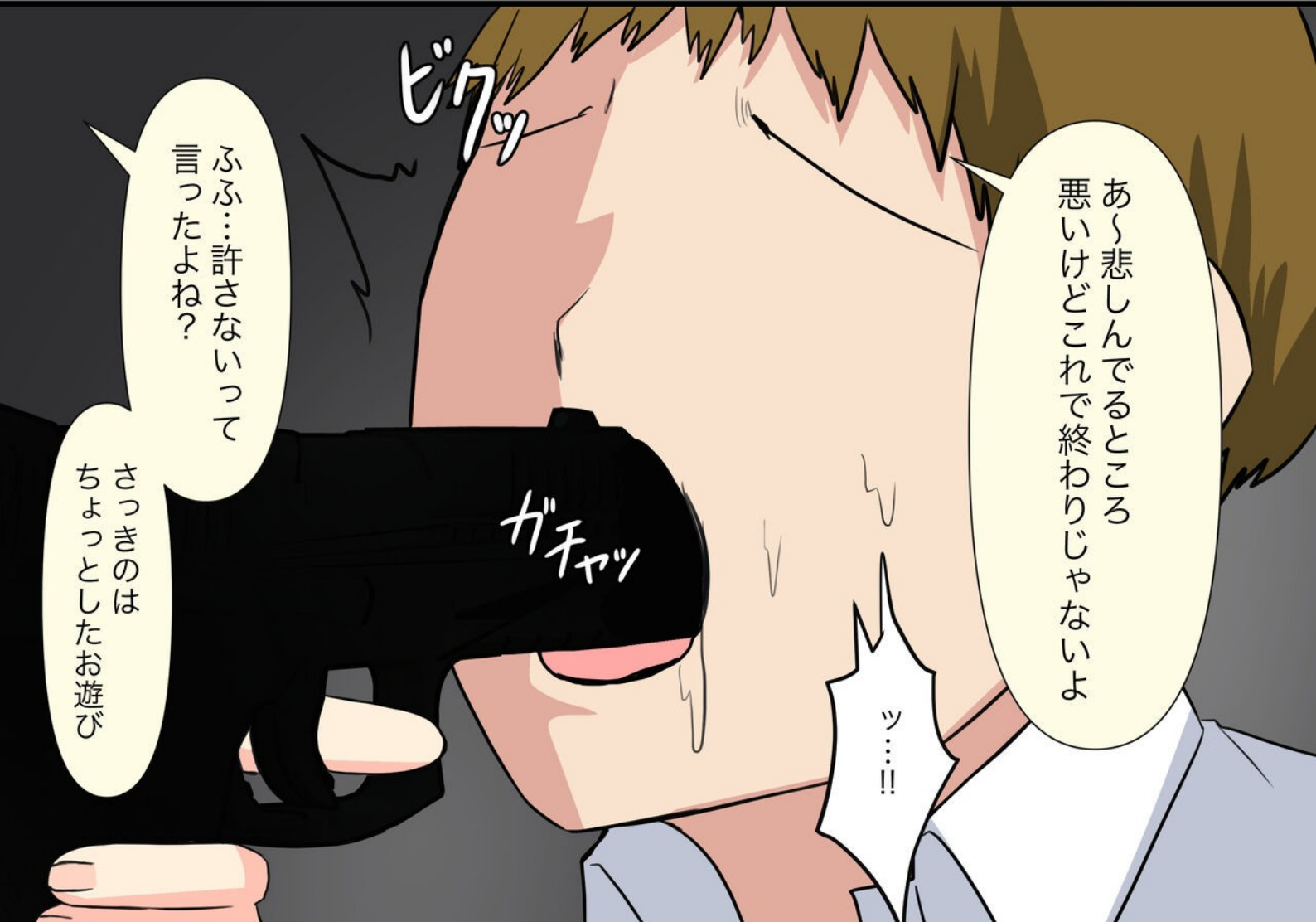
ごめんなさい…  
もう一度チャンスを…





俺の玉がッ…

そこ潰すとみんな  
いい反応するねw



あゝ悲しんでるところ  
悪いけどこれで終わりじゃないよ

ふふ：許さないって  
言ったよね？

さっきのは  
ちよっとしたお遊び

ッ…!!



グッバーイ



ついに完成しましたね

君たちのおかげだよ…  
ありがとう

いえいえ…  
感謝するのは私の方です

先生がいなければこんな  
素晴らしいものはできませんでした

そうそう…  
なんだかんだ言ってる  
先生は天才だからね



さあ…ついに起動だ

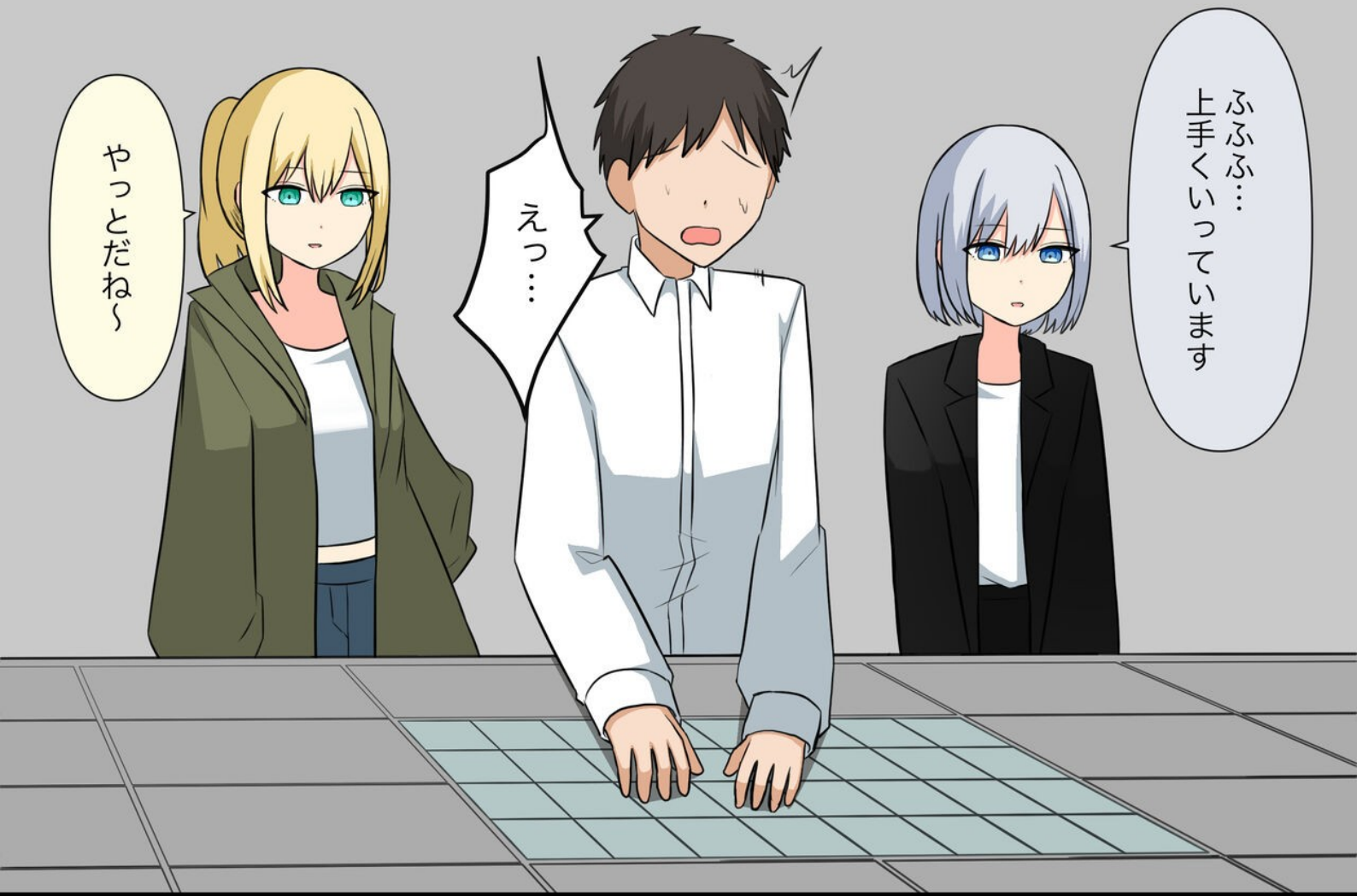


なんだと!?  
緊急停止だ

博士：エラーが発生しました  
出力が急上昇しています  
制御不能です

ダメです  
緊急停止コード  
受け付けません

おかしい  
そんなはずは



やっとだね〜

えっ…

ふふふ…  
上手くいっています



ツツ!?  
なんだあれはツ!?  
翼の生えた人!?

あっ…  
もう来たみたいですよ

いいえ…  
あれは私たちの仲間です

サラツ!!お前は  
いったい何を知ってる!?  
説明してくれ!!


先生もこれまで役に立ってくれたし  
最期くらいちゃんと説明してあげても  
いいんじゃない?

そうですか?  
もう死ぬのに教える必要も  
ないと思います

まあそんなに知りたいなら  
教えてあげましょうか

おっおい…  
いったい何を言ってるんだ…  
死ぬってどういう…

先生はもう  
用済みってことです




私たちの目的はこの扉を開いて  
仲間をこちらの世界に  
連れてくることなんです

ああ…ちなみに  
私たちは人間じゃありません




人間に分かりやすく言うと  
サキュバスあたりが近いでしょうか？



6年前に先生の実験によって  
一瞬だけ開いた次元の隙間  
そこからこの世界に来ることができました



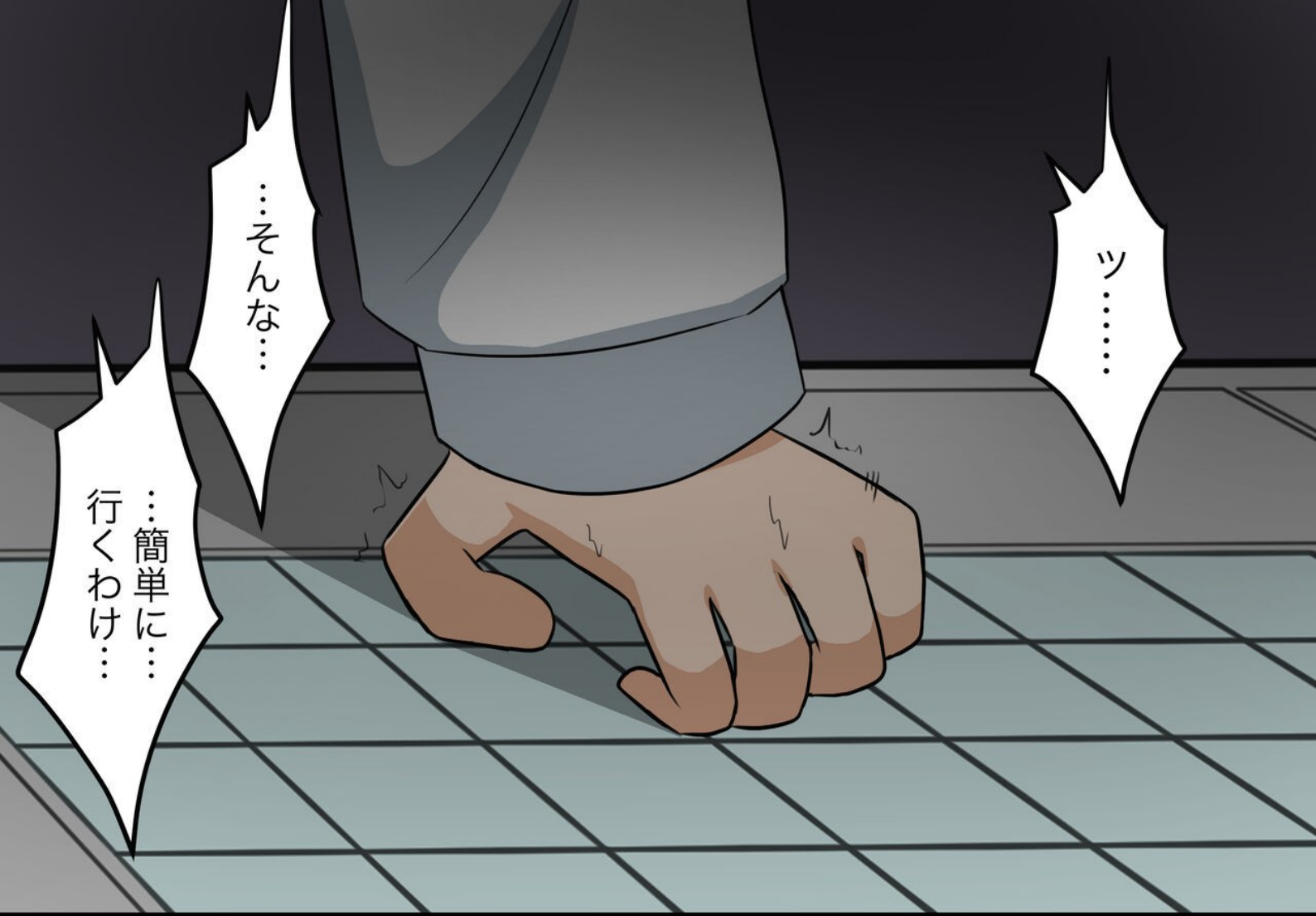
まあこうなるように  
誘導したんだけどね



そして今日私たちが元々いた  
世界との扉が完全に開いて  
めでたく仲間たちがやってきたってこと



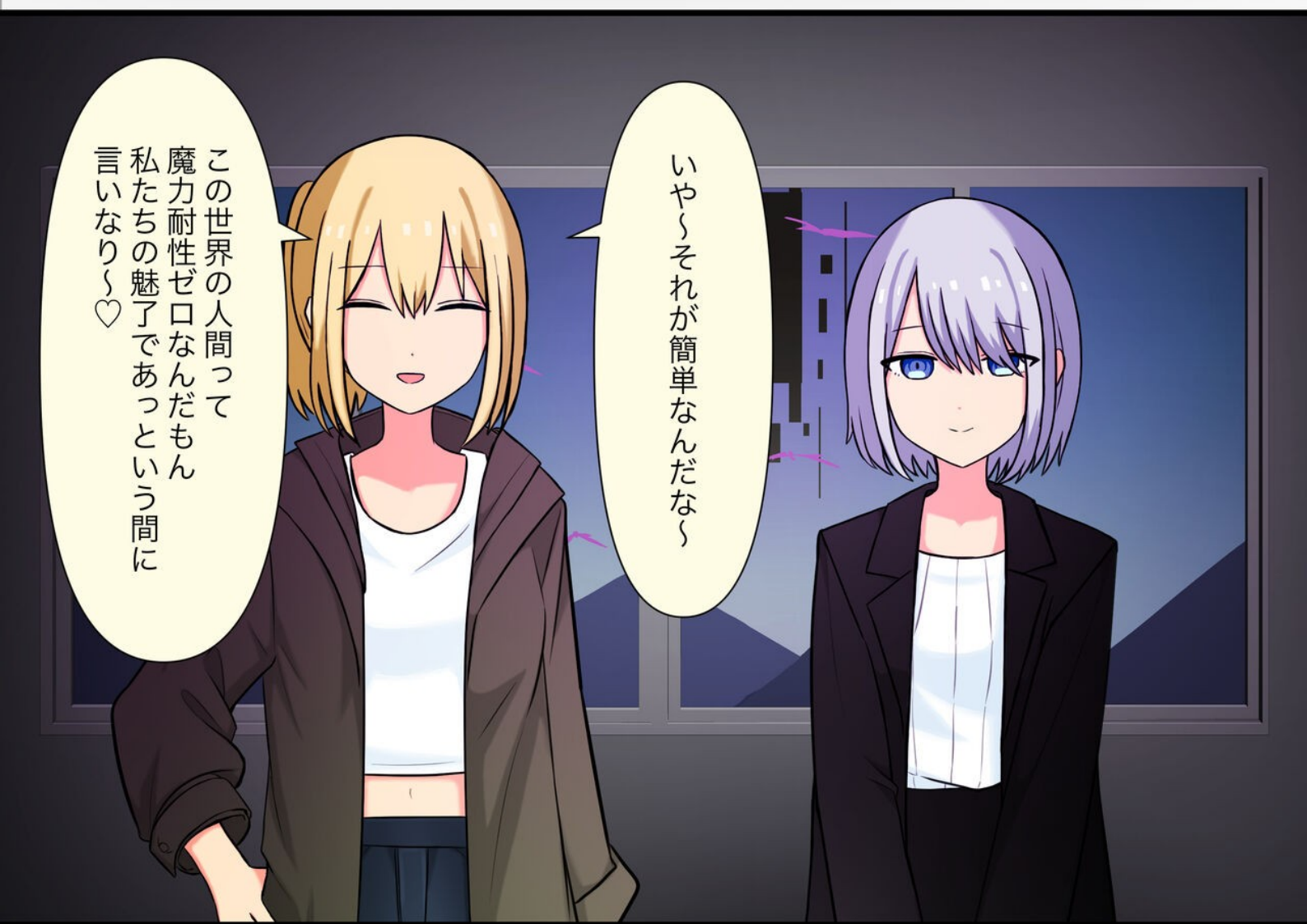
これから人間は私たちに支配されて  
奴隷として生きていくことになるんですよ



…そんな…

ツ…

…簡単に…  
行くわけ…




この世界の人間って  
魔力耐性ゼロなんだもん  
私たちの魅了であつという間に  
言いなり♡

いや〜それが簡単なんだな〜



魔力も全然扱えないみたいですし

ほんの少し魔力で  
身体強化しただけで大の大人が  
手も足も出ないのは笑いました



安心して…  
先生には感謝してるからさ…  
ここで幸せに殺してあげる

とにかく先生の  
おかげですべて  
うまくいったよ



怯えちゃってかわいいですね  
死ぬのが怖いんですか？

そうですね…  
死ぬのは痛くて  
苦しくてつらいですよ

でも大丈夫です



ほら私の眼を見て…

痛い事はとても  
気持ちがいいんです  
苦しいことは幸せなんです

アリス



おっけー

ビクッ

かしっ

ツツ!?

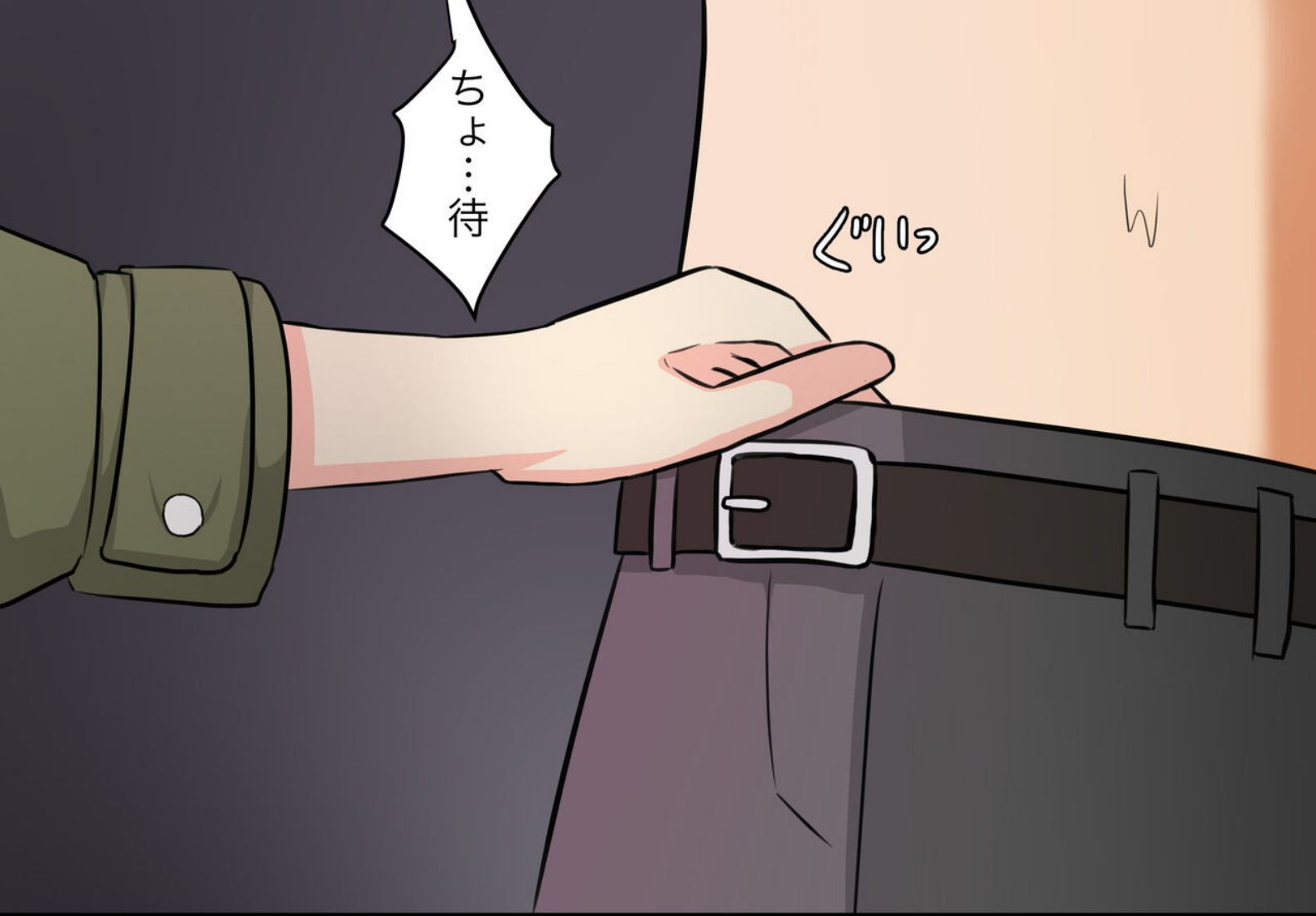


ビクッ

ビクッ

ビクッ  
ビクッ

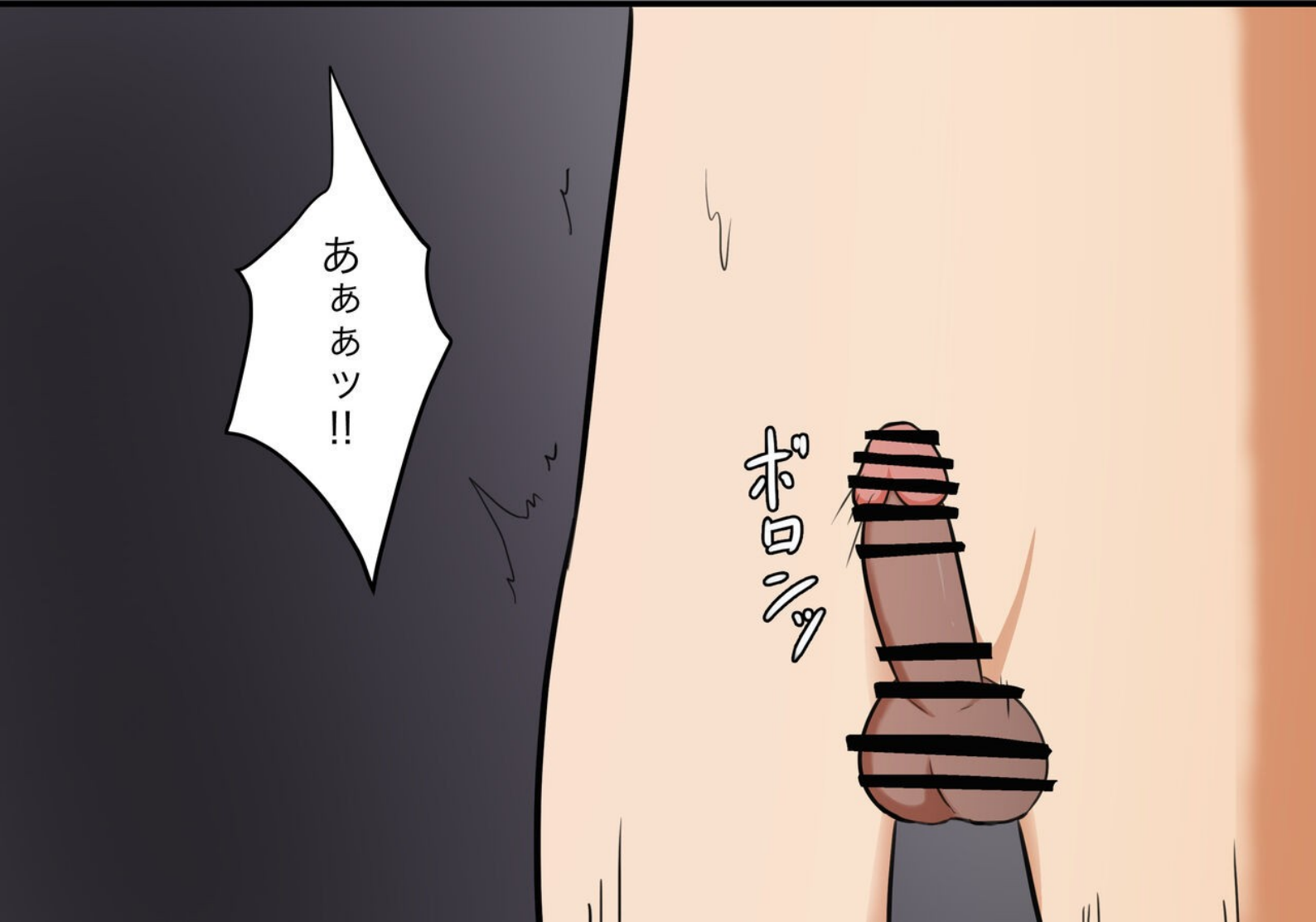
.....ツ!!



ちよ…待

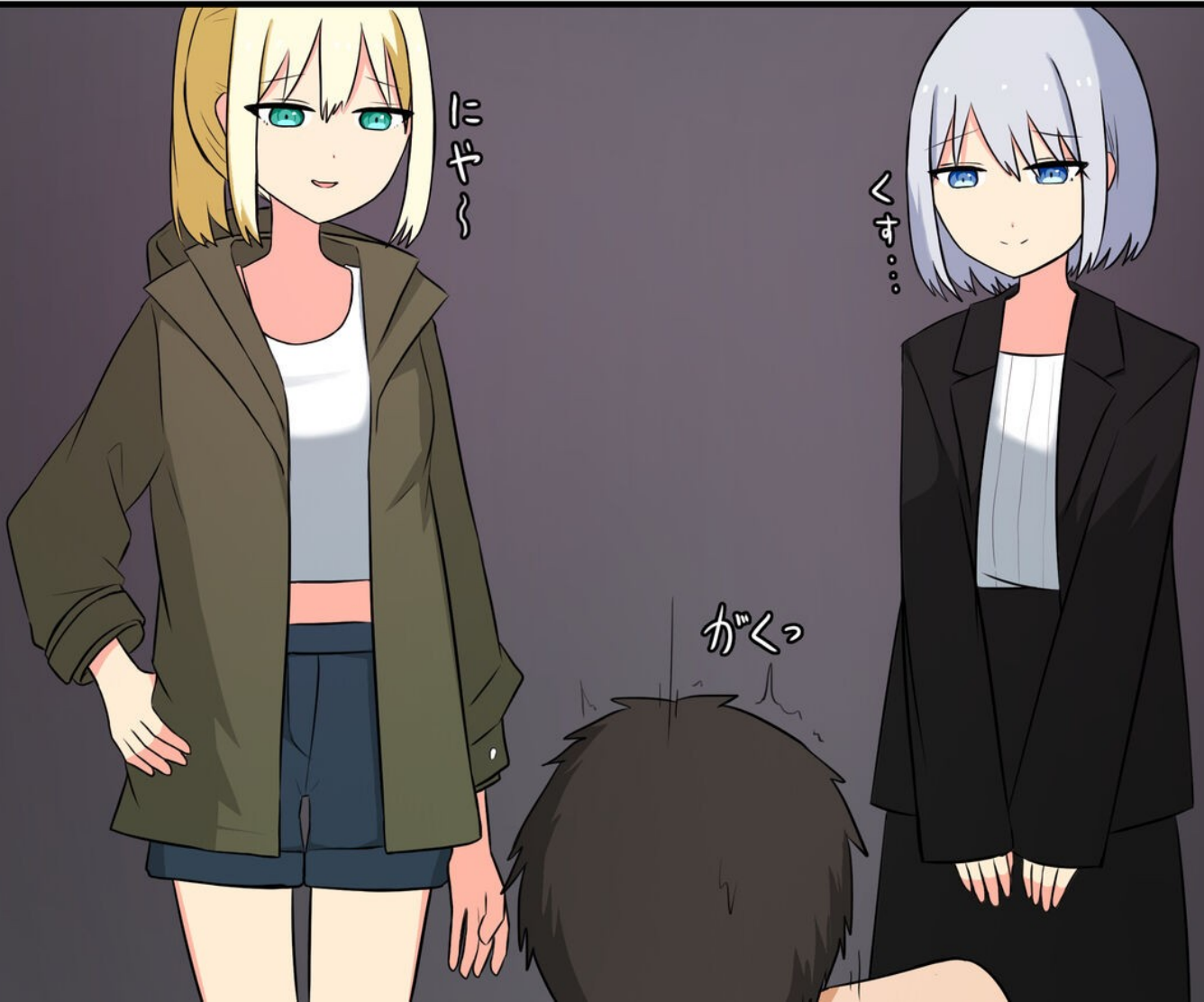
くわい

w



あああツ!!

お口





あ…ッ

あう…

えッ…



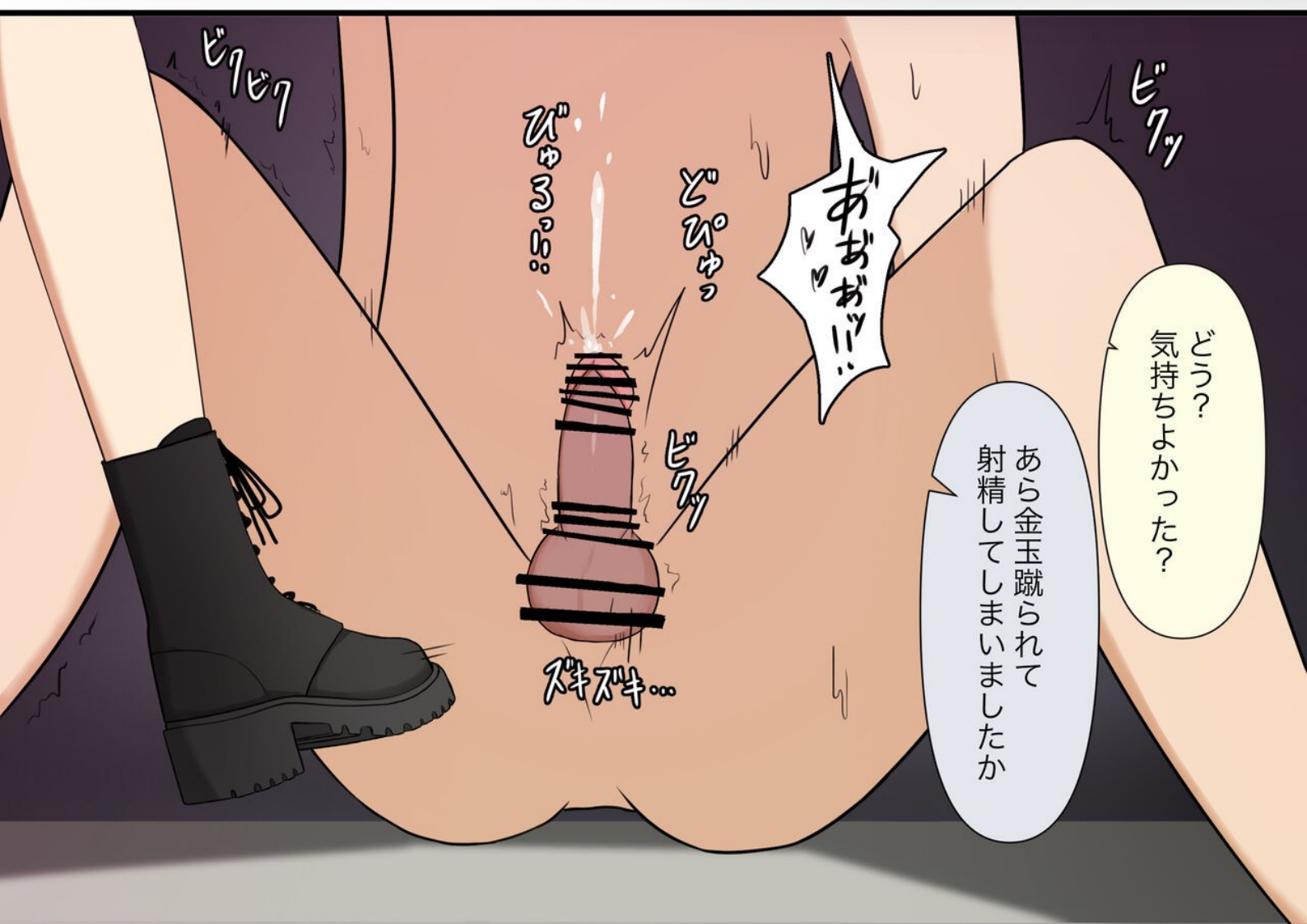
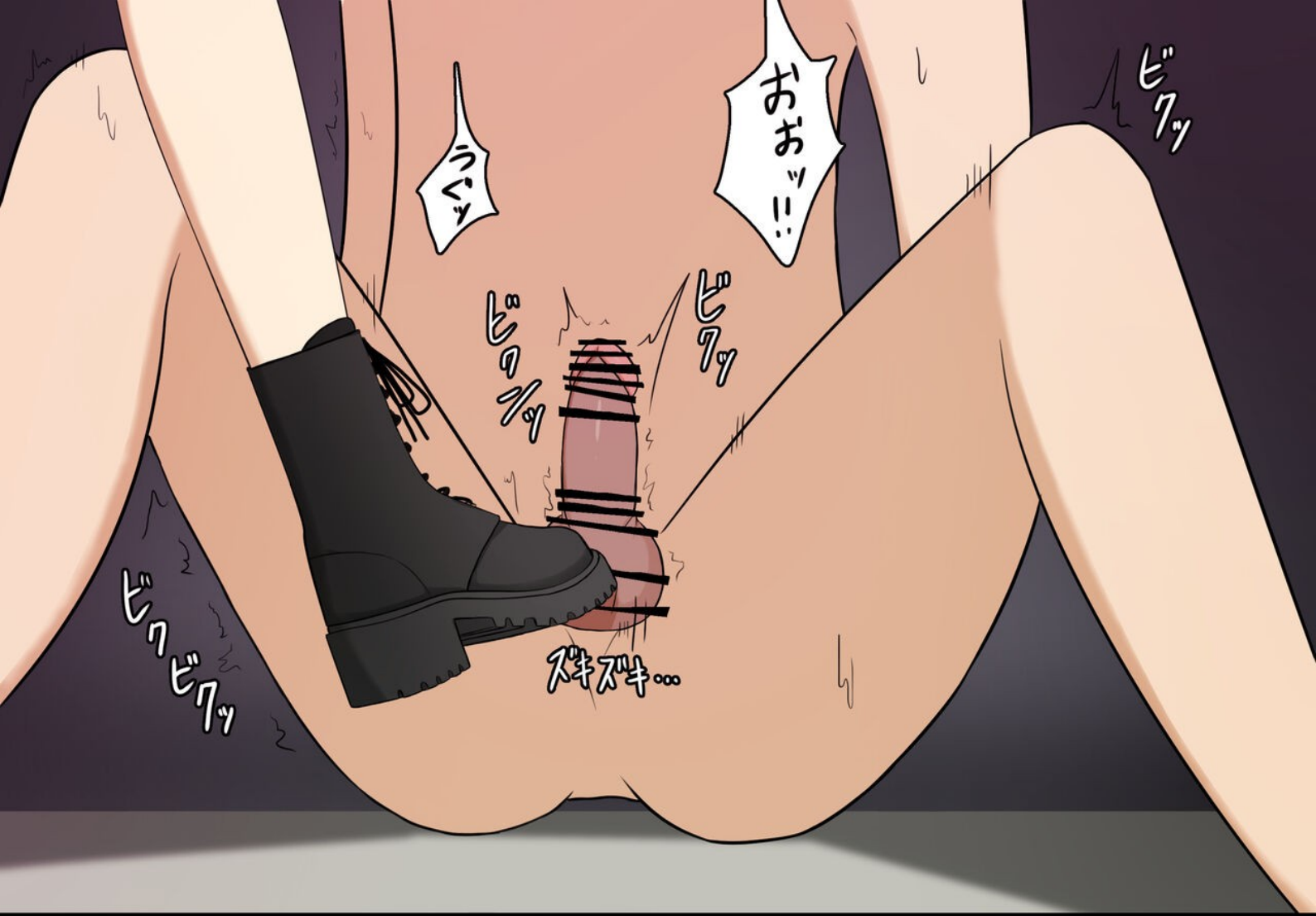
ああああッッ!!

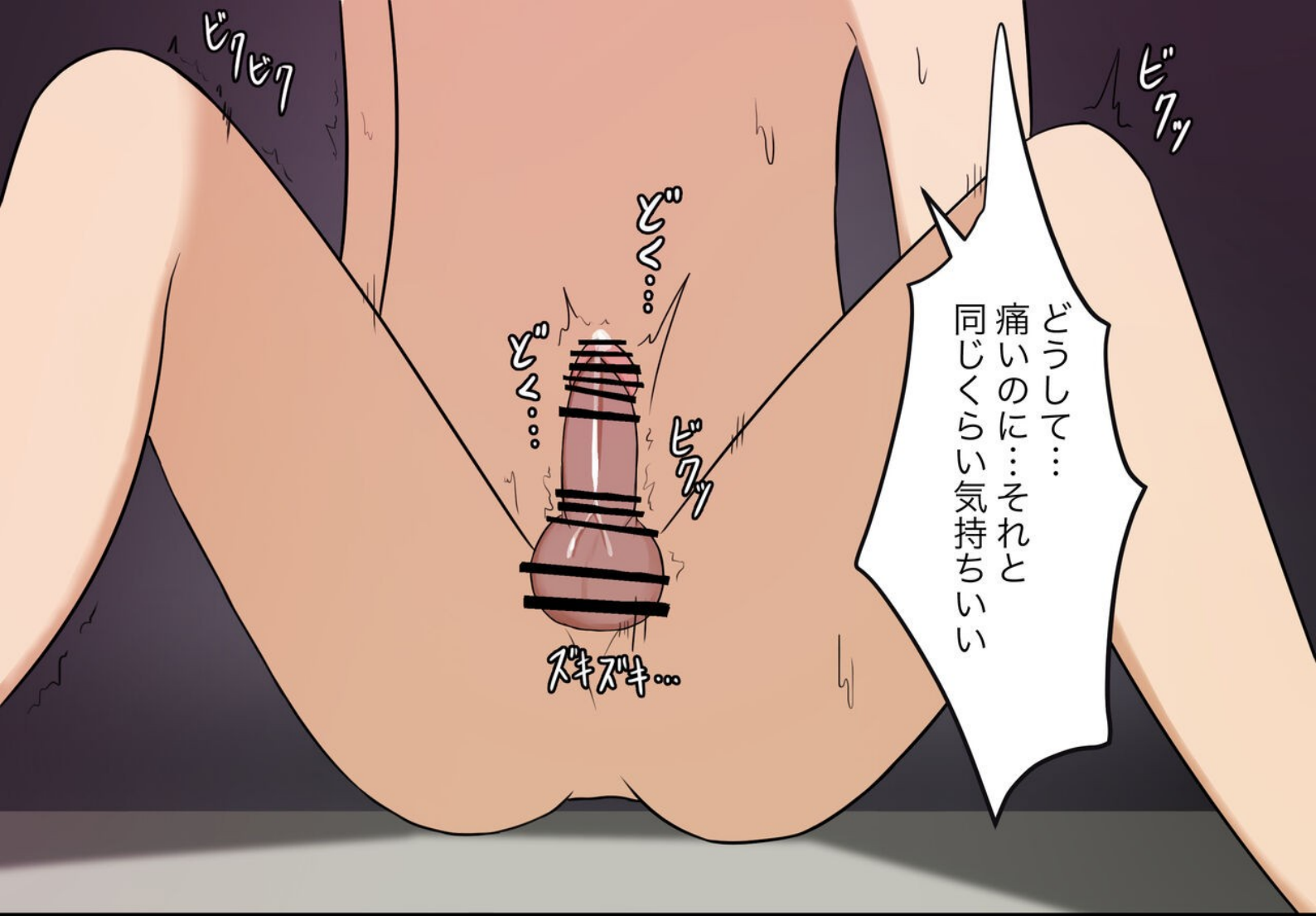
パチンッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ





どうして...  
痛いのに...それと  
同じくらい気持ちいい



暗示がだいぶ  
効いてるみたいw

俺の体は  
どうなってるんだ...

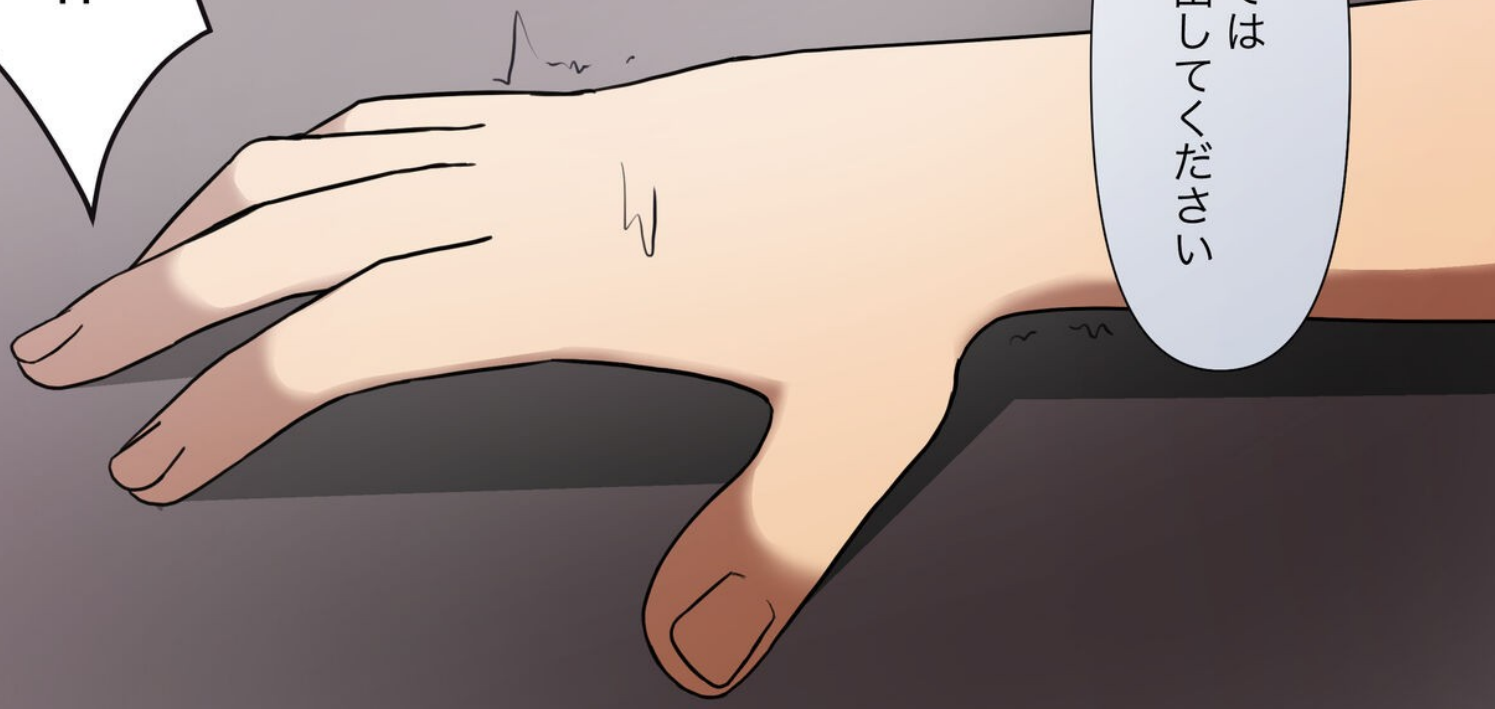
ふふふ...痛いのは気持ちいいって  
私がそういったじゃないですか  
私の言うことは絶対なんです

私の言うことは正しい  
私の言うことには逆らえない  
分かりましたか

...あら...

…手!?

それでは  
手を出してください



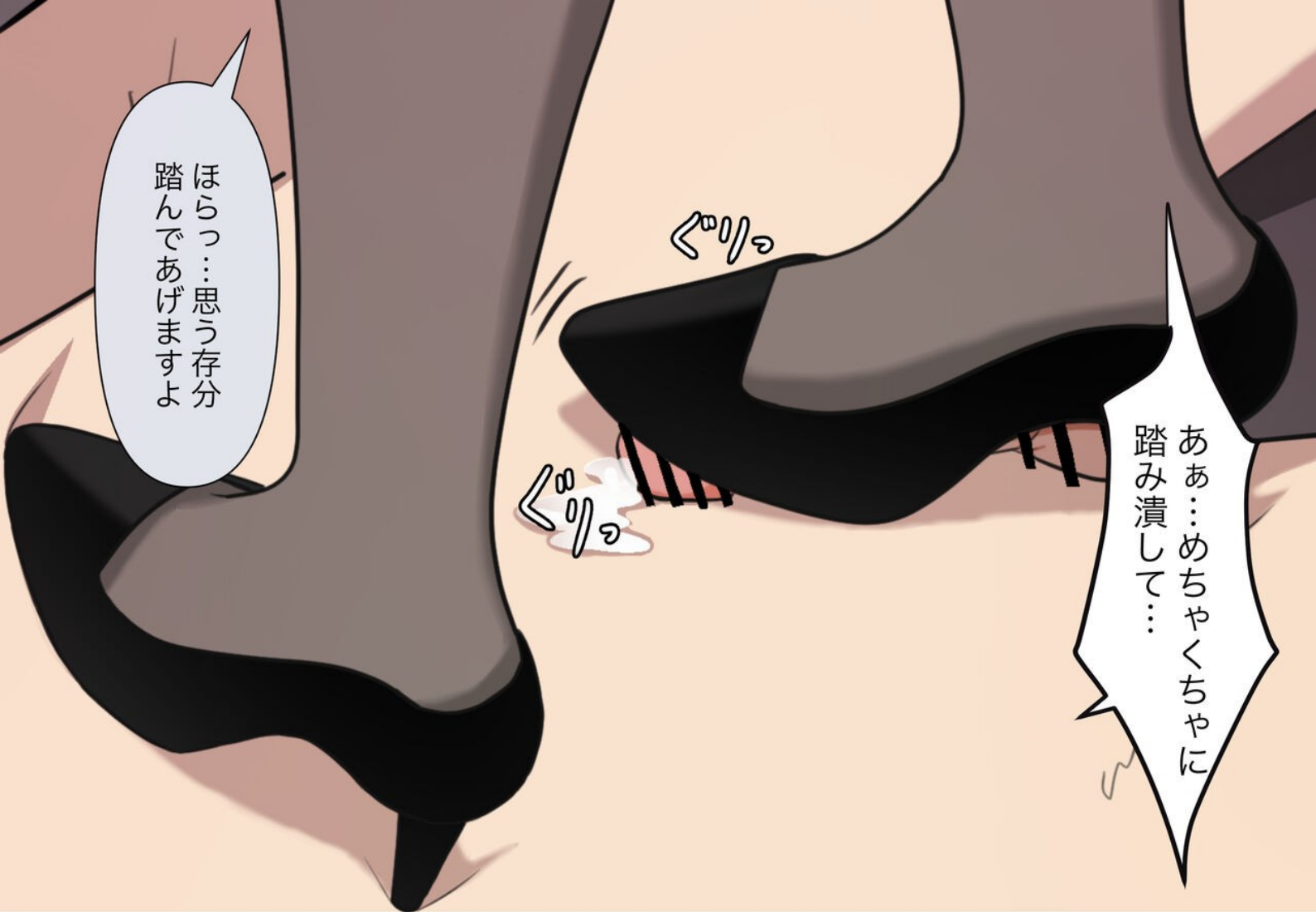
まあ…焦らないでください  
ちゃんと踏み潰して殺してあげますから

ああッ…嬉しいです  
もっと踏んでください…



嬉しいですよね?

ぎゃああああッ!!



ほらっ…思う存分  
踏んであげますよ

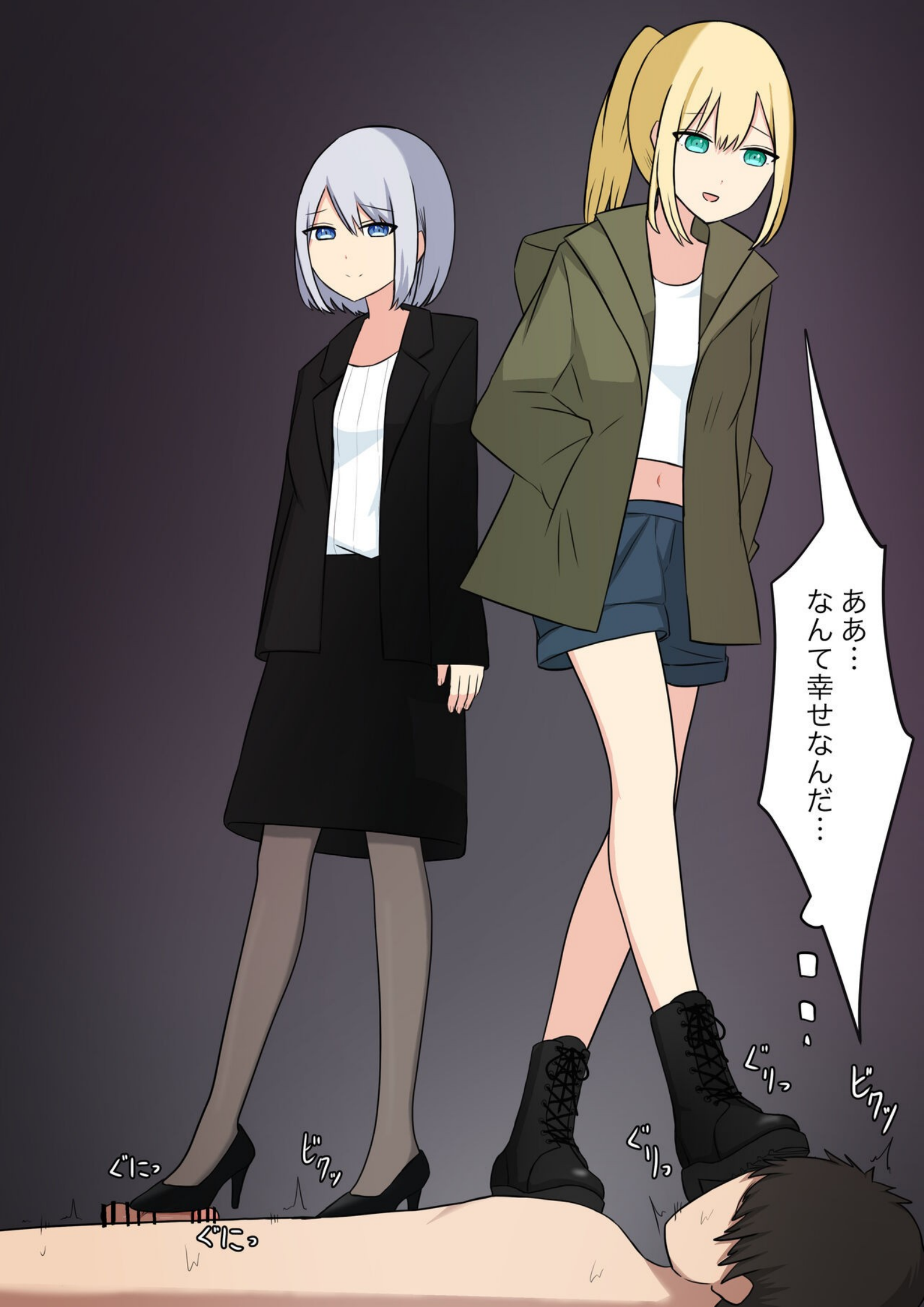
ああ…めちやくちやに  
踏み潰して…



はあはあ…

しっかり私たちの  
重みを感じな？幸せでしょ？

ピクッ



ああ...  
なんて幸せなんだ...

ぐにっ

びんっ

ぐにっ

ぐにっ

びんっ

びんっ



きつてもい顔

こうやって顔面踏み潰してあげるよっ!

ぐんぐん!!

ピクッ

ピクッピクッ

ピクッ

ふみッ



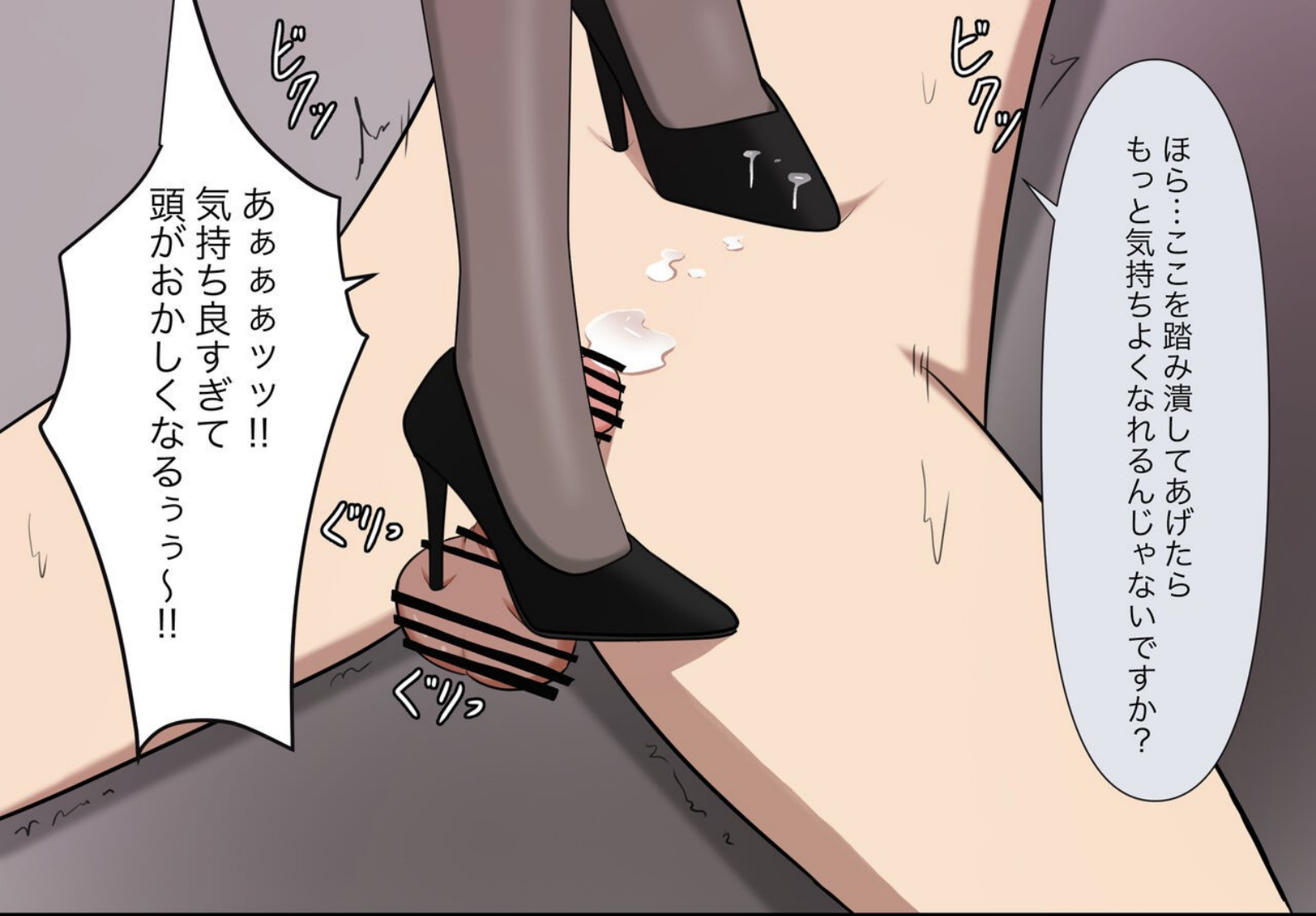
あはははっ  
なくに顔踏まれて  
イってんだよ! 変態!

おお!!

ドスッ

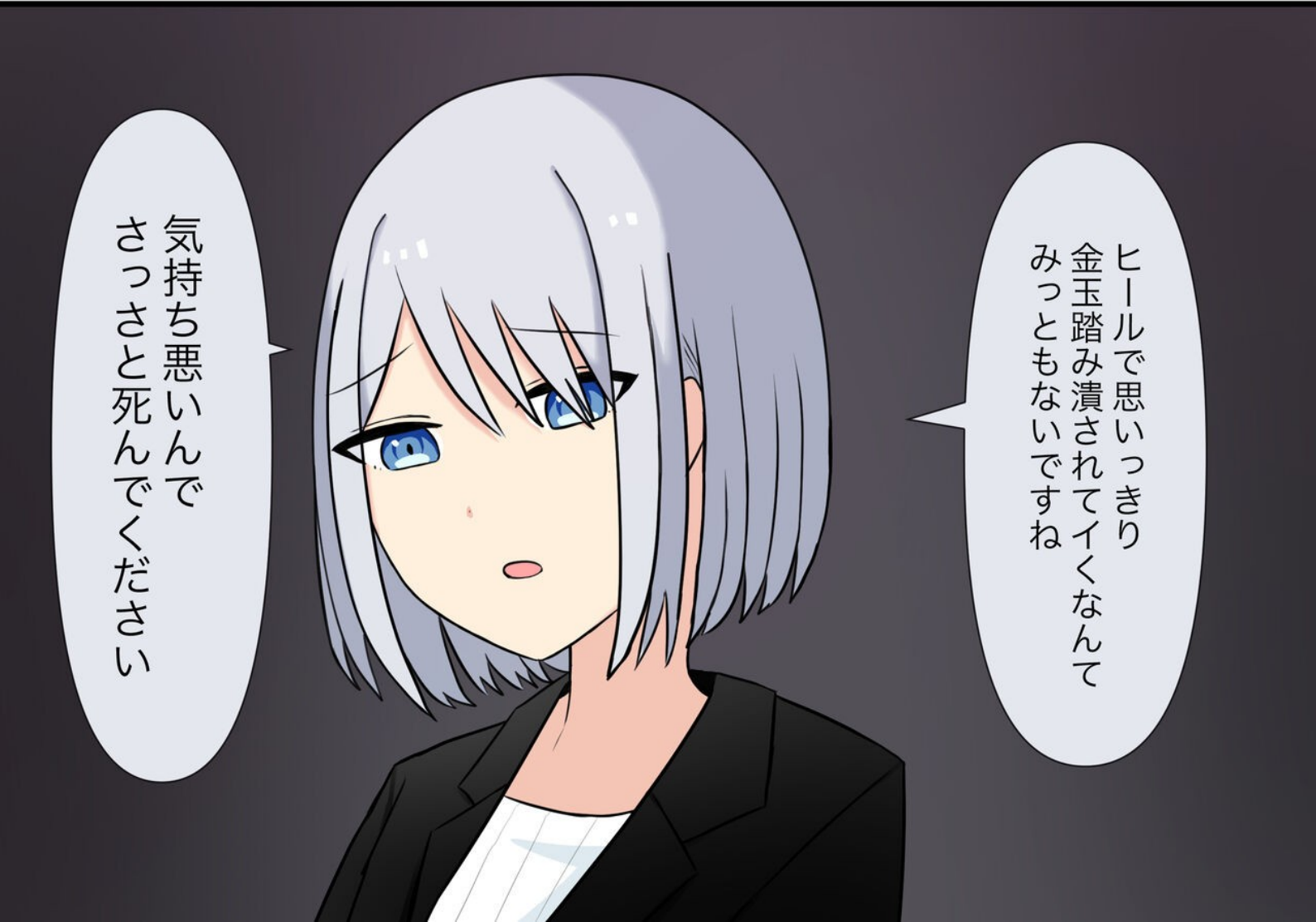
うぐッ!!

ドスッ



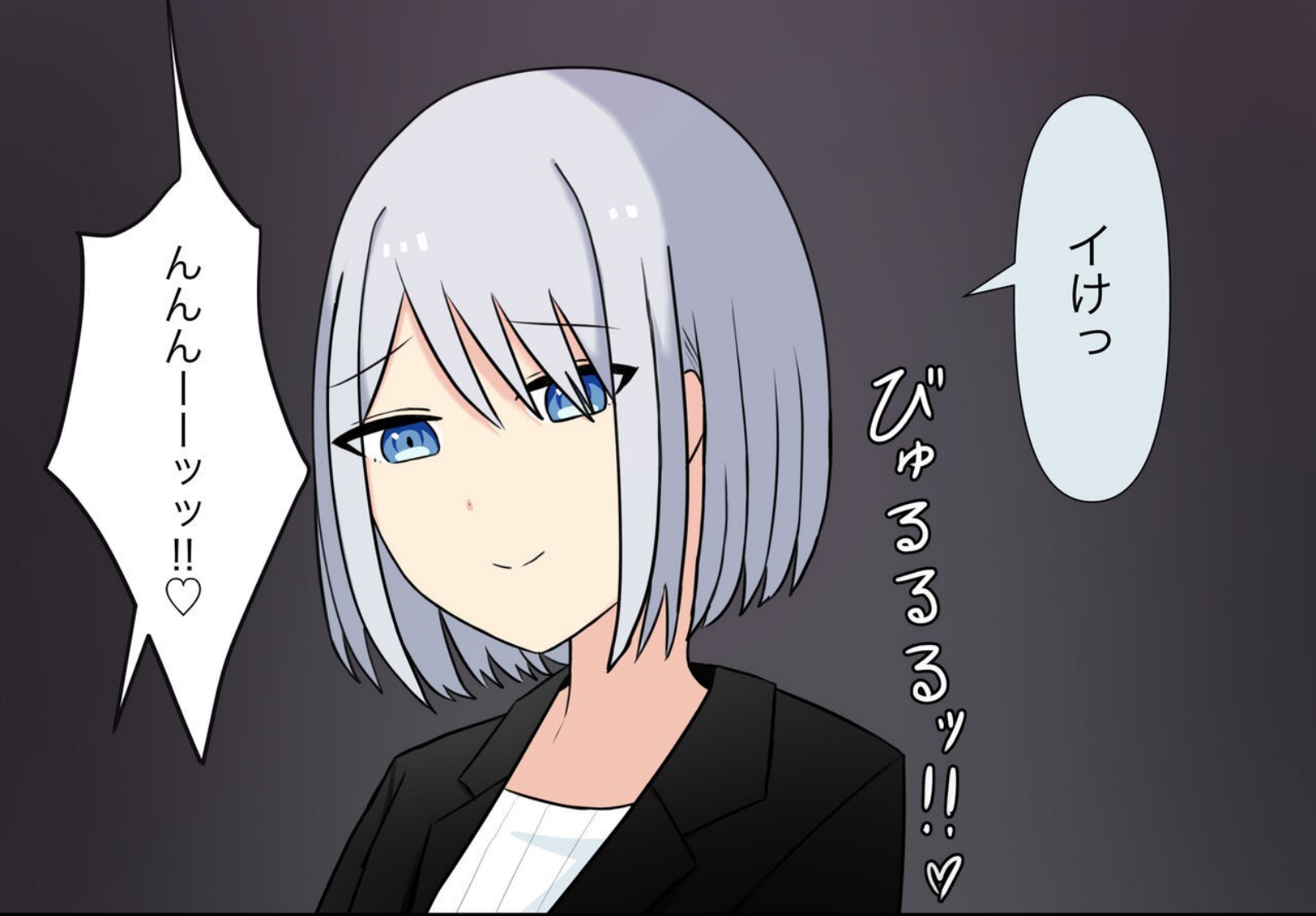
ほら…ここを踏み潰してあげたら  
もっと気持ちよくなれるんじゃないですか？

あああツツ!!  
気持ち良すぎて  
頭がおかしくなるぅ!!



ヒールで思いっきり  
金玉踏み潰されてイなくなんて  
みっともないですね

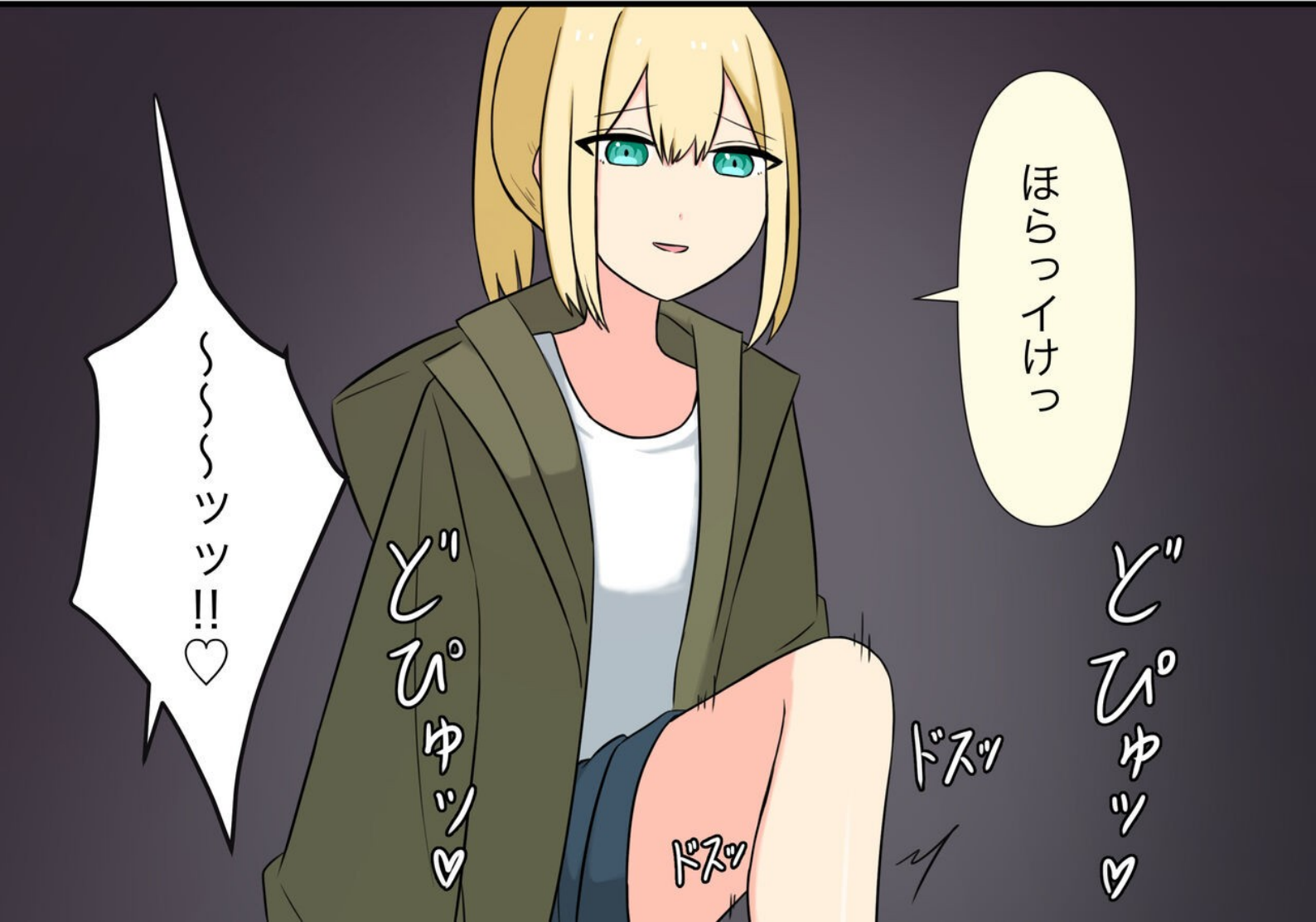
気持ち悪いんで  
さっさと死んでください



んんんーッッ!!♡

イけっ

びゅるるるッ!!♡



~~~~ッッ!!♡

ほらっイけっ

ど"ぴゅッ♡

ど"ぴゅッ♡

ドスッ

ドスッ



くすっ...

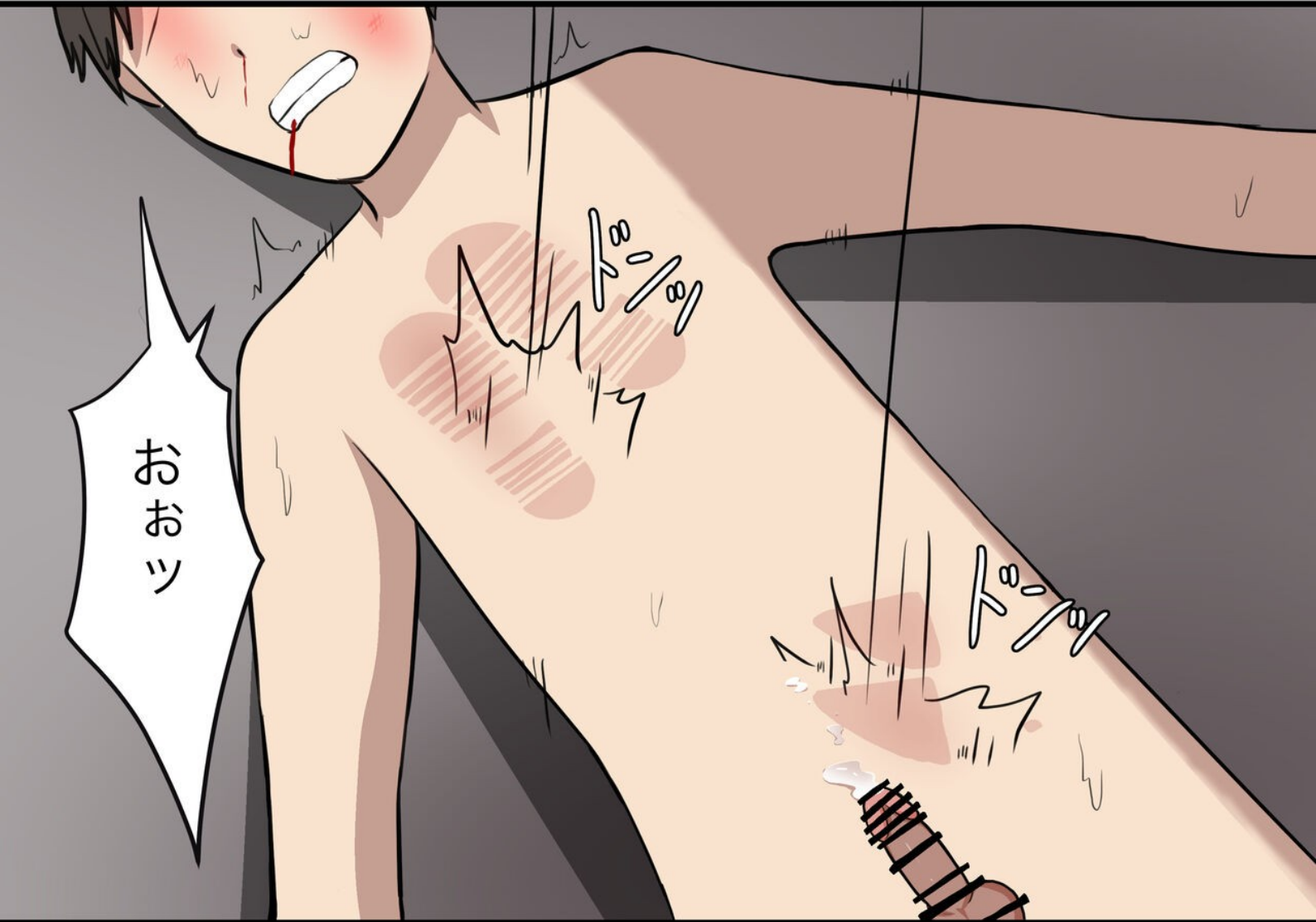
にげっ

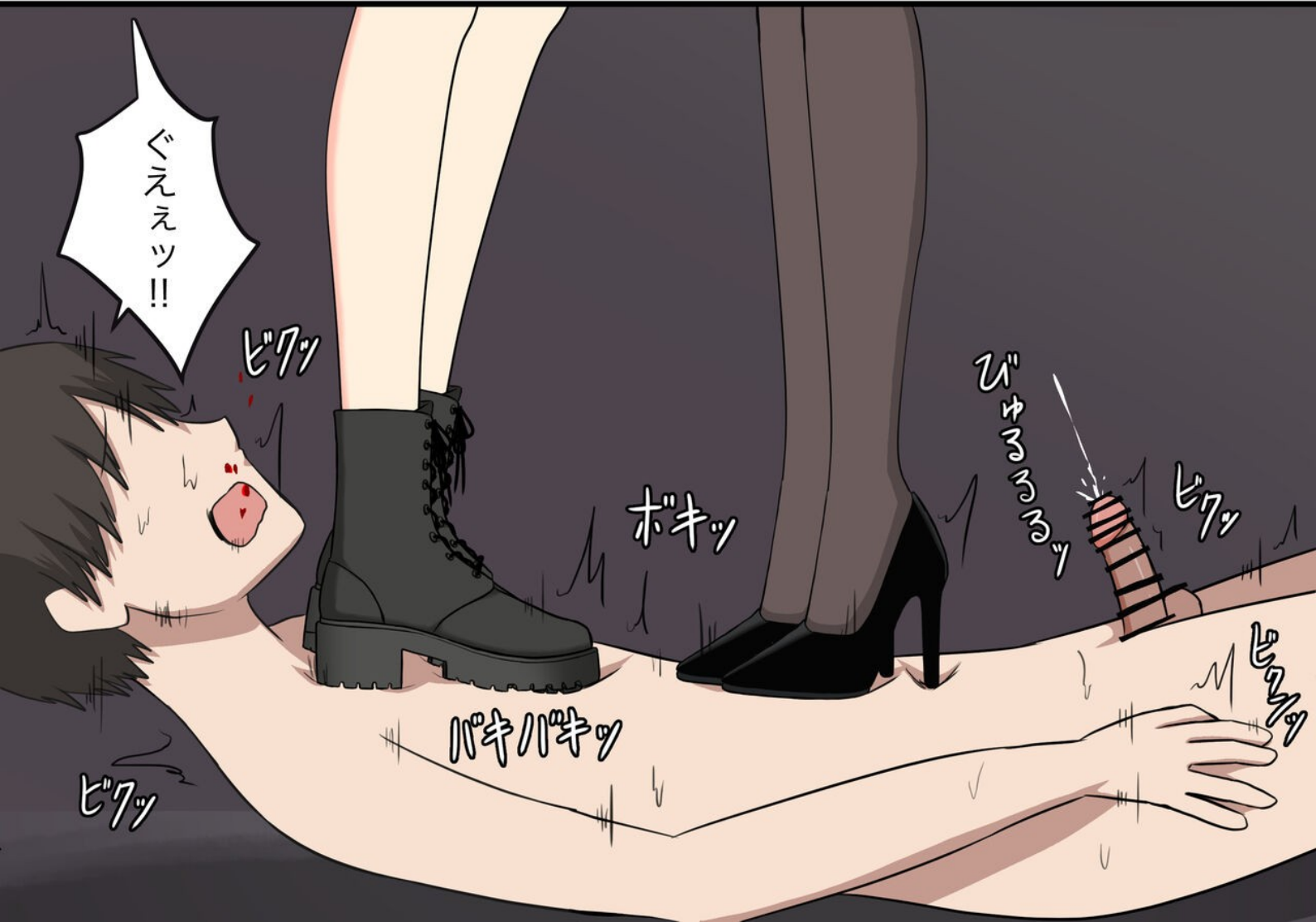
びゅっ

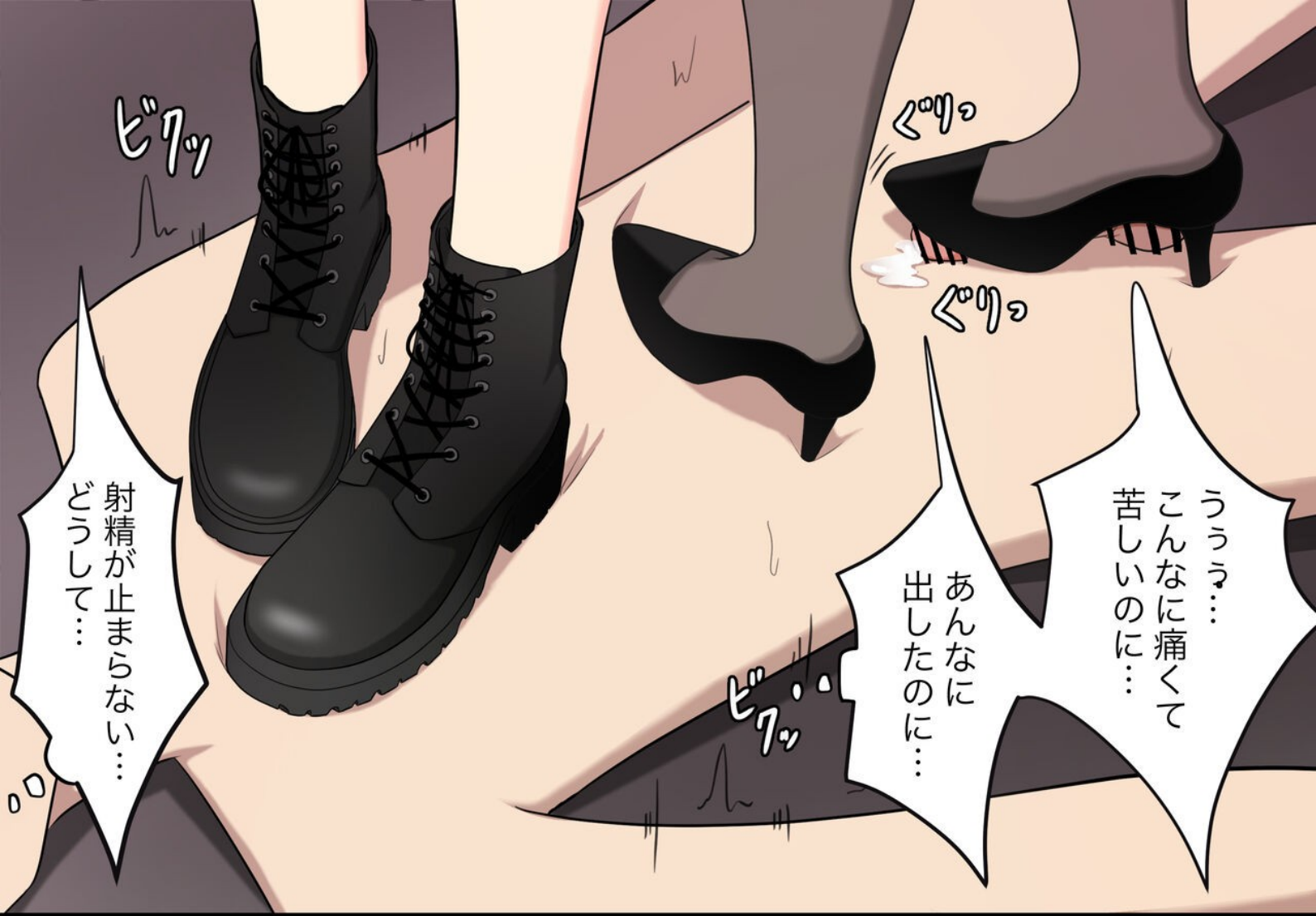
びゅるるる

びゅっ

びゅっ









私たちの能力ってやつでさ  
射精と一緒に生命力も排出させるの

そしてそれが私たちに  
吸収されて栄養になるってわけ



ふふ…死ぬまでたっぷり  
搾り取ってあげるからね

はぁッ

なで

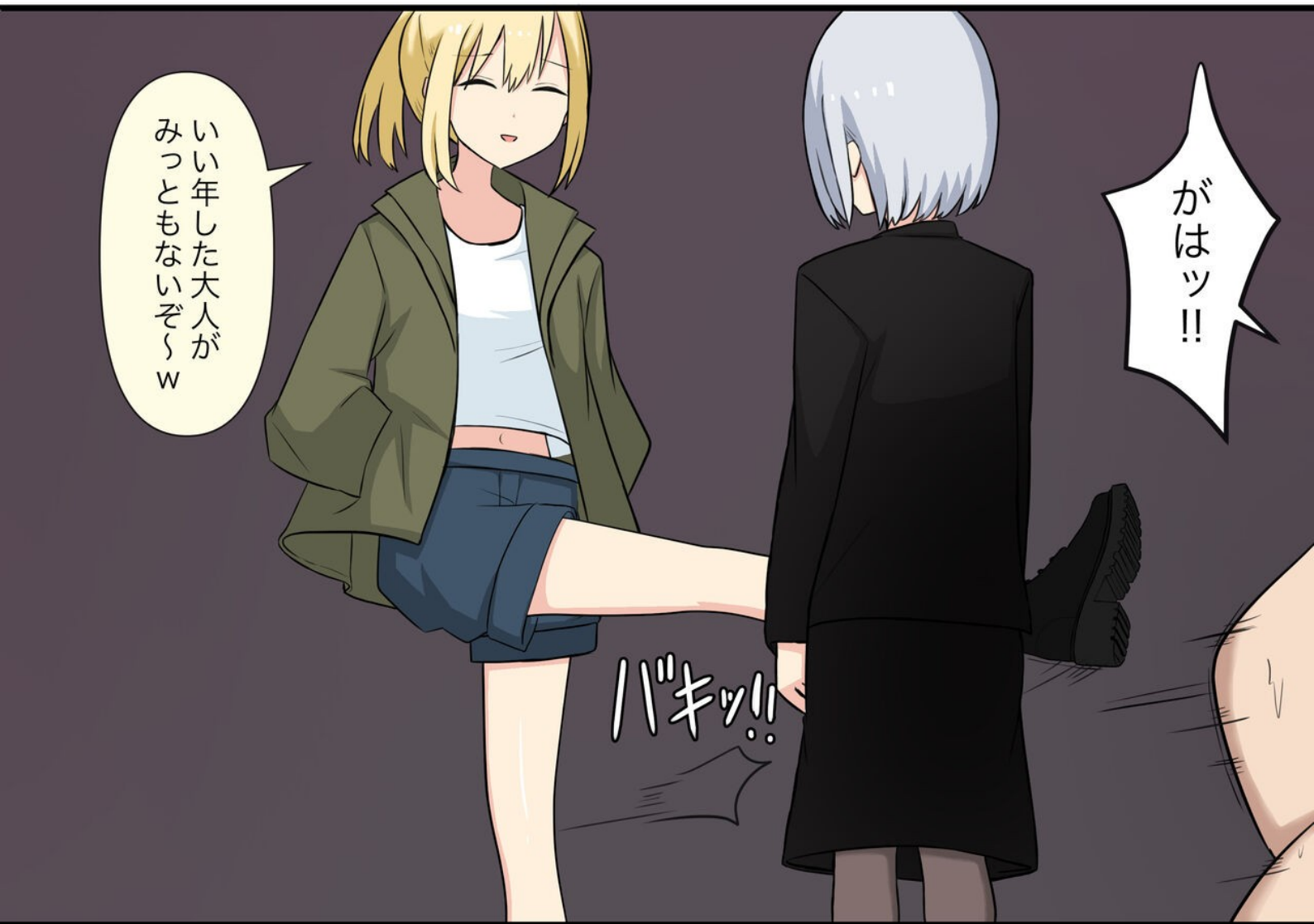
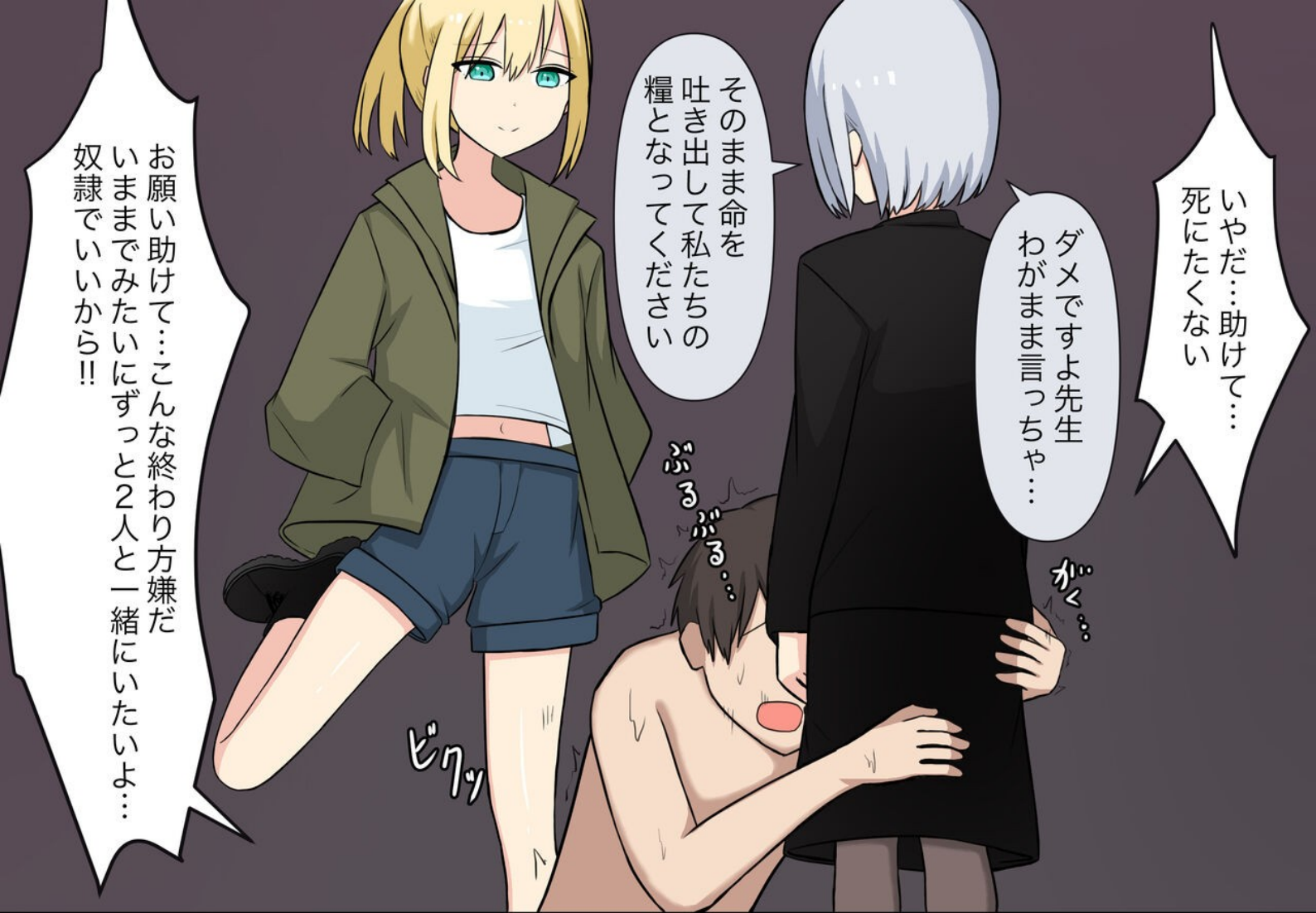
ビクッ

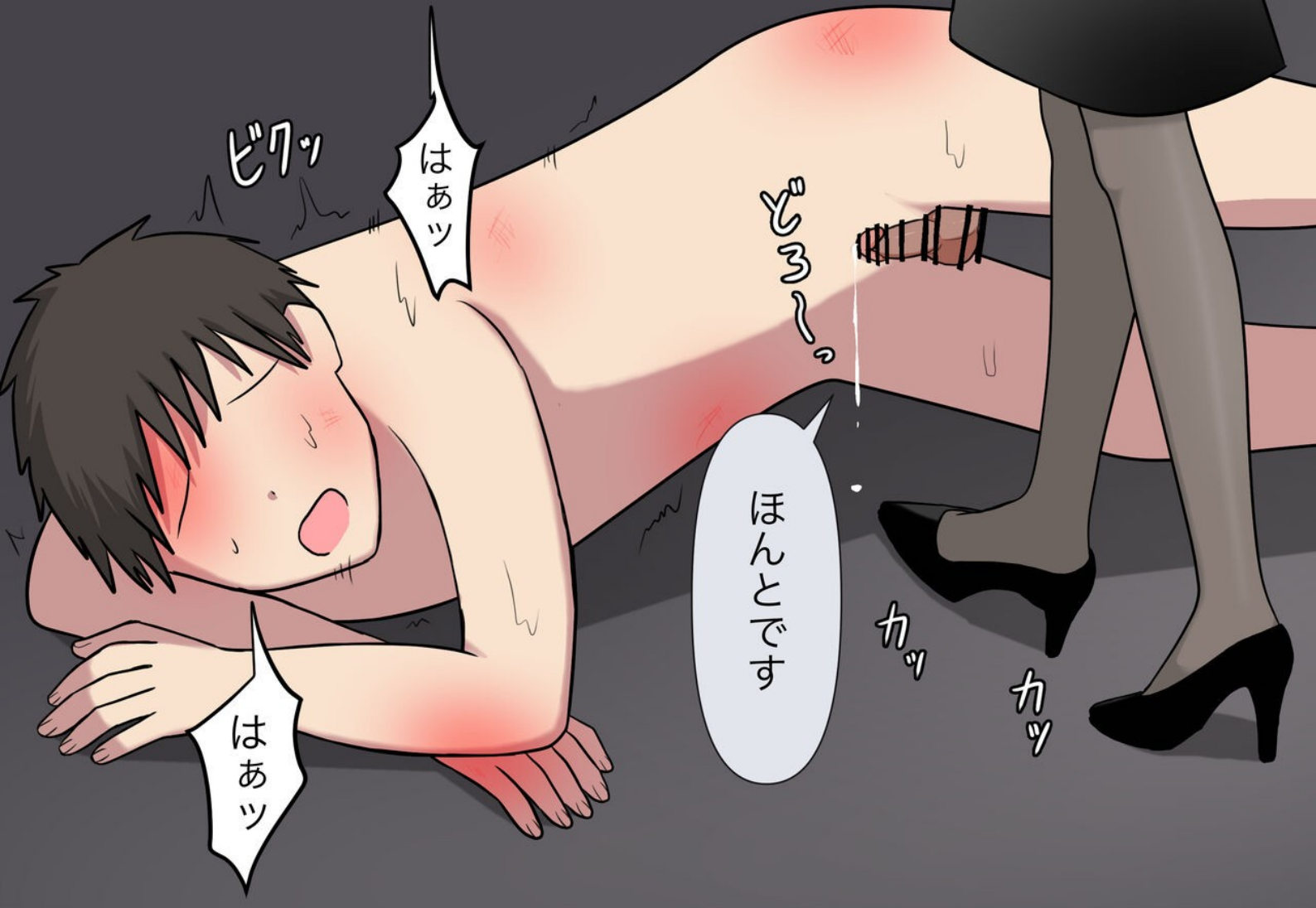
なで

はぁッ

ぁッ

ビクッ





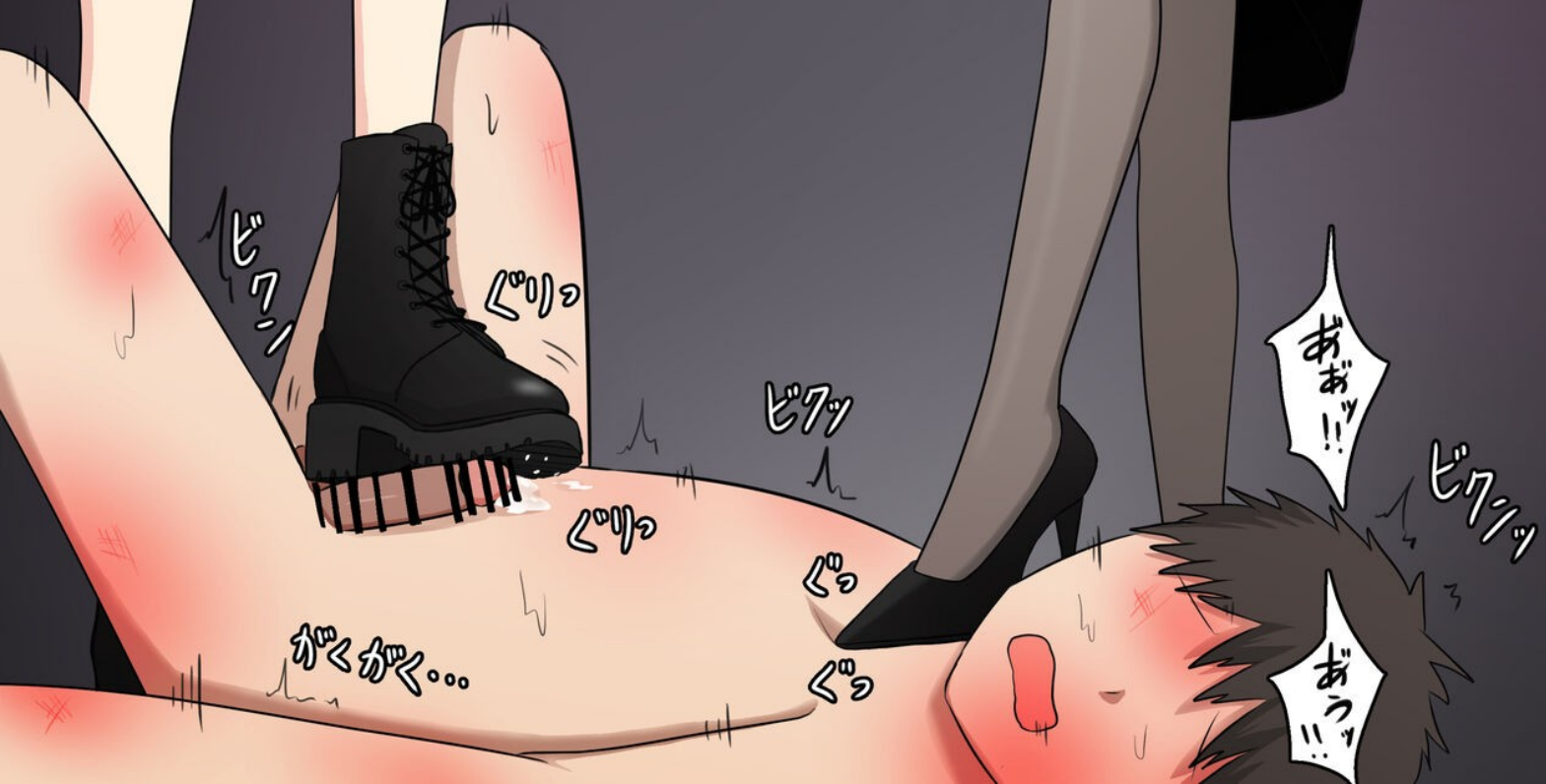


そうですか…先生は  
私に踏まれるのが大好きでしたね



はあ…仕方ないですね…  
何でもいいんですよね？

うん…何でもいい  
何でもする





ほんと…サラは先生に甘いんだから

少しばかり先生のために能力を使っ  
てあげましょうか…

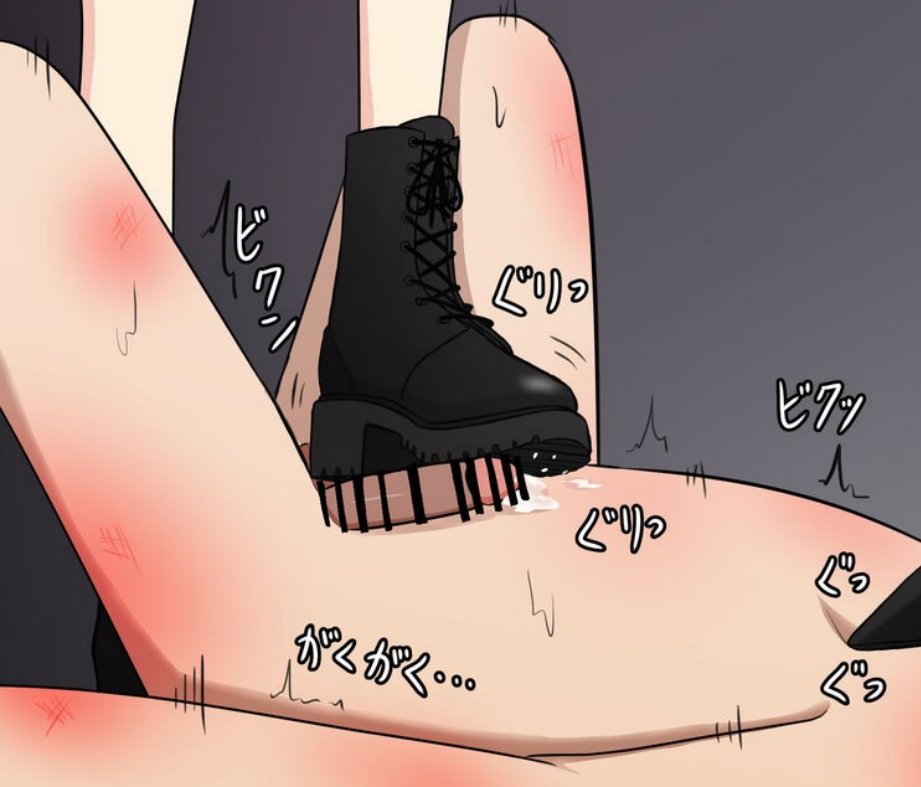
ふくん…分かりました  
魔力も回復したことですし



はいッ…サラ様に踏まれるのが大好きです…好きなだけ踏んでください

おおッ!!

おおッ!!

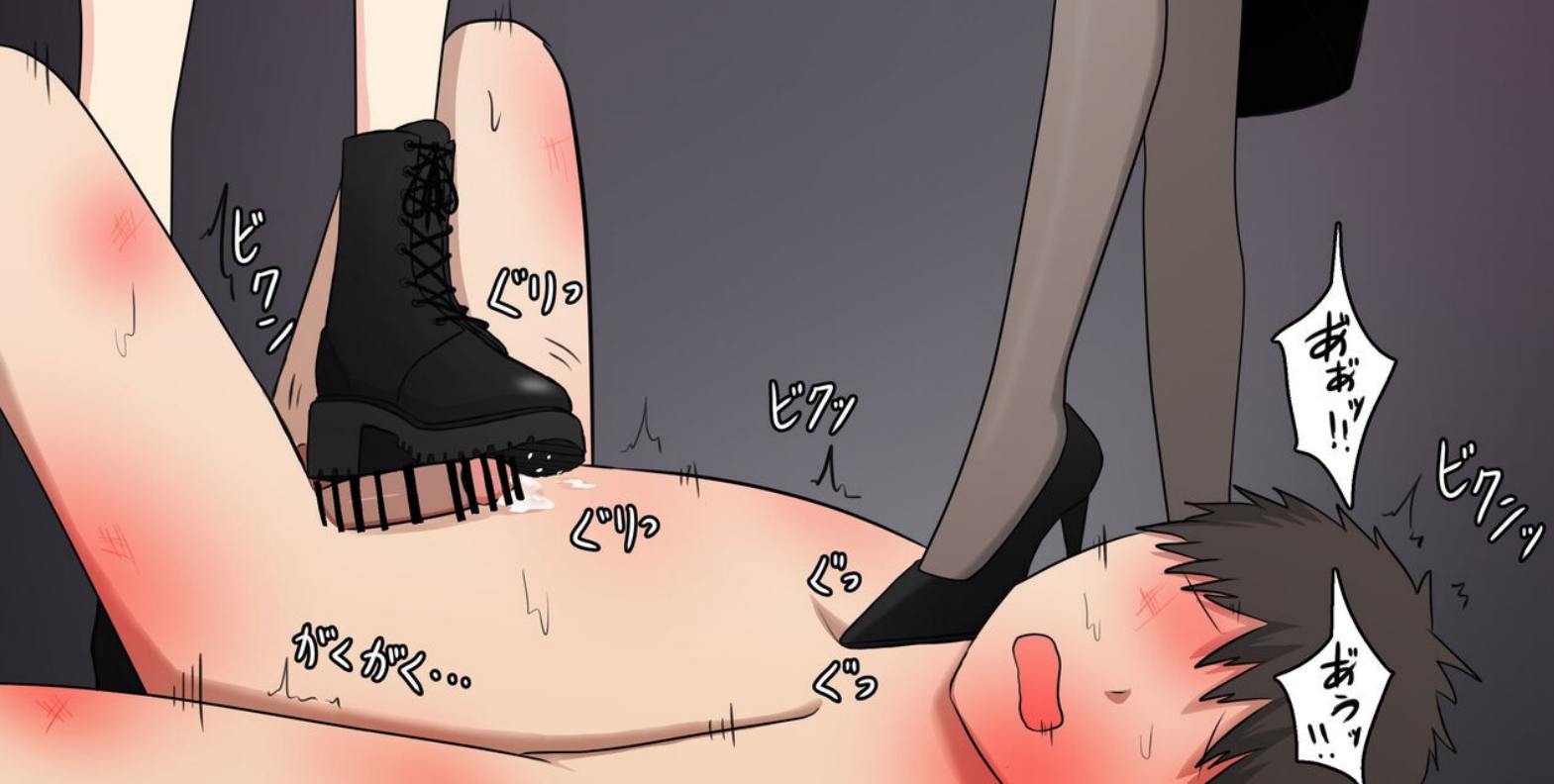


がくがく…





○⇄Γ○γσ△βE.....  
 ※M⇄:.....~fO~.....  
 ↓Sσ || ~\*~H~.....



びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

びびり

がくがく...

おび!!

びびり

おび!!

いったい何を…なんだこれは…  
ここはどこ…

視界がぼやけて…  
サラが大きい

やっぱり魔法の才能も  
衰えてないね…さっすが！

これはいいたい…

魔力さえあればこれくらい  
どうってことないですよ

ツ!?

ああ…自分では見れませんか

今先生は靴になってるんです

生き物を魂ごとモノに  
加工する魔術です

本来は優秀な戦士を魂の宿った  
強力な武器に加工するものですが

踏まれるのが好きな先生には  
靴がお似合いじゃないですか？



嗅覚や痛覚も  
すっかり残してありますし

すべての感覚器官を靴の内側の  
中敷き部分に集中させてあります

つまり私に踏まれる感触も  
痛みも匂いもこれからずっと  
味わえるんですよ…よかったですね





そんな…  
こんなつもりじゃ

なんですか、  
せっかく殺さず  
にいてあげたのに  
ほんとわがままですね

する…


びびッ



何でもいって  
言ったじゃないですか？

これから靴として  
私のことを一生  
支えてくださいね…元先生


ぐにっ…



暗い…  
何も見えない…

重いッ…  
痛いッ…

…臭いッ…  
…助けて…



重いつか臭いは  
女性に向かって失礼じゃないですか？  
相変わらずデリカシーないですね

これからずっと  
その状態なんですから  
早く慣れてくださいよ  
踏まれるのすきでしょ？

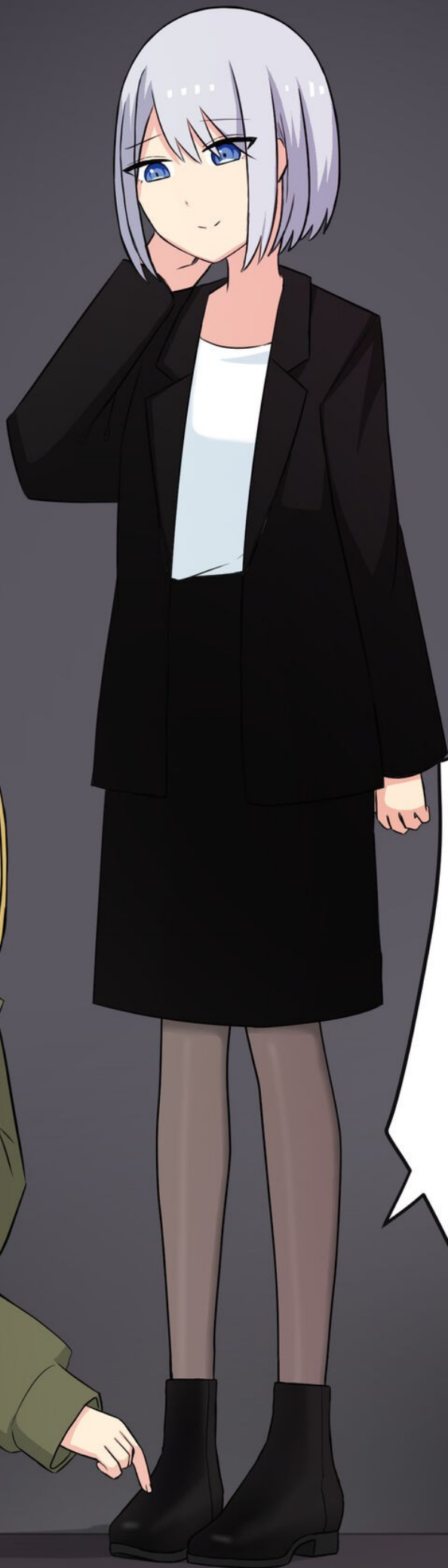
誰か助けて…  
元に戻して…

ちなみに：いくら声を出しても  
周りには何も聞こえてませんよ  
今こうして話ができているのは  
私のテレパシーによるものです

でも…このテレパシーもこれで終わりにします…  
もう二度とつなぐつもりはないので  
これからは誰にも声は届きません

ただのモノとして一生を過ごすんです  
もちろん意識は保ったままで  
私の足の匂いと感触と重みを味わいながら  
人間たちの絶望の叫びをそこで聞いていてください





そうですね…  
夢だといいですね…

さようなら先生…いい夢を



嘘だ…これは夢だ…  
こんなことがあってたまるか…!!